

令和元年度第2回 診療報酬調査専門組織・医療技術評価分科会
議事次第

日時：令和元年10月31日（木）13時00分～

会場：全国都市会館 第2会議室（3階）

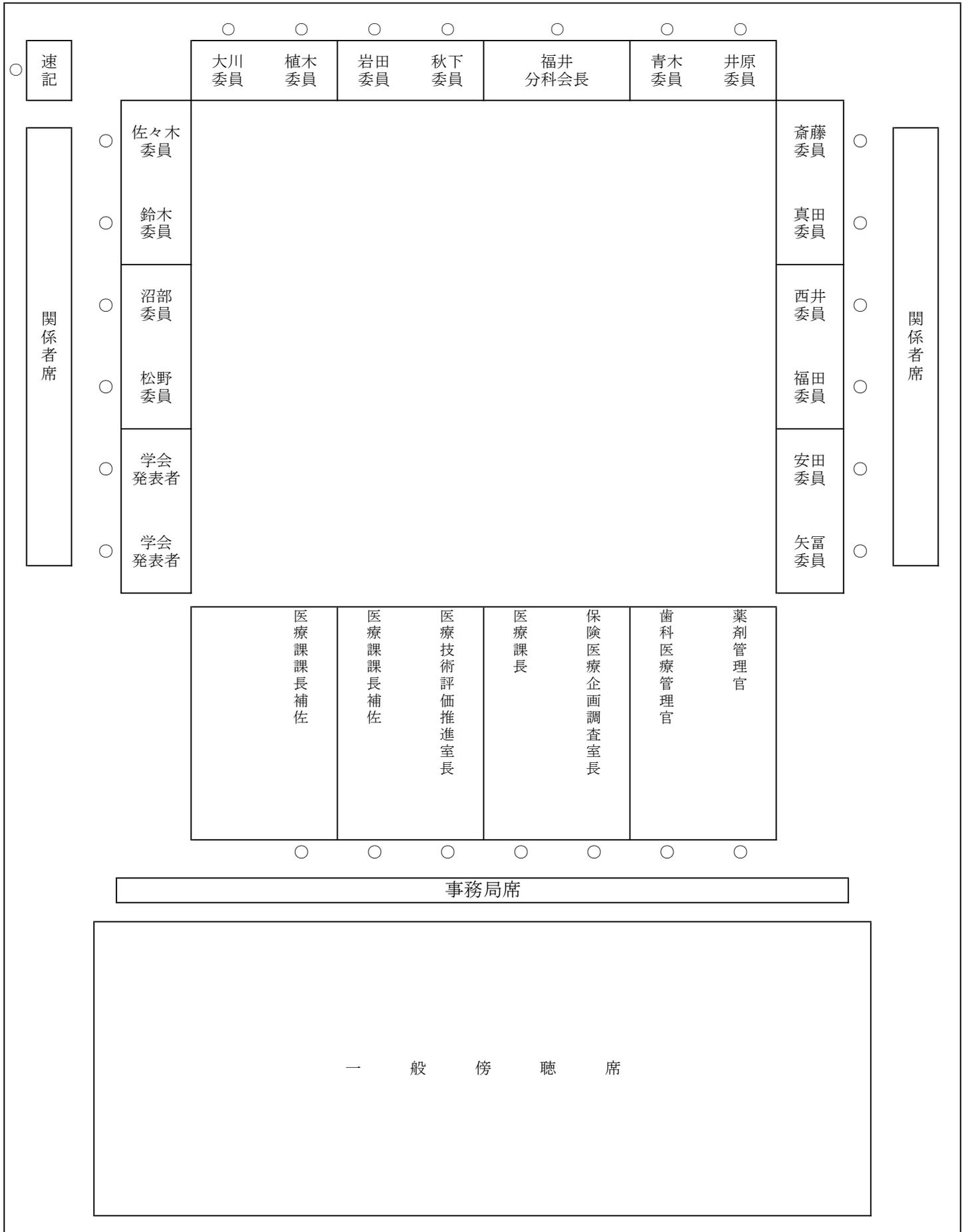
議 題

- 1 令和2年度診療報酬改定に向けた医療技術の評価について（案）
- 2 学会によるレジストリ解析について
- 3 その他

令和元年度第2回
 診療報酬調査専門組織
 医療技術評価分科会 座席表

日時：令和元年10月31日（木）13：00～15：00

会場：全国都市会館 3階第2会議室



診療報酬調査専門組織・医療技術評価分科会委員名簿

(五十音順)

氏名	所属・役職
青木 茂樹	順天堂大学医学部放射線医学講座教授
秋下 雅弘	東京大学大学院医学系研究科老年病学教授
井原 裕宣	社会保険診療報酬支払基金医科専門役
岩田 敏	国立がん研究センター中央病院感染症部長 慶應義塾大学医学部客員教授
○ 岩中 督	埼玉県病院事業管理者 東京大学名誉教授
植木 浩二郎	国立国際医療研究センター研究所糖尿病研究センター長
大川 周治	明海大学歯学部機能保存回復学講座歯科補綴学分野教授
荻野 均	東京医科大学病院心臓血管外科主任教授
北川 雄光	慶應義塾大学医学部外科学教授
斎藤 忠則	日本大学医学部臨床教授 医療法人伯鳳会東京曳舟病院泌尿器科部長
佐々木 均	長崎大学病院教授・薬剤部長
真田 弘美	東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻老年看護学/創傷看護学分野教授
鈴木 則宏	湘南慶育病院院長
西井 修	帝京大学医学部附属溝口病院産婦人科教授
沼部 幸博	日本歯科大学生命歯学部歯周病学講座教授
◎ 福井 次矢	聖路加国際病院院長
福田 敬	国立保健医療科学院保健医療経済評価研究センター長
松野 彰	帝京大学医学部脳神経外科主任教授
安田 聡	国立循環器病研究センター副院長
矢富 裕	東京大学大学院医学系研究科臨床病態検査医学教授

◎分科会長、○分科会長代理

診療報酬調査専門組織運営要綱

(所掌事務)

第1条 診療報酬調査専門組織は、診療報酬体系の見直しに係る技術的課題に関し、次の各号に掲げる事項等について、専門的な調査及び検討を行う。

- 1 DPC導入の評価及び影響の検証等を含む入院医療等の評価
- 2 医療機関のコスト
- 3 医療技術の評価
- 4 医療機関等の消費税負担
- 5 その他の技術的課題

(組織)

第2条 診療報酬調査専門組織は、常時、診療報酬調査専門組織に参加し診療報酬体系の見直しに係る技術的課題に関し意見を述べる委員（以下「本委員」という。）100名以内及び本委員に対し、必要に応じ個々の技術的課題について参考となる意見を述べる委員（以下「専門委員」という。）90名以内により構成する。

2 本委員及び専門委員にはそれぞれ保険医療専門審査員をもって充てる。

(分科会の設置等)

第3条 診療報酬調査専門組織には、診療報酬体系の見直しに係る技術的課題に関し、専門的な調査又は検討を行うため、第1条に定める事項について分科会を設置する。

- 2 分科会長は、その分科会を構成する本委員の中から互選により選出する。
- 3 分科会長は、分科会の事務を総理し、分科会を代表する。
- 4 分科会長に事故があるときは、その分科会を構成する委員のうち分科会長が指名する委員がその職務を代行する。

(定足数)

第4条 分科会は、本委員の2分の1以上の出席がなければ会議を開き、意見の確認を行うことができない。ただし、第6条に規定する意見書の提出があった委員は出席したものとみなす。

(専門委員の会議への参加)

第5条 専門委員は診療報酬体系の見直しに係る技術的課題に関し、分科会長又は本委員が必要と認めた場合に限り、会議に参加し、意見を述べることができる。

(欠席委員の意見提出)

第6条 本委員又は専門委員は、やむを得ない理由により出席できない場合は、当該議題について予め意見書を提出することができる。

(開催)

第7条 分科会は、必要に応じて開催するものとする。

(審議の公開)

第8条 分科会の審議は公開とする。ただし、分科会長が必要と認めるときは、審議を非公開とすることができる。

(庶務)

第9条 診療報酬調査専門組織の庶務は保険局医療課において処理する。

(補足)

第10条 この要綱に定めるもののほか、分科会の議事運営に必要な事項は分科会長が各分科会に諮って定める。

附 則

この要綱は平成15年7月1日から施行する。

附 則 (所掌事務の追加及び委員の増員の一部施行)

この要綱は平成18年7月1日から施行する。

附 則 (組織の改編)

この要綱は平成23年10月1日から施行する。

附 則 (所掌事務の追加)

この要綱は平成24年6月1日から施行する。

附 則 (所掌事務の追加及び委員の増員の一部施行)

この要綱は平成24年7月1日から施行する。

附 則 (所掌事務の変更)

この要綱は平成30年5月23日から施行する。

令和2年度診療報酬改定に向けた医療技術の評価等について（案）

1. 現状について

- 令和2年度診療報酬改定に向けて、診療報酬における医療技術の適正な評価の観点から、医療技術評価分科会において、学会等から提出された医療技術評価・再評価提案書（以下「提案書」という。）に基づき、新規医療技術の評価及び既存技術の再評価（以下単に「評価」という。）に関する検討を行っている。

- 具体的には、本年1月から5月にかけて、学会等から合計942件（重複分を含めると947件）の提案書が厚生労働省に提出された。学会等からのヒアリングの内容と、今般医療技術評価分科会の下に設置したワーキンググループの意見を踏まえ、事務局において提案内容や重複提案の有無の確認を行ったうえで、「医療技術評価分科会における評価の対象となる技術（案）」を作成した。

2. 令和2年度診療報酬改定に向けた対応について

（1）評価の対象等について

- 医療技術評価分科会における評価の対象となる技術は、以下の通り。
- ① 医療技術評価分科会に提案書の提出された技術について
 - ・ 評価の対象となる提案は、医科診療報酬点数表第2章特掲診療料第1部「医学管理等」から第13部「病理診断」、又は歯科診療報酬点数表第2章特掲診療料第1部「医学管理等」から第14部「病理診断」に該当する技術として評価されている又はされることが適当な医療技術であって、医療技術としてアウトカムが改善する等の有効性をデータで示すことができる技術に係るものに限る。
 - ・ また、提案技術の実施に当たり、医薬品、医療機器または体外診断用医薬品を用いる場合、当該医薬品、医療機器または体外診断用医薬品が、提案技術の用途で使用することについての医薬品医療機器等法上の承認が確認できるものに限って評価の対象とする。
- ② 先進医療として実施されている技術について
 - ・ 先進医療として実施されている技術についても、平成30年度診療報酬改定における取り扱いと同様、評価の対象とする。
 - ・ 先進医療として実施されている技術の評価にあたり、先進医療会議で検討された科学的根拠を踏まえつつ、その他の技術等と同様の評価基準のもと、診療における位置づけや保険適用の優先度等の観点も含め、当該技術の保険適用の必要性・妥当性について評価する。

- ・ なお、第 77 回先進医療会議（令和元年 9 月 5 日開催）において、先進医療会議において実施された評価結果の詳細な報告や、スケジュールの前倒し等といった対応を行うこととなった。

（2）内視鏡手術用支援機器を用いた内視鏡手術等に対する評価について

- 平成 30 年度第 1 回診療報酬調査専門組織・医療技術評価分科会（平成 31 年 2 月 8 日開催）において、以下について取り組むこととなった。

レジストリに参加することを要件として保険適用された技術については、レジストリへの参加状況及び手術等の実績等について、関連学会等を主体として検証した上で、分科会への報告や検討を行うとともに、引き続き有効性や安全性に係る評価を行う

3. 令和 2 年度診療報酬改定に向けた医療技術評価等の進め方について

（1）令和 2 年度診療報酬改定に向けた評価の進め方について

- 本日の医療技術評価分科会において、「医療技術評価分科会における評価の対象となる技術（案）」に基づき、各技術が医療技術評価分科会における評価の対象となるか否かについて検討する。

その結果、「医療技術評価分科会における評価の対象となる技術」とされたものについて、今後、医療技術評価分科会において評価を行うこととし、「医療技術評価分科会における評価の対象とならない技術」とされたものについては、評価を行わないこととする。

- なお、先進医療として実施されている技術については、先進医療会議の検討結果を踏まえて評価する必要があることから、提案書等の資料を先進医療会議に共有し、先進医療会議での評価に資するために必要な連携を確保することとする。

- 令和 2 年 1 月に医療技術評価分科会としてこれらの結果をとりまとめ、その後中央社会保険医療協議会（中医協）へ報告し、中医協総会において最終的な検討を行う。

（2）医療技術の体系的な分類について

- 平成 30 年度診療報酬改定で、DPC において K コードと STEM 7 を併記し収集することとし、平成 30 年度分の 1 年間のデータを抽出した。

今後は、専門家からなる検証・検討の場を設け、本データの検証等を通じ、体系的な分類方法の検討、課題の抽出、特定の診療分野における試行的な導入等について、来年度中を目途に検討する。

(3) 内視鏡手術用支援機器を用いた内視鏡手術等に対する評価について

○ 今回、分科会に対して提出された提案書に関連して、レジストリに係る検証がなされた日本肝胆膵外科学会及び日本胸部外科学会から、検証結果が報告された。これを踏まえ、当該提案書の評価を行うこととする。

○ 今後、レジストリを要件とする以下の技術のうち、関連学会等から分科会に対して当該技術に関連した提案書が提出された場合は、当該技術に係るレジストリへの参加状況及び手術等の実績等について検証を行った上で、検証結果を当該提案書に添付するよう求めることとする。

また、これに該当しない技術については、レジストリに係る検証がなされた段階で、分科会に対して報告するよう、関連学会に協力を求めることとする。

	レジストリを要件とする医療技術の名称
1.	胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術及び胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
2.	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
3.	胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
4.	胸腔鏡下弁形成術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
5.	腹腔鏡下胃切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
6.	腹腔鏡下噴門側胃切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
7.	腹腔鏡下胃全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
8.	腹腔鏡下直腸切除・切断術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
9.	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
10.	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
11.	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
12.	腹腔鏡下腔式子宮全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
13.	腹腔鏡下肝切除術
14.	腹腔鏡下膵切除術
15.	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮頸がんに限る。）
16.	経カテーテル的大動脈弁置換術
17.	経皮的僧帽弁クリップ術
18.	WATCHMAN 左心耳閉鎖システムを使用した経皮的左心耳閉鎖術

医療技術評価分科会に係るワーキンググループ 開催要綱

1. 目的

医療技術の評価及び再評価（以下「評価等」という。）に当たり、医療技術評価分科会（以下「分科会」という。）における検討を円滑かつ効率的に進めるため、分科会の下にワーキンググループ（以下「WG」という。）を設置する。WGにおいては、専門的観点から保険診療に係る医療技術の評価等について検討を行う。

2. 検討事項

学会等から分科会に提出された医療技術評価提案書又は医療技術再評価提案書（以下「提案書」という。）に対する評価（案）を作成するに当たり、専門的観点から検討を行う。

3. WGの構成

- (1) WGは、提案書に係る医療技術の内容に応じ、各専門分野の知識を有する者から構成する。
- (2) 座長は、構成員の中から分科会長が指名する。
- (3) 座長は、WGの事務を総理し、WGを代表する。
- (4) 構成員は、保険医療専門審査員をもって充てる。
- (5) WGの構成員の名簿は、評価の間は非公表とし、当該提案書に係る診療報酬改定の後に公表する。

4. 検討方法

WGにおける検討は、以下の手順により実施する。

- (1) 構成員は、WGを開催する前に、提案書の事前評価を行う。
- (2) 事前評価は、主担当および副担当により行う。
- (3) 構成員は、WGにおいて、事前評価を踏まえて提案書の評価（案）について検討を行う。
- (4) 厚生労働省保険局医療課は、WGの検討結果を踏まえ、提案書に対する評価（案）を作成する。

5. 事前評価の担当及び検討への参加

- (1) 評価の対象となる提案の申請者又は責任者等である構成員及び当該提案の主たる申請団体と特別の利害関係を有する構成員（関係学会の理事長や

保険担当理事等、当該提案に関連する医薬品、医療機器、体外診断用医薬品、再生医療等製品若しくは関連サービスの開発に関わる者又は提供主体から一定以上の金銭を授受する者等をいう。以下「関与構成員」という。）は、当該提案については、事前評価を担当しない。

- (2) 関与構成員は、当該提案については、WGにおける検討に参加しない。
- (3) (2)の規定にかかわらず、座長が関与構成員の参加が必要と認めた場合、当該関与構成員は、当該提案の検討に参加することとし、座長の求めに応じて発言することができる。

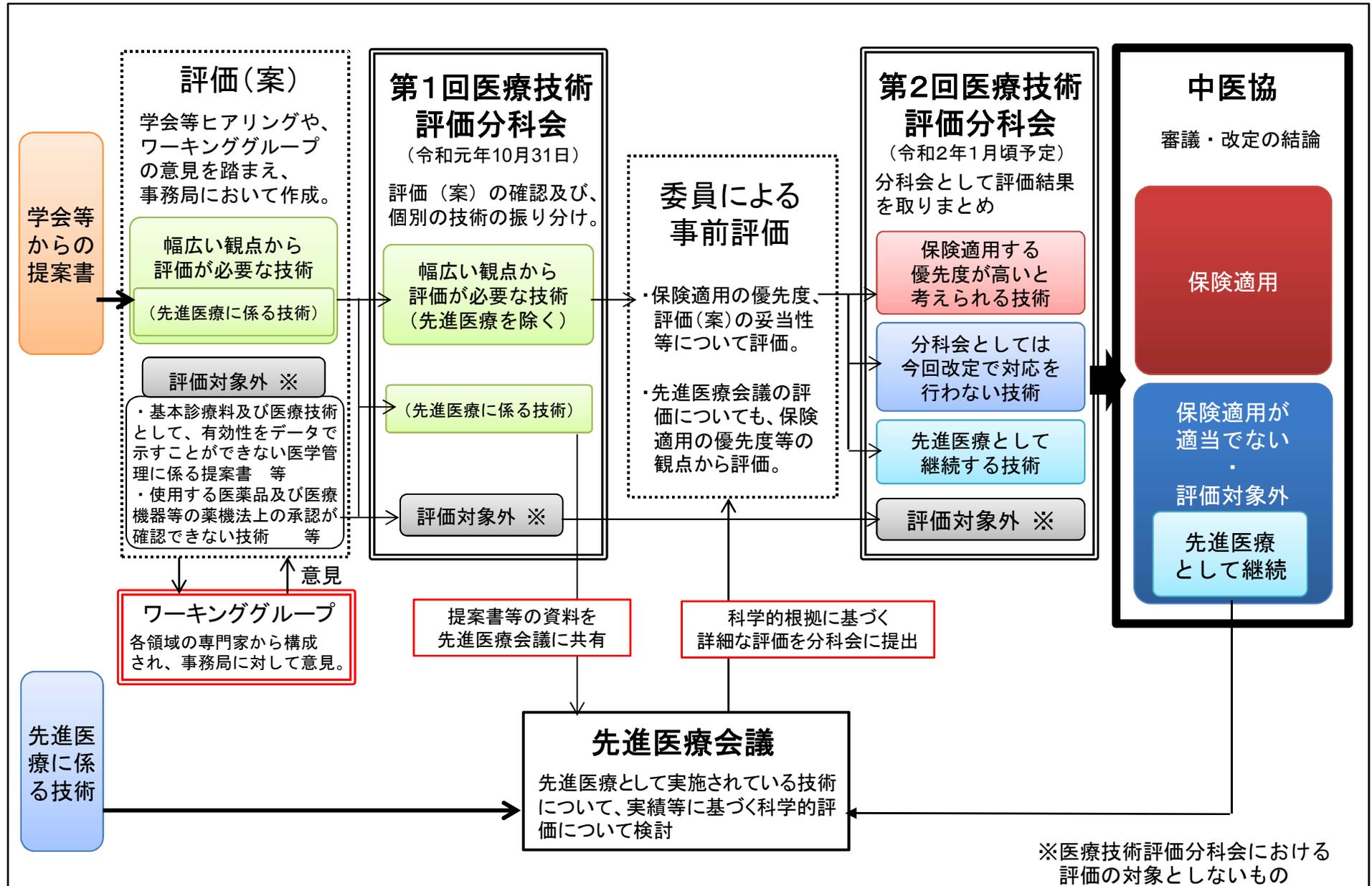
6. WGの運営

- (1) WGの庶務は、厚生労働省保険局医療課において行う。
- (2) WGの会議及び資料は、原則として非公開とする。
- (3) 座長は、WG開催に当たり、構成員以外の者で、必要と判断した者（以下「参考人」という。）の出席を求めることができる。
- (4) 参考人は、WGへの参加に当たり知ることのできた秘密及び情報を漏らしてはならない。
- (5) 上記4及び5.については、参考人においても同様の取扱いとする。
- (6) この要綱に定めるもののほか、WGに関して必要な事項は、分科会長が定める。

7. 補足

この要綱は、令和元年6月27日から施行する。

医療技術評価分科会における評価の進め方(令和2年度診療報酬改定)



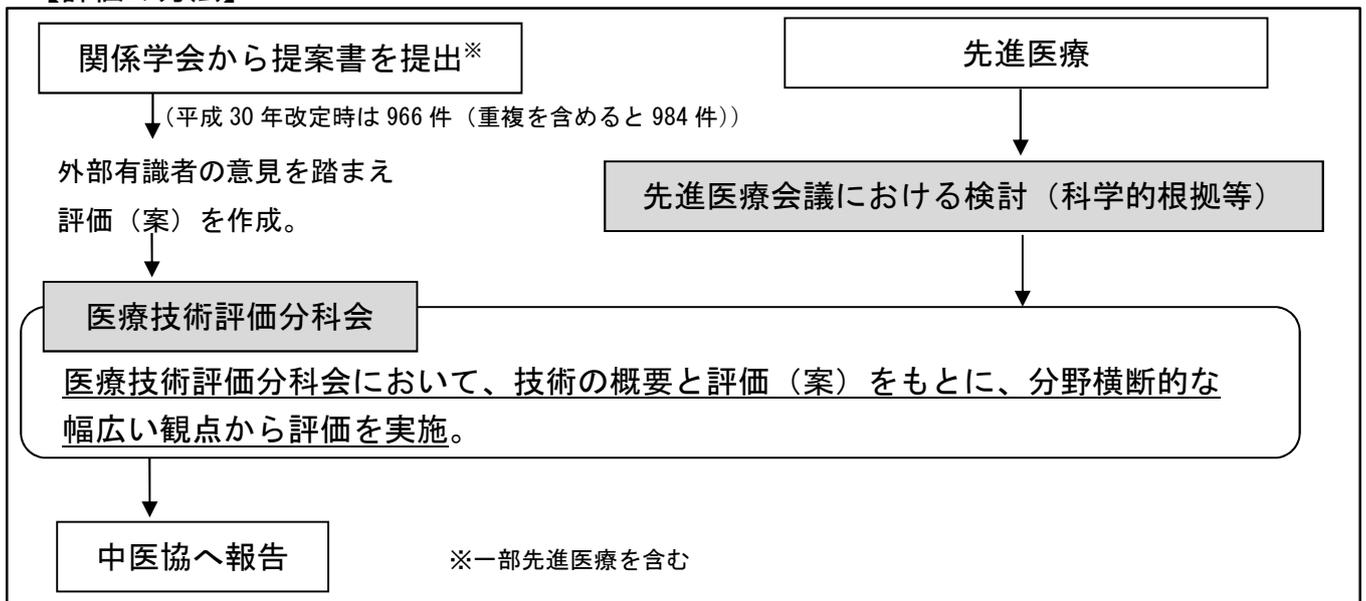
2020 年度診療報酬改定に向けた医療技術の評価方法等について（案）

1. 背景

(1) 平成 30 年度診療報酬改定における評価の概要

- 新規医療技術の評価及び既存技術の再評価については、診療報酬改定毎に、学会等から提出された技術評価提案書を踏まえ、医療技術評価分科会（以下、「分科会」という。）において検討を進め、中医協総会へ報告を行ってきた。

【評価の方法】



- 分科会における評価の対象となる技術は、これまで同様、診療報酬点数表の基本診療料に係る事項を除く医療技術であって、当該技術に係る医薬品、医療機器または体外診断用医薬品が医薬品医療機器等法上の承認が確認されたものとした。また、先進医療として実施されている技術についても、分科会において検討対象とした。
- 提案書様式については、効率的に作業を進めるために、以下のような対応を行った。
 - ① 前回改定と提案が連続する技術を明確化するため、提案実績を追加
 - ② エビデンスを明確化するため、参考文献の該当箇所の明確化及び論文数の限定

(2) 平成 30 年度診療報酬改定における中医協答申書附帯意見

- 平成 30 年度診療報酬改定では、中央社会保険医療協議会（以下、「中医協」という。）での答申書附帯意見において、医療技術の評価について以下のような指摘があった。

（参考）「中医協答申書附帯意見」（抜粋）

（医療技術の評価）

先進医療を含む新規医療技術の評価の在り方について、医療技術評価分科会と先進医療会議との連携・役割分担を含め、引き続き検討すること。また、手術手技をはじめとした技術評価（分類）について、関係有識者と連携しながら、国際的な動向も踏まえつつ、体系化を引き続き推進すること。

1) 先進医療として実施されている技術の保険適用の検討について

- 平成 28 年度診療報酬改定においては、先進医療として実施されている技術について、分科会への提案の受付を行うことを明確化した。さらに平成 30 年度診療報酬改定においては、統一的な考え方のもとで、より分野横断的・網羅的に検討されることが必要であることを踏まえ、当該技術の保険適用に係る検討も分科会で行うこととした。
- 先進医療会議及び分科会の役割を踏まえつつ、分科会においては主に保険適用に係る検討を行ったところであるが、先進医療会議で評価された技術の分科会での評価のあり方等、両会議体の連携・役割分担等について、引き続き検討が必要とされている。

2) 医療技術の体系的な分類について

- 診療報酬上の手術分類（Kコード）については、診療報酬改定毎に、様々な追加等を行い対応してきたところであるが、イノベーションの進展に伴い手術の多様化・高度化等が進む中で、一定の限界が指摘されている。一方で、臨床的な観点から、外科系学会社会保険委員会連合（外保連）により整理されている手術・手技の分類として、外保連手術試案の手術の基幹コード（STEM7）がある。
- 平成 30 年度診療報酬改定においては、DPC/PDPS におけるデータ提出加算で提出を求めているデータにおいて、Kコードに STEM7 を併記することとした。

(3) 内視鏡手術用支援機器を用いた内視鏡手術に対する評価について

- 平成 30 年度診療報酬改定においては、ロボット支援下内視鏡手術については、既存技術と同等程度の有効性・安全性があるとされたものについては、診療報酬改定において対応する優先度が高い技術とされた。このような手術について、新たに保険適用を検討するに当たって、その安全性の担保やデータの蓄積の観点から、施設基準として、当該ロボット支援下内視鏡手術または関連する手術の実績や、関連学会によるレジストリに参加すること等の要件を設けることとした。

2. 今後の進め方（案）

(1) 2020 年度の評価の進め方について

1) 分科会の評価対象及び提案書様式等

ア) 分科会における評価の対象となる技術

① 医療技術評価分科会に提案書の提出された技術について

- ・ 評価の対象となる提案は、医科診療報酬点数表第 2 章特掲診療料第 1 部「医学管理等」から第 13 部「病理診断」、又は歯科診療報酬点数表第 2 章特掲診療料第 1 部「医学管理等」から第 14 部「病理診断」に該当する技術として評価されているまたはされることが適当な医療技術であって、医療技術としてアウトカムが改善する等の有効性をデータで示すことができる技術に係るものに限る。
- ・ また、提案技術の実施に当たり、薬事承認されていない医薬品、医療機器又は体外診断薬を使用した技術は、原則として医療技術評価分科会での評価の対象外である。承認見込みの場合、2019 年 8 月末日迄に承認取得が可能な場合のみ、評価の対象となる。

② 先進医療において実施されている技術について

- ・ 先進医療として実施されている技術についても、平成 30 年度診療報酬改定における取り扱いと同様、評価の対象とする。

イ) 提案書様式

- ① 提案が複数回行われている技術について、過去の提案との差異や改善点等を明確化するために、提案書において「過去の提案実績」を記載する欄について修正を行い、過去の提案年や技術名を記載する欄を設ける。

- ② 薬事承認に係る状況を記載する欄について修正を行い、正確に記載されるよう注意書きを明確化するとともに、公知申請の申請等を含めた承認見込みの状況等について、具体的に記載できるようにする。

ウ) 医療技術の評価等の進め方

- 学会等からの医療技術の提案は、事務局において、外部有識者の意見を踏まえ、各技術の評価（案）を作成しているところであるが、その透明性や公平性を確保する観点から、各領域の専門家からなるワーキンググループ（以下、「WG」という。）を分科会の下に設置し、事務局は各技術の評価（案）の作成の際に、WGの意見を求めることとする。
- WGの設置にあたり、WG委員の規定や体制等、より適切な運用のための取組を行う。具体的には、WGの構成員の身分に係る規定（保険医療専門審査員をもって充てること等）、秘密保持に係る規定、利益相反への適正な対応（複数体制での検討等）等を行う。

(2) 医療技術の体系的な分類について

- 平成30年度診療報酬改定より、DPC/PDPSにおいてKコードとSTEM7を併記することとしていることから、ここで収集したデータの検証等を通じ、体系的な分類方法の検討、課題等の抽出、特定の診療分野における試行的な導入等について、関係団体等とも連携しつつ、検討する。

(3) 内視鏡手術用支援機器を用いた内視鏡手術等に対する評価について

- レジストリに参加することを要件として保険適用された技術については、レジストリへの参加状況及び手術等の実績等について、関連学会等を主体として検証した上で、分科会への報告や検討を行うとともに、引き続き有効性や安全性に係る評価を行うこととする。

3. 先進医療会議との連携及び役割分担等

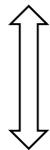
- 先進医療会議においては、先進医療として実施されている技術について、実績等に基づいた有効性や安全性等に係る科学的な検討及び評価を実施している。

- 分科会においては、先進医療として実施されている医療の評価にあたり、先進医療会議で検討された科学的根拠を踏まえつつ、その他の技術等と同様の評価基準として、既存技術と比較した有効性及び効率性、普及性、技術的成熟度、安全性等といった評価項目のもと、診療における位置づけや保険適用の優先度等の観点も含め、当該技術の保険収載に係る必要性・妥当性について評価する。
- さらに、保険診療の質の確保のため、先進医療のあり方や医療技術の適切な評価のあり方等についての先進医療会議の検討状況を踏まえ、分科会においては先進医療会議との連携及び役割分担について、さらに検討する。

4. 今後のスケジュール（目途）

- 2020年度診療報酬改定に向け、評価提案書の作成、分科会での評価等に必要な時間を確保する観点から、下記のスケジュールで実施する。

2019年 2月中旬 提案書受付（前回改定：2月1日）



約4ヶ月

6月上旬 提出締切（前回改定：6月19日）

6月～

- ・ 提案内容の重複や薬事承認等の確認
- ・ 事務局は評価（案）の作成に係り、WGの意見を聴取。
- ・ 評価案を元に分科会で評価

2019年度内

評価結果を中医協総会に報告

先進医療として実施されている医療技術の評価について（案）

1. これまでの経緯

- 先進医療として実施されている技術に係る提案の受付については、平成 28 年度診療報酬改定より医療技術分科会（以下「分科会」という。）においても行うこととした。
さらに、こうした技術の評価についても、平成 30 年度診療報酬改定において、先進医療会議の評価結果を踏まえて、他の技術とも網羅的に検討を行った。

- 平成 30 年度診療報酬改定では、中央社会保険医療協議会（以下「中医協」という。）での答申書附帯意見において、医療技術の評価について以下のような指摘があった。

（参考）「中医協答申書附帯意見」（抜粋）（医療技術の評価）
先進医療を含む新規医療技術の評価の在り方について、医療技術評価分科会と先進医療会議との連携・役割分担を含め、引き続き検討すること。

2. 令和 2 年度診療報酬改定に向けた方向性

- このような経緯等も踏まえ、先進医療の技術の評価については、まず先進医療会議において、その詳細な実績に基づき評価し、この評価を踏まえて分科会として保険適用の必要性・妥当性について評価することとされた。

平成 30 年度第 1 回分科会（平成 31 年 2 月 8 日開催）において、先進医療会議で評価された科学的根拠を踏まえつつ、その他の技術等と同様の評価基準のもと、診療における位置づけや保険適用の優先度等の観点も含め、当該技術の保険適用の必要性・妥当性について評価することとされた。

- なお、第 77 回先進医療会議（令和元年 9 月 5 日開催）において、先進医療会議における評価結果の詳細の共有や、スケジュール調整等の対応を行うこととされた。

今後、先進医療として実施されている技術のうち、診療報酬改定に向けた評価対象技術とされたもの（※）については、先進医療会議において検討されることとなる。

※ 先進医療会議における、診療報酬改定に向けた評価対象技術は、次の 2 類型である。

- ① 先進医療 A（令和元年 6 月 30 日時点で先進医療告示（平成 20 年厚生労働省告示第 129 号）に掲げられている医療技術）
- ② 先進医療 B（保険導入等の検討の実施前に、総括報告書の報告を終えている医療技術（未承認の医薬品等の使用、及び医薬品等の適応外使用を伴わないものに限る）。）

なお、分科会には、当該評価対象技術の他に、評価対象とならない技術（先進医療 B のうち、総括報告書が提出されず、先進医療として引き続き実施する技術）も提案されることに留意。

3. 今回の提案状況等について

- 今回、学会等から分科会に対して提案のあった技術のうち、現在、先進医療として実施されている技術と同一又は関連していると考えられる技術は、次の表の通り。

【表 先進医療として実施されている技術と同一又は関連していると考えられる技術】

整理番号	提案技術名	主たる提案学会
276203	重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対する LDL アフェレシス (LDL-A) 療法	日本腎臓学会
291103	移植後微生物核酸同定・定量検査	日本造血細胞移植学会
304102	膵島移植術	日本移植学会
307102	眼感染疾患に対する迅速診断 (PCR 法)	日本角膜学会
327104	腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清	日本産科婦人科学会
327105	子宮悪性腫瘍手術 (広汎切除) (ロボット支援)	日本産科婦人科学会
336101	腹膜播種に対する腹膜切除+術中温熱化学療法	日本消化器外科学会
370102	リンパ節群郭清術・後腹膜 (腹腔鏡下)	日本泌尿器内視鏡学会
371103	多血小板を用いた難治性皮膚潰瘍治療	日本皮膚科学会
372101	スリーブ状胃切除・バイパス術 (腹腔鏡下)	日本肥満症治療学会
720207	陽子線治療の適応拡大	日本放射線腫瘍学会
720208	重粒子線治療の適応拡大	日本放射線腫瘍学会

- これらの技術のうち、先進医療会議の評価対象技術については、先進医療会議における検討に資するよう、提案書等の資料を共有する等の連携を行うこととなった。

4. 今後の対応について (案)

(1) 先進医療会議における評価対象技術

① 当該技術が分科会に提案されていない場合

これまで同様、先進医療会議の評価を踏まえ、分科会として評価を行ってはどうか。

② 当該技術と類似又は同一のものが分科会に提案された場合

提案技術と先進医療との類似点又は相違点等を確認の上、分科会に提出された提案書等の資料等を先進医療会議に共有することとしてはどうか。

その後、先進医療会議の評価結果を踏まえ、分科会として評価を行ってはどうか。

(2) 先進医療会議における評価対象技術とならない技術

分科会に提案があった場合は、先進医療としての実施状況も踏まえつつ、分科会において他の提案と同様に評価を行ってはどうか。

医療技術評価分科会における評価の対象となる技術（案）

令和元年 1 0 月 3 1 日

医療技術評価分科会における評価の対象となる技術（案）〈概要〉

	項目	件数 ^{注1}	評価対象
1	学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出があった技術	942 件	
①	うち、医療技術評価分科会における評価の対象となるもの	730 件 (新規 290 件 既存 440 件)	○
①-i	うち、先進医療会議において科学的根拠等に基づく評価が行われる予定の技術 ^{注2} に係るもの	8 件	
②	うち、医療技術評価分科会における評価の対象とならないもの	212 件	
②-i	うち、「基本診療料」または医療技術としてアウトカムが改善する等の有効性をデータで示すことができない、制度や指導管理等に係るもの	157 件	×
②-ii	うち、使用する医薬品及び医療機器等について医薬品医療機器等法上の承認が確認できないもの	55 件	
2	先進医療会議において科学的根拠等に基づく評価が行われる予定の技術	26 件 ^{注3}	○

注1：件数には、重複する提案の数は含まれない。また、今後の検討の進捗によって、変動がありうる。

注2：「先進医療会議において科学的根拠等に基づく評価が行われる予定の技術」とは、先進医療 A の全ての技術及び医薬品医療機器等法上、未承認の医薬品等を伴わない先進医療 B の技術（平成 28 年度以降に先進医療としての実施が終了したものであって、総括報告書が提出されているものに限る）を指す。

注3：本件数には、学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出があった技術に係るものの件数が含まれる。

注4：評価の中には、新規保険収載、既収載技術の増点、減点、廃止、要件の見直し、適応疾患の拡大等が含まれる。

注5：医療技術評価分科会開催までに、材料制度により保険適用された等の提案については、事前に学会との協議の上、提案書取り下げとした。

医療技術評価分科会における評価の対象となる技術（案）＜目次＞

1. 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出があった技術

① 医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

・・・・・・・・ 3～36 ページ

うち、先進医療会議において科学的根拠等に基づく評価が行われる予定の
技術に係るもの

・・・・・・・・ 37 ページ

② 医療技術評価分科会における評価の対象とならない技術

・・・・・・・・ 38～49 ページ

2. 先進医療会議において科学的根拠等に基づく評価が行われる予定の技術

・・・・・・・・ 50～51 ページ

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	201202	血漿交換療法（増点について）	日本アフェレンス学会		7
未	203101	アルコール関連疾患患者節酒指導料	日本アルコール・アディクション医学会		13
未	203102	ギャンブル障害の標準的治療プログラム	日本アルコール・アディクション医学会		19
未	204102	気道過敏性検査（メサコリン吸入負荷によるスパイロメータでの1秒量測定）	日本アレルギー学会		31
未	205101	ビッグデータ画像診断管理加算	日本医学放射線学会		36
未	205102	画像診断報告書未確認問題対策	日本医学放射線学会		42
未	205103	小児被ばく低減のための画像診断管理加算	日本医学放射線学会		48
未	205104	人工知能技術を用いた画像診断補助に対する加算	日本医学放射線学会		53
既	205201	画像診断管理加算の改変（MRI装置の医療安全に関する要件追加）	日本医学放射線学会		59
既	205202	画像診断管理加算の改変（地方の中核病院等の要件緩和）	日本医学放射線学会		64
未	208101	免疫抑制剤血中濃度測定（1剤毎）	日本移植学会		69
既	208201	抗HLA抗体検査（スクリーニング検査・抗体特異性同定検査）	日本移植学会		75
既	209201	遺伝カウンセリングの適応拡大	日本遺伝カウンセリング学会		80
既	209202	染色体検査の実施料増点	日本遺伝カウンセリング学会		85
既	209203	難聴の遺伝学的検査	日本遺伝カウンセリング学会		89
未	213101	安全入浴指導管理料	日本温泉気候物理医学会		93
既	214201	大腸カプセル内視鏡検査の算定要件の見直し（適用患者の拡大）	日本カプセル内視鏡学会		98
既	215201	多剤耐性菌に対する併用薬スクリーニングのためのチェッカーボード法（BCプレート'栄研'）	日本化学療法学会		113
既	215202	細菌薬剤感受性検査（薬剤濃度：5段階以上の2倍希釈系列測定）	日本化学療法学会		119
既	216201	淋菌核酸検出における女性尿検体の適応	日本感染症学会		124
未	218101	第12部 放射線治療 薬剤料の節立て	日本核医学会		139
既	218201	ポジトロン断層撮影等（PET検査における新生児加算、乳幼児加算及び幼児加算）	日本核医学会		144

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	218202	核医学診断（他院が撮影した画像に対する核医学診断料の算定）	日本核医学会		151
既	218203	ポジトロン断層撮影 2 18FDGを用いた場合（一連の検査につき）（心臓サルコイドーシスの診断（疑い例を含む））	日本核医学会		156
既	218204	ポジトロン断層撮影及びポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影、ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影、乳房用ポジトロン断層撮影（薬剤師配置）	日本核医学会		163
既	218205	ポジトロン断層撮影等 施設共同利用率の緩和	日本核医学会		169
未	220101	MRエラストグラフィ	日本肝臓学会、日本消化器病学会		183
未	220102	ナビゲーションシステム(フュージョンイメージング)を用いたラジオ波治療	日本肝臓学会		188
既	227201	多剤耐性結核手術における感染防止加算	日本結核病学会		228
未	229101	電子媒体記録あるいはデータ伝送システムによる夜間血圧測定	日本高血圧学会		232
未	229102	随時尿Na/Crに基づく食塩摂取量指導	日本高血圧学会		238
既	229201	尿中アルブミン定量精密測定	日本高血圧学会		243
既	229202	血圧脈波検査	日本高血圧学会		250
未	230101	Trail Making Test日本版（TMT-J）	日本高次脳機能障害学会		256
未	231101	在宅ハイフローセラピー指導管理料および在宅ハイフローセラピー装置加算	日本呼吸器学会		261
既	231201	在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料2における遠隔モニタリング	日本呼吸器学会		273
既	231202	在宅酸素療法指導管理料の遠隔モニタリング加算	日本呼吸器学会		284
既	231203	時間内歩行試験	日本呼吸器学会		294
既	231204	呼気ガス分析	日本呼吸器学会		298
未	232101	呼吸器顕微内視鏡	日本呼吸器内視鏡学会		318
未	235101	海綿骨スコア（TBS）	日本骨粗鬆症学会		345
未	236101	医科・歯科連携経口摂取改善加算	日本在宅医学会		350
未	237101	胎児心エコー法の遠隔診断料	日本産婦人科医会		408
未	237102	分娩監視装置による諸検査の遠隔判断料	日本産婦人科医会		412

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
未	237103	妊娠糖尿病連携管理料	日本産婦人科医会		417
未	237104	更年期管理料	日本産婦人科医会		421
未	237105	月経困難症管理料	日本産婦人科医会		426
既	237201	人格検査（エジンバラうつ病質問票）	日本産婦人科医会		436
既	237202	認知機能検査その他の心理検査	日本産婦人科医会		440
未	238101	子宮内膜症指導管理料（新設）	日本産科婦人科学会		448
既	238201	微生物核酸同定・定量検査、 HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定) 算定要件の拡大	日本産科婦人科学会		460
既	238202	微生物核酸同定・定量検査、 HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定) 項目設定の見直し	日本産科婦人科学会		466
未	240101	食道内多チャンネル・インピーダンスpH測定検査	日本消化管学会		471
既	240201	在宅自己注射指導管理料への対象薬剤（ゴリムマブ製剤：潰瘍性大腸炎）追加	日本消化管学会		476
未	242101	消化器軟性内視鏡安全管理料	日本消化器内視鏡学会		481
未	242102	内視鏡的胃食道逆流防止術	日本消化器内視鏡学会		487
既	242201	シングルバルーン内視鏡とダブルバルーン内視鏡の再統一	日本消化器内視鏡学会		492
既	242202	EUS-FNA時のROSE適用拡大	日本消化器内視鏡学会		498
未	244101	適応行動尺度（Vineland-II 日本版）	日本児童青年精神医学会		505
既	245201	術中経食道心エコー連続監視加算の経皮的僧帽弁クリップ術への算定	日本循環器学会		525
既	248201	静脈麻酔	日本小児科学会		538
未	249101	小児アレルギー疾患療養指導料	日本小児アレルギー学会		543
既	249201	小児食物アレルギー負荷検査	日本小児アレルギー学会		549
既	249202	喘息治療管理料	日本小児アレルギー学会		554
既	250201	第3節生体検査料 通則2に内視鏡検査を追加適用（収載）	日本小児栄養消化器肝臓学会		564
既	251201	C161 注入ポンプ加算の算定要件見直し	日本小児感染症学会		575

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	251202	グロブリンクラス別ウイルス抗体価ヒトパルボウイルスB19	日本小児感染症学会		580
既	251203	RSウイルス抗原定性	日本小児感染症学会		584
未	253101	ハイリスク小児連携指導料	日本小児救急医学会		591
未	254101	小児在宅呼吸管理パルスオキシメータ加算	日本小児呼吸器学会		596
未	255101	顆粒球のフローサイトメトリーによるCD16測定	日本小児神経学会		601
既	255201	排痰補助装置治療	日本小児神経学会		606
既	255202	在宅小児経管栄養法指導管理料	日本小児神経学会		611
未	256101	思春期解離体験尺度A-DES (Adolescent dissociative experiences scale)	日本小児心身医学会		616
未	257101	心筋電極を用いた両心室ペースメーカー移植術	日本小児循環器学会		621
未	257102	心筋電極を用いた両心室ペースメーカー交換術	日本小児循環器学会		626
未	257103	心筋電極を用いた植込型除細動器移植術	日本小児循環器学会		631
未	257104	心筋電極を用いた植込型除細動器交換術	日本小児循環器学会		636
未	257105	心筋電極を用いた両室ペースメーキング機能付き植込型除細動器移植術	日本小児循環器学会		641
未	257106	心筋電極を用いた両室ペースメーキング機能付き植込型除細動器交換術	日本小児循環器学会		646
未	257108	成人先天性心疾患入院指導管理料	日本小児循環器学会		655
未	257109	成人先天性心疾患外来指導管理料	日本小児循環器学会		659
未	257110	経皮的閉鎖肺動脈弁穿通・拡大術	日本小児循環器学会		663
既	257201	窒素吸入療法	日本小児循環器学会		667
既	257202	胎児心エコー法	日本小児循環器学会		673
既	257203	先天性心疾患の血行動態診断に用いた場合のMRI心臓加算の増点	日本小児循環器学会		678
既	257204	経皮的心房中隔欠損作成術(ラッシュキンド法)	日本小児循環器学会		682
既	258201	MLACD45ゲーティング検査	日本小児腎臓病学会		687

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	259201	小児特定疾患カウンセリング料	日本小児精神神経学会		692
既	260201	急性副腎皮質機能不全(副腎クリーゼ)時のヒドロコルチゾン製剤投与 に対する在宅自己注射指導	日本小児内分泌学会		698
未	263101	ホルモン補充療法(HRT)管理料	日本女性医学学会		704
未	265104	難治性片頭痛・三叉神経自律神経性頭痛指導料	日本神経学会		728
未	265105	単線維筋電図	日本神経学会		734
未	265107	多職種による認知症患者在宅療養指導管理料	日本神経学会		744
既	265201	薬剤投与用カテーテル交換法	日本神経学会		754
既	265202	経鼻栄養・薬剤投与 チューブ挿入術	日本神経学会	265201と関連。	761
既	265204	単純疱疹ウイルス・水痘帯状疱疹ウイルス核酸定量	日本神経学会		772
既	265207	長期脳波ビデオ同時記録検査	日本神経学会		784
未	267101	多発性硬化症患者の脳画像解析プログラムによる脳体積の計測	日本神経免疫学会		787
既	267201	抗筋特異的チロシンキナーゼ抗体(抗AChR抗体との同時測定)	日本神経免疫学会		793
既	268201	心身医学療法	日本心身医学会		804
既	268202	神経性やせ症に対する認知行動療法	日本心身医学会		809
既	268203	過敏性腸症候群に対する認知行動療法	日本心身医学会		814
既	268204	神経性過食症に対するセルフヘルプ認知行動療法	日本心身医学会		819
未	271101	慢性心不全に対する和温療法	日本心臓病学会		833
未	272101	心不全再入院予防指導管理料	日本心臓リハビリテーション学会		839
未	272102	心大血管疾患リハビリテーション在宅療法指導管理料	日本心臓リハビリテーション学会		844
既	273201	冠攣縮性狭心症の診断における冠攣縮誘発薬物負荷試験	日本心血管インターベンション治療 学会		853
既	273202	コンピューター断層診断	日本心血管インターベンション治療 学会		859
既	275201	慢性痛に対する認知療法・認知行動療法	日本心療内科学会		865

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
未	276101	腎容積測定加算	日本腎臓学会		870
既	276201	経皮的腎生検	日本腎臓学会		875
既	276202	薬物治療抵抗性・進行性原発性ネフローゼ症候群に対するLDLアフェレシス療法	日本腎臓学会		880
既	276203	重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス(LDL-A)療法	日本腎臓学会		886
未	277101	透析リハビリテーション料	日本腎臓リハビリテーション学会		891
未	279101	覚醒維持検査	日本睡眠学会		911
未	279102	アクチグラフ	日本睡眠学会		916
既	279201	終夜睡眠ポリグラフィ	日本睡眠学会		921
既	279202	睡眠関連低換気障害群に対する経皮PCO2連続測定	日本睡眠学会		927
既	279203	認知療法・認知行動療法	日本睡眠学会		933
未	281101	電子的頭痛ダイアリーによる難治性頭痛の遠隔診断、治療支援技術	日本頭痛学会		936
未	284101	精神科作業療法の適用拡大 認知機能リハビリテーション	日本精神科病院協会		946
既	284213	入院生活技能訓練療法	日本精神科病院協会		1032
既	285211	光トポグラフィー	日本精神神経学会		1132
既	287201	脊髄障害患者に対する間歇的導尿（一日につき）	日本脊髄障害医学会		1151
未	288101	摂食嚥下障害検査	日本摂食嚥下リハビリテーション学会		1158
既	288202	嚥下造影多職種連携評価加算	日本摂食嚥下リハビリテーション学会		1172
既	288203	嚥下調整食加算	日本摂食嚥下リハビリテーション学会		1177
未	289101	尿中有機酸分析	日本先天代謝異常学会		1182
未	289102	血中極長鎖脂肪酸検査	日本先天代謝異常学会		1187
未	289103	タンデムマス分析	日本先天代謝異常学会		1192
未	291102	特定薬剤治療管理料対象薬として「ブスルファン注射液」を追加	日本造血細胞移植学会		1217

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
未	291103	移植後微生物核酸同定・定量検査	日本造血細胞移植学会		1222
未	291104	自家末梢血幹細胞移植安全管理加算	日本造血細胞移植学会		1227
既	294201	脳磁図	日本てんかん学会		1248
既	294202	長期継続頭蓋内脳波検査（1日につき）	日本てんかん学会		1254
既	294203	長期脳波ビデオ同時記録検査（1日につき）	日本てんかん学会		1260
未	295101	血液透析アクセス日常管理加算	日本透析医学会		1265
未	295102	在宅透析患者管理における遠隔モニタリング加算	日本透析医学会		1269
既	295201	人工腎臓 回数は正	日本透析医学会		1273
既	295202	感染症免疫学的検査	日本透析医学会		1277
既	295203	人工腎臓導入期加算	日本透析医学会		1281
未	296101	糖尿病重症化予防データ解析指導管理（遠隔）料	日本糖尿病学会		1285
既	296201	持続血糖測定器加算（SAP療法について）の算定要件見直し	日本糖尿病学会		1291
既	296202	持続血糖測定器加算（リアルタイムCGM）の適応条件の見直し	日本糖尿病学会		1297
既	298201	血漿交換療法（家族性高コレステロール血症）	日本動脈硬化学会		1313
未	299101	意思決定支援管理料	日本内科学会		1317
未	301101	人工距骨全置換術	日本足の外科学会		1323
未	302101	先進画像加算：肝細胞特異性造影剤を用いた肝悪性腫瘍MR	日本医学放射線学会		1327
未	302102	乳房トモシンセシス	日本医学放射線学会		1332
既	302201	コンピューター断層診断の増点	日本医学放射線学会		1337
既	302202	コンピューター断層撮影（CT撮影）の見直し	日本医学放射線学会		1342
既	302203	先進画像加算：冠動脈CT撮影加算の見直し	日本医学放射線学会		1347
未	303101	十二指腸局所切除術（腹腔鏡下、内視鏡併用）	日本胃癌学会		1352

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	303201	胃悪性腫瘍手術胃局所切除術（腹腔鏡下、内視鏡併用）	日本胃癌学会		1356
未	304102	臍島移植術	日本移植学会		1365
既	304201	生体腎移植術	日本移植学会		1370
未	305101	経皮的膿胸ドレナージ術（膿胸）（画像ガイド下）	日本インターベンショナルラジオロジー学会		1374
未	306105	再診時の他医撮影MRI、CT読影料	日本運動器科学会		1396
既	306205	小児運動器疾患指導管理料（適応年齢の引き上げ）	日本運動器科学会		1416
未	307101	高次収差解析	日本角膜学会		1428
未	307102	眼感染症疾患に対する迅速診断（PCR法）	日本角膜学会		1433
未	307103	涙液動態検査	日本角膜学会		1438
未	307104	マイボーム腺機能検査	日本角膜学会		1443
既	307201	前眼部三次元画像解析の適応拡大	日本角膜学会		1448
既	307202	角膜移植術における内皮移植加算	日本角膜学会		1453
既	307203	羊膜移植術（通則14の適用）	日本角膜学会		1458
既	307204	羊膜移植術（施設基準の見直し）	日本角膜学会		1463
既	307205	コントラスト感度検査（適応拡大）	日本角膜学会		1468
未	308101	腱固定術・肩	日本肩関節学会		1473
未	308102	腱固定術・肩・関節鏡下	日本肩関節学会		1477
未	308103	肩腱板断裂手術（腱板断裂5cm未満）（腱固定術を伴う）	日本肩関節学会		1481
未	308104	肩腱板断裂手術（腱板断裂5cm未満）（関節鏡下）（腱固定術を伴う）	日本肩関節学会		1485
未	310101	電子画像精度管理料	日本眼科医会		1489
未	310102	洗眼	日本眼科医会		1493
既	310201	手術通則14の改正	日本眼科医会		1497

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	310202	屈折検査(6歳未満)と矯正視力検査の同時請求	日本眼科医会		1501
既	310203	アノマロスコープ	日本眼科医会		1505
既	310205	眼鏡処方箋発行加算	日本眼科医会		1511
既	310207	硝子体内注射	日本眼科医会		1520
未	311101	全視野精密網膜電図	日本眼科学会		1525
未	311102	実用視力	日本眼科学会		1529
未	311103	局所黄斑網膜電図	日本眼科学会		1533
既	311201	ロービジョン検査判断料	日本眼科学会		1537
既	311202	コンタクトレンズ検査料 1	日本眼科学会		1540
既	311203	蛍光眼底撮影 広角眼底撮影加算	日本眼科学会		1543
未	312101	水晶体再建術 4 特殊眼内レンズを挿入する場合	日本眼科手術学会		1547
既	312201	水晶体再建術 1 眼内レンズを挿入する場合	日本眼科手術学会		1552
既	312202	眼瞼内反症手術(眼瞼下制筋前転法)	日本眼科手術学会		1556
既	313201	関節鏡下膝十字靭帯形成手術複数靭帯加算	日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 (JOSKAS)		1561
既	313202	高位脛骨骨切り術に伴う膝関節鏡下手術加算	日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 (JOSKAS)		1566
未	314101	膵頭十二指腸切除術(ロボット支援)	日本肝胆膵外科学会		1571
未	314102	膵頭十二指腸切除術(リンパ節郭清を伴う)(腹腔鏡下)	日本肝胆膵外科学会		1575
未	314103	腹腔鏡下移植用部分肝採取術(生体)(外側区域切除)	日本肝胆膵外科学会		1580
既	314201	「術中血管等描出撮影加算」の描出対象拡大(胆管、肝区域、肝癌)	日本肝胆膵外科学会		1585
既	314202	腹腔鏡下肝部分切除術(複数箇所)の算定	日本肝胆膵外科学会		1590
未	316101	救命のための骨髄路確保	日本救急医学会		1597
既	316201	コンピューター断層診断料の緊急読影加算	日本救急医学会		1616

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	316202	デブリードマン（重症軟部組織感染症）	日本救急医学会		1619
既	316204	骨折観血的手術・肋骨	日本救急医学会		1625
既	316205	輪状甲状靭帯切開	日本救急医学会		1628
既	317201	経皮的動脈弁置換術	日本胸部外科学会		1631
未	318101	自家脂肪注入	日本形成外科学会		1636
未	318102	皮膚・皮下腫瘍摘出術・露出部、長径8cm以上	日本形成外科学会		1641
未	318104	先天性リンパ浮腫・静脈奇形の弾性ストッキング固定	日本形成外科学会		1650
既	318201	創外固定器加算	日本形成外科学会		1655
既	318202	局所陰圧閉鎖療法	日本形成外科学会		1659
既	318203	乳房再建術(ゲル充填人工乳房によるもの)適応拡大	日本形成外科学会		1664
既	318204	術中血管等描出撮影加算の適応拡大（皮弁・創縁・血管吻合部の血流評価）	日本形成外科学会		1669
既	318205	乳房再建術（遊離皮弁によるもの）の点数の見直し（増点）	日本形成外科学会		1674
既	318206	超音波凝固切開装置等加算適応拡大	日本形成外科学会		1679
既	318207	同一手術野または同一病巣につき2以上の組織移植手術を同時に行った費用の算定	日本形成外科学会		1684
既	319201	手術通則14の改正	日本外科学会		1688
既	319202	自動縫合器・自動吻合器加算の適応拡大	日本外科学会		1692
未	320101	術後回復促進加算	日本外科代謝栄養学会		1695
既	321201	末梢動静脈瘻造設術	日本血管外科学会		1701
未	322101	口腔粘膜の蛍光観察検査,口腔粘膜疾患の電子的診療情報評価料	日本口腔科学会		1704
未	322102	顎関節人工関節置換手術	日本口腔科学会		1709
未	323101	人工関節再置換術・股関節(摺動面のみ)	日本股関節学会		1713
未	323102	画像等手術支援加算 3次元画像に基づく3次元術前計画ソフトによるもの	日本股関節学会		1718

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
未	324101	肺悪性腫瘍手術 区域切除（ロボット支援）	日本呼吸器外科学会		1723
未	324102	拡大胸腺摘出術（重症筋無力症に対する）（ロボット支援）	日本呼吸器外科学会		1728
既	324201	肺切除術(肺葉切除)(胸腔鏡下)	日本呼吸器外科学会		1733
既	324202	肺切除術(区域切除)(胸腔鏡下)	日本呼吸器外科学会		1738
既	324203	肺切除術(部分切除2箇所以上)(胸腔鏡下)	日本呼吸器外科学会		1742
既	324204	肺切除術(部分切除1箇所)(胸腔鏡下)	日本呼吸器外科学会		1746
既	324205	拡大胸腺摘除術（開胸）（重症筋無力症に対する）	日本呼吸器外科学会		1750
既	324206	縦隔悪性腫瘍手術（広範摘出）	日本呼吸器外科学会		1755
既	324207	縦隔悪性腫瘍手術（単純摘出）	日本呼吸器外科学会		1760
既	324208	死体肺移植用肺採取術	日本呼吸器外科学会		1765
未	325101	気管支鏡下術前肺マーキング	日本呼吸器内視鏡学会		1769
未	325102	経気管支凍結生検法	日本呼吸器内視鏡学会		1774
既	325201	仮想気管支鏡による画像等検査支援	日本呼吸器内視鏡学会		1778
既	325202	気管・気管支ステント留置術（硬性鏡によるもの）	日本呼吸器内視鏡学会		1783
未	326102	関節内変形治癒骨折矯正手術	日本骨折治療学会		1792
未	326103	コンピューター支援骨形態制御手術（創外固定器による）	日本骨折治療学会		1797
未	327101	仙骨腔固定術（ロボット支援）	日本産科婦人科学会		1802
未	327102	子宮筋腫摘出術（子宮鏡下電解質利用）	日本産科婦人科学会		1807
未	327103	子宮内膜ポリープ切除術（子宮鏡下電解質利用）	日本産科婦人科学会		1812
未	327104	腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清	日本産科婦人科学会		1817
未	327105	子宮悪性腫瘍手術（広汎切除）（ロボット支援）	日本産科婦人科学会		1822
既	327201	異所性妊娠手術 2.腹腔鏡によるもの	日本産科婦人科学会		1827

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	327202	ヒステロスコーピー(硬性鏡) (生検)	日本産科婦人科学会		1832
既	327203	緊急帝王切開術	日本産科婦人科学会		1836
既	327204	子宮腔上部切断術と子宮付属器腫瘍摘出術(開腹)の複数手術特例拡大	日本産科婦人科学会		1839
既	327205	子宮腔上部切断術(腹腔鏡下)と子宮付属器腫瘍摘出術(腹腔鏡下)の複数手術特例拡大	日本産科婦人科学会	327204と関連。	1842
未	328101	外陰・腔細胞採取料	日本産婦人科医会		1845
既	328201	流産手術 1 妊娠11週までの場合 2 その他のもの	日本産婦人科医会		1849
既	328202	帝王切開術	日本産婦人科医会		1852
既	328203	ペッサリー抜去術	日本産婦人科医会		1855
既	328204	子宮出血止血法の増点	日本産婦人科医会		1858
未	329101	全身(広範囲)MRIによる悪性腫瘍(原発巣および転移)の診断	日本磁気共鳴医学会		1861
既	329201	先進画像加算:心臓MRI撮影加算の見直し	日本磁気共鳴医学会		1866
既	329202	磁気共鳴コンピューター断層撮像(MRI撮像)の見直し	日本磁気共鳴医学会		1871
既	330201	貯血式自己血輸血管理体制加算	日本自己血輸血・周術期輸血学会		1876
既	330202	術中術後自己血回収術(自己血回収器具によるもの) 1 濃縮及び洗浄を行うもの	日本自己血輸血・周術期輸血学会		1881
既	330203	術中術後自己血回収術(自己血回収器具によるもの) 1 濃縮及び洗浄を行うもの	日本自己血輸血・周術期輸血学会		1885
既	330204	術中術後自己血回収術(自己血回収器具によるもの) 2 濾過を行うもの	日本自己血輸血・周術期輸血学会		1889
既	330205	術中術後自己血回収術(自己血回収器具によるもの) 2 濾過を行うもの	日本自己血輸血・周術期輸血学会		1893
未	331101	ロボット支援手術(喉頭・下咽頭悪性腫瘍手術、 中咽頭悪性腫瘍手術(前壁切除)、中咽頭悪性腫瘍手術(前壁以外))	日本耳鼻咽喉科学会		1897
未	331102	鏡視下咽喉頭悪性腫瘍手術(喉頭、中咽頭、下咽頭悪性腫瘍手術) (内視鏡下手術用ロボットを用いない手術)	日本耳鼻咽喉科学会		1903
未	331103	内喉頭筋内注射(ボツリヌス毒素を用いた場合)	日本耳鼻咽喉科学会		1908
未	331104	前庭誘発筋電位(Vestibular evoked myogenic potentials)	日本耳鼻咽喉科学会		1913
未	331105	アレルギー性鼻炎免疫療法指導管理料	日本耳鼻咽喉科学会		1917

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	331201	遊戯聴力検査の乳幼児加算（3-5歳児）	日本耳鼻咽喉科学会		1921
未	332101	斜視注射（片眼につき）（ボツリヌス毒素を用いた場合）	日本弱視斜視学会		1924
未	332102	斜視手術（調節糸法）	日本弱視斜視学会		1929
未	332103	眼科学的検査料（知的障害児（者）に行われた場合の評価）	日本弱視斜視学会		1935
既	332201	不等像視検査	日本弱視斜視学会		1940
未	333101	胎児輸血	日本周産期・新生児医学会		1944
未	333102	臍帯穿刺	日本周産期・新生児医学会		1948
未	333103	胎児MRI	日本周産期・新生児医学会		1952
既	333201	胎児外回転術	日本周産期・新生児医学会		1956
既	334205	人工呼吸 5時間を超える場合	日本集中治療医学会		1979
未	335101	高解像度食道運動機能検査	日本消化管学会		1983
未	335102	C13呼吸気試験法胃排出能検査	日本消化管学会		1989
未	335103	胃悪性腫瘍手術（全摘・空腸囊作製術を伴う）	日本消化管学会		1994
既	335201	小腸結腸内視鏡的止血術（バルーン内視鏡を使用した場合）	日本消化管学会		1999
未	336101	腹膜播種に対する腹膜切除＋術中温熱化学療法	日本消化器外科学会		2004
未	336102	経肛門吻合を伴う直腸切除術（ISRを伴うもの）	日本消化器外科学会		2009
既	336201	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除（K-719-3）に腹腔鏡下肝部分切除（K695-2）、腹腔鏡下直腸切除・切断術（K-740-2）に腹腔鏡下肝部分切除（K695-2）、腹腔鏡下肝外側区域切除（K695-2）に腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除（K-719-3）、腹腔鏡下肝外側区域切除（K695-2）に腹腔鏡下直腸切除・切断術（K-740-2）	日本消化器外科学会		2014
既	336202	2箇所以上を超える肝切除に対する算定	日本消化器外科学会	314202と関連。	2019
既	336203	側方郭清を伴う直腸切除・切断術	日本消化器外科学会		2023
既	336204	肝切除術 再肝切除にかかわる癒着剥離術の算定	日本消化器外科学会		2028
未	337101	経口胆道鏡下結石破砕術	日本消化器内視鏡学会		2032
未	337102	内視鏡電子画像管理加算	日本消化器内視鏡学会		2038

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
未	338101	バルーン内視鏡を用いた全大腸内視鏡	日本消化器病学会		2043
既	338201	小腸・結腸狭窄部拡張術（バルーン内視鏡によるもの） の一入院中の回数制限の緩和	日本消化器病学会		2049
既	338202	十二指腸粘膜下層剥離術	日本消化器病学会		2054
未	339101	胸骨挙上用固定具（ペクタスバー）抜去術	日本小児外科学会		2058
未	339102	食道瘻造設術	日本小児外科学会		2063
未	339103	脾固定術（腹腔鏡下）	日本小児外科学会		2067
未	339105	会陰裂創縫合術（分娩時以外）	日本小児外科学会		2071
既	339201	腹腔鏡下胃瘻造設術の増点	日本小児外科学会		2075
既	339202	手術通則7の適応拡大	日本小児外科学会		2079
既	339203	処置（肛門拡張法）における小児加算	日本小児外科学会学		2083
既	339204	その他の検体採取(D419)に対する乳幼児加算	日本小児外科学会		2087
既	339205	自動縫合器加算の適応	日本小児外科学会		2092
既	340201	陰茎様陰核形成術に伴う陰唇形成・膺形成術	日本小児泌尿器科学会		2097
未	341101	慢性静脈不全に伴う潰瘍に対する圧迫療法	日本静脈学会		2102
未	341102	空気容積脈波法	日本静脈学会		2107
既	341202	リンパ浮腫複合的治療	日本静脈学会	380201、601201、 602203 と関連。	2116
既	342201	C105-3 在宅半固形栄養経管栄養法指導管理料の改正（適応拡大）	日本静脈経腸栄養学会		2132
未	343101	局所陰圧閉鎖処置 持続洗浄	日本褥瘡学会		2138
未	343102	壊死組織とバイオフィルムの管理的除去	日本褥瘡学会		2144
既	343201	重度褥瘡処置の算定期間の要件緩和	日本褥瘡学会		2154
既	343202	長期療養患者における褥瘡処置点数の増点	日本褥瘡学会		2158
未	344101	食道切除術（切除のみ、胸部食道）	日本食道学会		2163

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
未	344102	食道悪性腫瘍手術（消化管再建を伴う） （頸部、腹部の操作）（ロボット支援下）	日本食道学会		2167
未	344103	食道大動脈瘤手術（切除のみ）	日本食道学会	344101と関連。	2171
既	344201	脊髄誘発電位測定等加算 食道悪性腫瘍手術に用いた場合の追加	日本食道学会		2176
既	344202	食道悪性腫瘍手術における有茎腸管移植加算	日本食道学会		2181
既	345201	経皮的冠動脈ステント留置術（その他）	日本心血管インターベンション治療 学会		2189
既	345202	経皮的冠動脈ステント留置術(不安定狭心症に対する)	日本心血管インターベンション治療 学会		2193
既	345203	経皮的冠動脈ステント留置術（急性心筋梗塞に対する）	日本心血管インターベンション治療 学会		2197
既	345204	経皮的冠動脈形成術(その他)	日本心血管インターベンション治療 学会		2201
既	345205	経皮的冠動脈形成術(不安定狭心症に対する)	日本心血管インターベンション治療 学会		2205
既	345206	経皮的冠動脈形成術(急性心筋梗塞に対する)	日本心血管インターベンション治療 学会		2208
既	345207	経皮的冠動脈形成術（高速回転式経皮経管アテレクトミーカテー テル）	日本心血管インターベンション治療 学会		2212
既	346201	人工臓器療法	日本人工臓器学会		2216
既	346204	局所陰圧閉鎖処置	日本人工臓器学会		2229
既	347201	手術通則14の改正	日本心臓血管外科学会		2239
既	347202	手術通則14の改正（2）	日本心臓血管外科学会		2243
未	348101	血液粘弾性検査による輸血管理加算の設置	日本心臓血管麻酔学会		2247
既	348201	L001-2 静脈麻酔 30分な体制で行われる長時間なもの（複雑な場 合）	日本心臓血管麻酔学会		2254
既	348202	超音波ガイド下末梢神経ブロック	日本心臓血管麻酔学会		2258
未	349101	術後排尿障害指導管理料	日本ストーマ・排泄リハビリテ ーション学会		2262
既	349201	ストーマ処置（1日につき）の合併症加算	日本ストーマ・排泄リハビリテ ーション学会		2267
未	350101	悪性骨・軟部腫瘍手術（処理骨移植を伴うもの）	日本整形外科学会		2276
未	350102	椎間板内酵素注入療法（化学的髄核融解術）	日本整形外科学会		2281
未	350103	放射線被ばく下操作が必要な手術に対するの加算	日本整形外科学会		2286

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	350201	側弯症手術と悪性骨腫瘍手術における術中ナビゲーション加算の適応追加	日本整形外科学会		2291
既	350202	内視鏡下椎弓形成術における複数椎間加算	日本整形外科学会		2296
既	350203	通則14の追加：内視鏡下椎間板切除術、内視鏡下椎弓切除術、内視鏡下椎弓形成術	日本整形外科学会		2301
既	350204	褥瘡ハイリスク患者ケア加算にギプス固定と銅線牽引治療の追加	日本整形外科学会		2306
既	350205	四肢切断術 指（手、足）	日本整形外科学会		2311
既	352201	関節鏡下半月板縫合術（複雑）	日本整形外科スポーツ医学会		2314
未	353101	ソノヒステログラフィ	日本生殖医学会		2318
未	354101	用手的呼吸補助を併用した肺、気管支内喀痰吸引法（脊髄損傷患者）	日本脊髄障害医学会		2322
未	354102	起立性低血圧予防訓練（脊髄損傷患者）	日本脊髄障害医学会		2327
未	355101	頸椎人工椎間板置換術	日本脊椎脊髄病学会		2332
未	355103	筋肉量測定（BIA法）	日本脊椎脊髄病学会		2342
既	355201	後縦靭帯骨化症手術（前方進入によるもの）	日本脊椎脊髄病学会		2347
既	355202	脊椎固定術の患者適合型手術支援ガイド	日本脊椎脊髄病学会		2352
未	356101	高度脊柱変形に対する椎間板郭清または椎体骨切りを伴う後方矯正固定術	日本側彎症学会		2357
未	356102	立位全身骨撮影	日本側彎症学会		2362
未	356103	立位全身骨撮影（術前精密検査）	日本側彎症学会		2367
未	357101	直腸肛門機能訓練	日本大腸肛門病学会		2372
未	357102	回腸囊ファイバースコープ	日本大腸肛門病学会		2376
既	357201	在宅経肛門的自己洗腸指導管理料①経肛門的洗腸療法材料加算の新設 ②適用患者（対象患者）の拡大	日本大腸肛門病学会		2388
既	357202	クローン病に対する小腸切除術	日本大腸肛門病学会		2393
既	357203	直腸脱手術（経肛門的）（人工靭帯を用いたもの）	日本大腸肛門病学会		2397
既	357204	ハルトマン術後腸管再建	日本大腸肛門病学会		2401

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
未	358101	胆管悪性腫瘍手術（血行再建を伴うもの）	日本胆道学会		2408
未	358102	十二指腸乳頭切除術	日本胆道学会		2412
既	359201	超音波エラストグラフィー	日本超音波医学会		2416
未	360101	知覚再教育	日本手外科学会		2421
既	360201	前腕から手根部における腱縫合術の複数加算	日本手外科学会		2425
既	360202	骨切り術(カスタムガイドを用いる)	日本手外科学会		2429
既	360203	変形治癒骨折矯正手術(カスタムガイドを用いる)	日本手外科学会		2434
既	360204	靭帯性腱鞘内注射	日本手外科学会		2439
既	360205	複数手術に関する費用の特例の対象手術に神経再生誘導術を追加	日本手外科学会		2444
既	360206	関節鏡下手根管開放術の増点	日本手外科学会		2449
未	361101	ロボット支援下による頭蓋内電極植込術	日本てんかん学会		2454
未	362101	全結腸・直腸切除囊肛門吻合術(腹腔鏡下)	日本内視鏡外科学会		2466
未	362102	膵体尾部切除術(ロボット支援)	日本内視鏡外科学会		2470
未	362103	左心耳閉鎖術（胸腔鏡下）	日本内視鏡外科学会		2475
既	362201	超音波凝固切開装置（内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出）	日本内視鏡外科学会		2481
未	363101	甲状腺悪性腫瘍手術（全摘および片側頸部外側区域郭清を含む）	日本内分泌外科学会		2485
未	363102	甲状腺悪性腫瘍手術（全摘および両側頸部外側区域郭清を含む）	日本内分泌外科学会		2489
未	363103	甲状腺悪性腫瘍手術（片葉切除および片側頸部外側区域郭清を含む）	日本内分泌外科学会		2493
既	363201	脊髄誘発電位測定等加算	日本内分泌外科学会		2497
既	363202	脊髄誘発電位測定等加算	日本内分泌外科学会		2500
既	363203	超音波凝固切開装置等加算	日本内分泌外科学会		2503
未	364101	人工乳房抜去術	日本乳癌学会		2506

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
未	364102	対側乳房縮小・固定術（乳房再建後）	日本乳癌学会		2511
既	364201	予防的乳房切除術	日本乳癌学会		2515
既	364202	超音波凝固切開装置等加算	日本乳癌学会		2520
既	364203	組織拡張器による再建手術（乳房一次再建）	日本乳癌学会		2525
既	364204	ゲル充填人工乳房による再建手術に関する改正	日本乳癌学会		2529
既	365201	組織拡張器による再建手術-1 乳房（再建手術）の場合の適応拡大	日本乳房オンコプラスチックサー ジャーリー学会		2533
未	366101	脳動静脈奇形摘出術・SM-grade 3,4,5	日本脳神経外科学会		2538
未	366102	頭蓋内モニタリング装置挿入術	日本脳神経外科学会		2542
未	366103	頭蓋内モニタリング管理料	日本脳神経外科学会		2547
既	366201	特発性正常圧水頭症(iNPH)シャント術加算	日本脳神経外科学会		2552
既	366202	脳血管CT加算、特殊脳MRI加算	日本脳神経外科学会		2557
既	366203	手術医療機器等加算K930 脊髄誘発電位測定等加算 1	日本脳神経外科学会		2561
既	366204	経頭蓋集束超音波治療	日本脳神経外科学会		2566
未	368101	膀胱鏡下ポツリヌス毒素注入手術	日本排尿機能学会		2571
未	368102	内圧尿流測定（プレッシャーフロースタディ）	日本排尿機能学会		2576
未	369101	経尿道的レーザー前立腺蒸散術	日本泌尿器科学会		2586
未	369102	膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術（光力学診断を用いた場合）	日本泌尿器科学会		2591
未	369103	経皮的腎瘻拡張術	日本泌尿器科学会		2596
未	369104	膀胱結石、異物摘出術：1.経尿道的手術（レーザーによるもの）	日本泌尿器科学会		2600
既	369201	経皮的腎瘻造設・膀胱瘻造設キット	日本泌尿器科学会		2604
既	369202	複数手術に係る費用の特例の追加 通則14	日本泌尿器科学会		2609
未	370101	腎盂尿管吻合術（腎盂形成術を含む）（ロボット支援）	日本泌尿器内視鏡学会		2614

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
未	370102	リンパ節群郭清術・後腹膜（腹腔鏡下）	日本泌尿器内視鏡学会		2620
未	370103	尿管切石術（腹腔鏡下）	日本泌尿器内視鏡学会		2624
未	370104	尿管皮膚瘻造設術（腹腔鏡下）	日本泌尿器内視鏡学会		2629
未	370105	腎盂切石術（腹腔鏡下）	日本泌尿器内視鏡学会		2633
既	370201	通則14の改定（複数手術に係る費用の特例）	日本泌尿器内視鏡学会		2638
既	370202	「K939 画像等手術支援加算 1 ナビゲーションによるもの（2,000点） 2 実物大臓器立体モデルによるもの（2,000点）」の腎部分切除術（K773、K773-2、K773-3、K773-4、K773-5、K769、K769-2、K769-3）への適応拡大	日本泌尿器内視鏡学会		2643
既	370203	「K939 画像等手術支援加算 1 ナビゲーションによるもの（2,000点） 2 実物大臓器立体モデルによるもの（2,000点）」の経皮的尿路結石除去術（K764）への適応拡大	日本泌尿器内視鏡学会		2648
未	371101	皮膚病像撮影料	日本皮膚科学会		2653
未	371102	爪甲処置（爪甲肥厚症、爪甲鉤彎症）	日本皮膚科学会		2657
未	371103	多血小板を用いた難治性皮膚潰瘍治療	日本皮膚科学会		2661
既	371201	鶏眼、胼胝処置	日本皮膚科学会		2667
既	371202	皮膚科光線療法(2)長波紫外線又は中波紫外線療法(3)中波紫外線療法	日本皮膚科学会		2670
既	371203	皮膚科軟膏処置	日本皮膚科学会		2673
未	372101	スリーブ状胃切除・バイパス術(腹腔鏡下)	日本肥満症治療学会		2676
未	372102	減量手術周術期管理加算	日本肥満症治療学会		2680
既	372201	腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)(適応拡大について)	日本肥満症治療学会		2685
既	372202	腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)(施設基準緩和について)	日本肥満症治療学会		2690
既	372203	腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)(増点について)	日本肥満症治療学会		2695
既	372204	腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)(適応疾患の追加について)	日本肥満症治療学会		2700
既	372205	腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)(施設基準の追加について)	日本肥満症治療学会		2705
未	373101	腹腔内圧測定	日本腹部救急医学会		2710
未	373102	ICG消化管血流測定	日本腹部救急医学会		2714

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	373201	内視鏡的結腸軸捻転解除術	日本腹部救急医学会		2718
既	373202	急性胆嚢炎に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術の増点	日本腹部救急医学会		2721
既	373203	広汎な洗浄行為が必要であった場合には 主手術に加えて急性汎発性腹膜炎手術を加算する	日本腹部救急医学会		2724
既	373205	肝部分切除術（複数箇所）の算定	日本腹部救急医学会	314202と重複、336201 と関連。	2730
既	373206	外来緊急開腹手術	日本腹部救急医学会		2733
未	374102	センチネルリンパ節生検術（女子外性器悪性腫瘍）	日本婦人科腫瘍学会		2741
未	375101	左心耳閉鎖術（経皮的）	日本不整脈心電学会		2745
未	375102	外科的左心耳閉鎖術	日本不整脈心電学会		2750
既	375201	ペースメーカー移植術（電極一体型）	日本不整脈心電学会		2755
既	375202	経静脈電極除去術（レーザーシース使用）	日本不整脈心電学会		2758
既	375203	経皮的カテーテル心筋焼灼術（付加手技を伴う場合）	日本不整脈心電学会		2763
既	375204	両室ペースメーキング機能付き植込型除細動器交換術	日本不整脈心電学会		2768
既	375205	植込型除細動器交換術	日本不整脈心電学会		2773
既	375206	経静脈電極除去術 レーザーシースを用いないもの	日本不整脈心電学会		2777
既	375207	経皮的カテーテル心筋焼灼術 その他のもの	日本不整脈心電学会		2781
未	376101	高周波パルス療法	日本ペインクリニック学会		2786
既	377201	鼠径ヘルニア手術（複雑なもの）	日本ヘルニア学会		2794
既	378201	麻酔管理料Ⅱの算定要件の明確化	日本麻酔科学会		2798
既	378202	L009 麻酔管理料（Ⅰ） 4 長時間麻酔管理加算	日本麻酔科学会		2803
未	379101	眼底直視下微小視野検査（片眼）	日本網膜硝子体学会		2808
既	379201	眼底カメラ撮影 1 通常の方法の場合の広角眼底撮影加算	日本網膜硝子体学会		2812
既	380201	リンパ浮腫複合的治療料	日本リハビリテーション医学会	341202、601201、 602203 と関連。	2817

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
未	381101	緑内障術後管理加算	日本緑内障学会		2823
未	381102	角膜中央厚測定	日本緑内障学会		2828
未	381103	眼圧日内変動検査	日本緑内障学会		2832
既	381201	緑内障濾過手術	日本緑内障学会		2836
未	382101	腹腔鏡下人工肛門閉鎖術（ハルトマン術後）	日本臨床外科学会	357204と関連。	2841
未	382102	経肛門吻合を伴う直腸切除術（腹腔鏡下）	日本臨床外科学会	336102と関連。	2846
未	382103	腹腔鏡下超低位前方切除術（経肛門的結腸囊肛門吻合によるもの）	日本臨床外科学会	336102、382102と関連。	2851
未	382105	低位前方切除術（ロボット支援）	日本臨床外科学会		2859
既	382201	人工肛門増設加算	日本臨床外科学会		2863
既	382202	腹腔鏡下直腸脱手術（K742-2）メッシュとタッカー代の償還	日本臨床外科学会		2866
既	382203	胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術、1 頸部、胸部、腹部操作によるもの	日本臨床外科学会		2869
既	382204	胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術、2 胸部、腹部操作によるもの	日本臨床外科学会		2872
既	382206	在宅経肛門自己洗腸指導管理料	日本臨床外科学会	357201と関連。	2878
既	382207	膝頭十二指腸切除（リンパ節・膝頭神経叢郭清を伴う）	日本臨床外科学会		2881
既	382208	鎖肛（K751）に併施する仙尾部奇形腫手術	日本臨床外科学会		2885
未	383101	運動器不安定症訓練法	日本臨床整形外科学会		2888
未	383102	上腕、大腿以遠部の伝達麻酔	日本臨床整形外科学会		2892
未	383103	小関節（周辺）骨折に対するテーピング	日本臨床整形外科学会		2896
未	383104	運動器物理療法料	日本臨床整形外科学会		2900
既	383201	エコーガイド下伝達麻酔	日本臨床整形外科学会		2905
既	383202	神経幹内注射（超音波ガイド下）	日本臨床整形外科学会		2909
既	383203	上肢伝達麻酔	日本臨床整形外科学会	383102と関連。	2914

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	383204	消炎鎮痛等処置複数部位加算	日本臨床整形外科学会		2918
既	383205	小関節テーピング（絆創膏固定術）	日本臨床整形外科学会		2922
既	383206	神経ブロックとトリガーポイント注射との部位別算定可	日本臨床整形外科学会		2926
既	383207	靭帯性腱鞘内注射	日本臨床整形外科学会	360204と重複。	2930
既	383208	骨折非観血的整復術複数加算	日本臨床整形外科学会		2934
既	385201	頭蓋内腫瘍摘出術 原発性悪性脳腫瘍光線力学的療法加算	日本レーザー医学会		2942
既	385202	Qスイッチ付きレーザー照射療法	日本レーザー医学会		2948
既	385203	内視鏡的食道悪性腫瘍光線力学療法	日本レーザー医学会		2952
既	385204	Qスイッチ付きレーザー照射療法	日本レーザー医学会		2956
未	402101	顎関節症検査(顎関節・咀嚼筋検査)	日本顎関節学会		2959
既	402201	顎関節受動術（徒手受動術）	日本顎関節学会		2964
既	402202	歯科口腔リハビリテーション料2	日本顎関節学会		2970
未	403101	下顎全顎的高度顎堤吸収部への顎骨支持型装置埋入術	日本顎顔面インプラント学会		2975
既	404201	「口蓋補綴、顎補綴装置」の製作時および床裏装時における軟質材料の適用	日本顎顔面補綴学会		2980
未	407101	上顎骨形成術ならびに下顎骨形成術における超音波切削機器加算	日本顎変形症学会		2986
既	407201	上顎骨形成術ならびに下顎骨形成術における三次元シミュレーション	日本顎変形症学会		2990
既	407202	下顎骨形成術における歯槽骨切り術の算定	日本顎変形症学会		2993
既	407203	顎変形症患者を対象とした咀嚼能力検査	日本顎変形症学会		2996
既	408201	厚生労働大臣が定める疾患に起因した咬合異常に係る適応症の拡大	日本矯正歯科学会		2999
既	408202	予測模型の適応拡大	日本矯正歯科学会		3004
既	408203	インビジブルリテーナー	日本矯正歯科学会		3009
未	409101	歯槽骨密度評価	日本口腔インプラント学会		3013

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	409201	歯科訪問診療における無歯顎症例のインプラント周囲粘膜炎・周囲炎への検査と基本治療	日本口腔インプラント学会		3019
既	412201	三叉神経ニューロパチーの歯科特定疾患療養管理	日本口腔顔面痛学会		3023
未	413101	顎関節人工関節全置換術	日本口腔外科学会		3028
未	413102	口腔粘膜の蛍光観察検査,口腔粘膜疾患の電子的診療情報評価料	日本口腔外科学会		3033
未	413103	超難度埋伏智歯抜歯(著しく困難なもの)	日本口腔外科学会		3039
未	413104	頬脂肪体弁手術	日本口腔外科学会		3045
未	413105	閉塞性睡眠時無呼吸症に対する口腔内装置の下顎タイトレーション法	日本口腔外科学会		3050
既	413201	神経再生誘導術(即時)	日本口腔外科学会		3054
既	413202	上顎エナメル上皮腫手術	日本口腔外科学会		3058
既	413203	下顎骨悪性腫瘍手術、切断、オトガイ部を含む	日本口腔外科学会		3062
既	413204	閉塞性睡眠時無呼吸症に対する顎顔面形態評価のための頭部側方X線規格撮影の適応	日本口腔外科学会		3065
既	413205	抜歯手術における歯科薬剤の算定に関する基準の見直し	日本口腔外科学会		3070
未	417101	咀嚼・食塊形成機能検査(内視鏡を含む)	日本口腔リハビリテーション学会		3074
未	420101	欠損歯数拡大抑制継続管理料	日本歯科医療管理学会		3080
既	420201	歯周病安定期治療(I)及び歯周病安定期治療(II)	日本歯科医療管理学会		3084
既	420202	歯科衛生実地指導料に対する糖尿病患者加算新設	日本歯科医療管理学会		3088
既	420203	糖尿病患者に対する機械的歯面清掃処置の月1回算定	日本歯科医療管理学会		3092
既	420204	歯科疾患管理料への糖尿病患者管理加算新設	日本歯科医療管理学会		3096
既	420205	初期う蝕早期充填処置の対象範囲拡大(年齢要件)	日本歯科医療管理学会		3101
既	423201	前歯部CAD/CAM冠	日本歯科審美学会		3106
既	423202	臼歯部テンポラリークラウン	日本歯科審美学会		3112
未	425101	骨粗鬆症検査	日本歯科放射線学会		3118

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	425201	電子画像管理加算	日本歯科放射線学会		3122
既	425202	遠隔画像診断管理加算	日本歯科放射線学会		3127
未	426101	CAD/CAMインレー修復に対する光学印象法	日本歯科保存学会		3132
未	426102	CAD/CAMインレー修復	日本歯科保存学会		3137
既	426201	歯髄保護処置	日本歯科保存学会		3142
既	426202	重度要介護高齢者等に対する充填処置	日本歯科保存学会		3146
既	426203	感染根管処置の増点	日本歯科保存学会		3151
既	426204	歯冠修復物又は補綴物の除去	日本歯科保存学会		3156
既	426205	歯科用合着・接着材料Ⅲ（仮着用セメントを除く）の廃止	日本歯科保存学会		3160
未	427101	麻酔管理料（専従する歯科麻酔専門医および麻酔医の評価）	日本歯科麻酔学会		3166
既	427201	麻酔薬剤料算定の医科歯科格差の是正（120点以上の処置に対する薬剤料の算定）	日本歯科麻酔学会		3170
未	429101	チタンおよびチタン合金による大白歯歯冠修復物	日本歯科理工学会		3174
未	431102	歯周組織再生療法における臨床的組織再生度の規格化検査	日本歯周病学会		3185
既	431201	糖尿病を有する歯周病患者における咀嚼機能検査	日本歯周病学会		3189
未	432101	隔壁法	日本歯内療法学会		3193
未	435101	小児の口唇閉鎖力検査	日本小児歯科学会		3198
既	435201	小児口腔機能管理加算	日本小児歯科学会		3203
既	435202	小児保険装置	日本小児歯科学会		3208
既	435203	エナメル質初期う蝕管理加算の施設基準の見直し	日本小児歯科学会		3214
未	437101	象牙質レジンコーティング法	日本接着歯学会		3219
既	437201	レジン支台築造の印象採得	日本接着歯学会		3225
未	438101	磁性アタッチメントを用いた義歯の支台装置	日本補綴歯科学会		3230

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
未	438102	筋電計による歯ぎしり検査	日本補綴歯科学会		3235
未	438103	在宅歯科診療時の白歯単独冠へのシリコンゴム印象材による咬合印象法	日本補綴歯科学会		3240
未	438104	口腔内スキャナーによる光学印象法	日本補綴歯科学会		3245
未	438105	最後方白歯へのCAD/CAMシステムによるチタンクラウン製作のための咬合印象法	日本補綴歯科学会		3252
既	438201	口腔内バキュームチップを用いた接着操作加算	日本補綴歯科学会		3257
既	438202	接着ブリッジ装着料内面処理加算	日本補綴歯科学会		3262
既	438203	硬質レジンジャケット冠装着料内面処理加算	日本補綴歯科学会		3267
既	438204	線鉤 二腕鉤の鋳造レストの算定	日本補綴歯科学会		3272
既	438205	失活前歯充填の前処置としての築造	日本補綴歯科学会		3277
既	438206	顎関節症管理料	日本補綴歯科学会		3282
未	441101	歯冠長延長術	日本臨床歯周病学会		3287
未	441102	歯周病治療におけるグリコヘモグロビン (HbA1c) 検査	日本臨床歯周病学会		3291
未	442101	抜歯窩再搔爬手術時におけるレーザー止血加算	日本レーザー歯学会		3296
未	442102	光学的う蝕検出検査	日本レーザー歯学会		3300
未	443101	終末期患者の歯科による口腔管理	日本老年歯科医学会		3304
未	443102	歯科オンライン診療	日本老年歯科医学会		3308
既	443201	舌圧検査	日本老年歯科医学会		3312
既	443202	口腔機能包括検査	日本老年歯科医学会		3315
既	501201	特定薬剤治療管理料 1	日本薬学会		3320
既	501202	褥瘡薬学管理加算	日本薬学会		3324
既	501203	特定薬剤副作用評価加算	日本薬学会		3328
既	501204	無菌製剤処理料	日本薬学会		3332

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	501205	PET検査における薬剤師の評価	日本薬学会		3336
既	501206	調剤料（麻薬、向精神薬、覚せい剤原料又は毒薬加算の増点）	日本薬学会		3340
既	501207	調剤技術基本料（乳幼児加算）	日本薬学会		3344
既	501208	無菌製剤処理料2	日本薬学会		3348
既	501209	調剤技術基本料（院内製剤加算の増点）	日本薬学会		3352
既	501210	調剤技術基本料（外来患者に対する薬学的管理の評価）	日本薬学会		3356
既	502201	保険医が投与することができる注射薬（処方箋を交付することができる注射薬）等へのフロセミド注の追加	日本薬学会		3360
既	502202	保険医が投与することができる注射薬（処方箋を交付することができる注射薬）等へのミダゾラム注の追加	日本薬学会		3364
既	502203	保険医が投与することができる注射薬（処方箋を交付することができる注射薬）等へのハロペリドール注の追加	日本薬学会		3368
既	502204	保険医が投与することができる注射薬（処方箋を交付することができる注射薬）等へのアセトアミノフェン静注の追加	日本薬学会		3372
既	601201	リンパ浮腫複合的治療料	日本がん看護学会	341202、380201、 602203と関連。	3381
既	602202	在宅患者訪問看護・指導料3	日本緩和医療学会		3394
既	602203	リンパ浮腫複合的治療料	日本緩和医療学会	341202、380201、 601201と関連。	3399
未	603101	心不全再入院予防指導管理料	日本循環器看護学会		3405
未	603102	末期心不全患者指導管理料	日本循環器看護学会		3410
既	603201	在宅患者訪問看護・指導料3	日本循環器看護学会		3414
未	604101	術後排尿障害指導管理料	日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会		3420
既	604201	ストーマ処置（1日につき）の合併症加算	日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会		3425
未	605102	経肛門的洗腸療法材料加算の新設	日本創傷・オストミー・失禁管理学会	357201と重複。	3439
既	605201	在宅患者訪問看護・指導料3	日本創傷・オストミー・失禁管理学会		3445
既	605202	排尿自立指導料	日本創傷・オストミー・失禁管理学会		3451
既	605203	在宅経肛門的自己洗腸指導管理料	日本創傷・オストミー・失禁管理学会	357201、382206と重複。	3456

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
未	606101	脳卒中再発・重症化予防指導料（仮称）	日本ニューロサイエンス看護学会		3463
未	702102	持続型G-CSF製剤の在宅自己注射指導管理料	日本乳癌学会		3474
既	702201	D409-2 センチネルリンパ節生検（片側）	日本乳癌学会		3478
未	703101	ポジトロン断層撮影（アミロイドイメージング）	日本認知症学会		3484
未	703103	施行頻度の高い認知症重症度尺度 Clinical Dementia Rating (CDR)	日本認知症学会		3498
既	705201	脳C T血管撮影	日本脳卒中学会		3531
既	705202	経頭蓋ドプラ装置による脳動脈血流速度連続測定	日本脳卒中学会		3537
既	705204	脳卒中例、意識障害例に対する嚥下機能評価を伴った摂食機能療法	日本脳卒中学会		3546
既	706201	電磁波温熱療法	日本ハイパーサーミア学会		3553
既	707201	EGFR遺伝子検査（血漿）保険算定におけるT790M血漿検査回数制限の緩和について	日本肺癌学会		3558
未	708101	プロスタグランジンE1陰性海綿体注射テスト（PGE1テスト）	日本泌尿器科学会		3565
未	708102	特定薬剤治療管理料対象薬として「アキシチニブ」を追加	日本泌尿器科学会		3571
未	708103	特定薬剤治療管理料対象薬として「バゾパニブ」を追加	日本泌尿器科学会		3576
既	709201	ダーモスコピー	日本皮膚科学会		3592
既	709202	細胞診	日本皮膚科学会		3596
既	709203	センチネルリンパ節生検	日本皮膚科学会		3600
未	710101	内臓脂肪量測定（腹部CT法）	日本肥満学会		3605
未	713101	連携病理依頼書作成料	日本病理学会		3616
未	713102	分子病理診断料	日本病理学会		3622
未	713103	病理診断デジタル化加算	日本病理学会		3627
未	713104	病理診断安全対策加算	日本病理学会		3632
未	713105	オンライン病理診断料	日本病理学会		3637

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
未	713106	ワンデイパソロジー	日本病理学会		3642
既	713201	悪性腫瘍組織検査	日本病理学会		3647
既	713202	病理診断管理加算	日本病理学会		3653
既	713203	病理診断料毎回算定	日本病理学会		3659
既	713204	免疫染色（免疫抗体法）病理組織標本作製 4種抗体加算	日本病理学会		3664
既	713205	サイトケラチン19（KRT19）mRNA検出	日本病理学会		3669
既	714201	認知療法・認知行動療法	日本不安症学会		3685
未	715101	植込型除細動デバイス(植込み型除細動器、両室ペースング機能付き除細動器)指導管理料	日本不整脈心電学会		3689
未	715102	心臓ペースメーカー指導管理料 遠隔加算の範囲（ILR等診断機器に対するもの）	日本不整脈心電学会		3695
未	715103	心臓ペースメーカー指導管理料 ILR管理料（診断機器に対する対面管理料）	日本不整脈心電学会		3700
既	715201	心臓ペースメーカー指導管理料 イ) 着用型自動除細動器による場合 注4	日本不整脈心電学会		3705
既	715202	植込型除細動器移植術 皮下植込型リードを用いるもの	日本不整脈心電学会		3711
既	715203	両室ペースング機能付き植込型除細動器移植術	日本不整脈心電学会		3716
既	715204	植込型除細動器移植術 経静脈リードを用いるもの	日本不整脈心電学会		3721
既	715205	両心室ペースメーカー移植術	日本不整脈心電学会		3726
既	715206	ペースメーカー交換術	日本不整脈心電学会		3732
既	715207	両心室ペースメーカー交換術	日本不整脈心電学会		3737
既	715208	胸腔鏡下交感神経節切除術	日本不整脈心電学会		3743
既	715209	心磁図検査	日本不整脈心電学会		3749
既	715210	経皮的カテーテル心筋焼灼術（磁気ナビゲーション法加算）	日本不整脈心電学会		3754
未	718101	ヘリコバクターピロリ菌の抗菌薬感受性試験	日本ヘリコバクター学会		3760
未	718102	抗胃壁細胞抗体検査（抗壁細胞抗体検査）	日本ヘリコバクター学会		3765

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
未	718104	血清ペプシノゲンによるヘリコバクターピロリ除菌判定	日本ヘリコバクター学会		3774
未	718105	血中ペプシノゲンⅠ（PGⅠ）、ペプシノゲンⅡ（PGⅡ）測定による慢性胃炎の診断	日本ヘリコバクター学会		3779
既	718202	若年の内視鏡未施行者に対する非侵襲的ヘリコバクター・ピロリ（ピロリ菌）検査	日本ヘリコバクター学会		3791
既	718203	ピロリ菌感染診断における迅速ウレアーゼ試験後の培養検査	日本ヘリコバクター学会		3796
未	720101	「M006」「放射線治療用材料装着技術料」の新規項目立て	日本放射線腫瘍学会		3802
未	720102	Intrafractional IGRT加算	日本放射線腫瘍学会		3806
未	720103	時間外休日放射線治療加算	日本放射線腫瘍学会		3812
未	720104	MRIを用いた即時適応強度変調放射線治療加算	日本放射線腫瘍学会		3817
未	720105	画像誘導粒子線治療加算	日本放射線腫瘍学会		3823
未	720106	画像誘導呼吸性移動対策加算	日本放射線腫瘍学会		3829
未	720107	密封小線源治療(M004)へのSAVIアプリケーション加算	日本放射線腫瘍学会		3835
未	720108	密封小線源治療（M004）へのオンコススマートカテーテル加算	日本放射線腫瘍学会		3841
未	720109	画像融合放射線治療計画加算（A：剛体、B：非剛体）	日本放射線腫瘍学会		3847
未	720111	AIを用いた放射線治療計画	日本放射線腫瘍学会		3856
既	720201	強度変調放射線治療（intensity-modulated radiation therapy：IMRT）の施設基準の見直し	日本放射線腫瘍学会		3861
既	720202	外来放射線治療診療料の算定要件の見直し（医師の要件（放射線治療経験5年以上）の緩和）	日本放射線腫瘍学会		3868
既	720203	体幹部定位放射線治療の適応拡大	日本放射線腫瘍学会		3873
既	720204	婦人科がん腔内照射管理料の増点と毎回算定 「M000 放射線治療管理料 2 腔内照射を行った場合」	日本放射線腫瘍学会		3879
既	720205	婦人科がん腔内照射料の増点「M004 密封小線源治療 2 腔内照射 イ 高線量率イリジウム照射を行った場合又は新型コバルト小線源治療装置を用いた場合」	日本放射線腫瘍学会		3886
既	720206	M004 密封小線源治療 注8 画像誘導密封小線源治療加算の増点・適応拡大	日本放射線腫瘍学会		3892
既	720207	陽子線治療の適応拡大	日本放射線腫瘍学会		3899
既	720208	重粒子線治療の適応拡大	日本放射線腫瘍学会		3905

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	720210	強度変調放射線治療 (intensity-modulated radiation therapy : IMRT) の算定方法の見直し	日本放射線腫瘍学会		3918
既	720211	医療機器安全管理料2の見直し (専任から専従へ、対象に小線源治療も追加)	日本放射線腫瘍学会		3923
既	720212	「直線加速器による定位放射線治療」と「体外照射」の同時算定	日本放射線腫瘍学会		3929
既	720214	放射線治療「専従」加算	日本放射線腫瘍学会		3940
既	720215	外来放射線治療加算対象への密封小線源治療追加	日本放射線腫瘍学会		3945
既	720216	体外照射 (X線、電子線) と粒子線治療の同時算定	日本放射線腫瘍学会		3949
既	720218	前立腺癌小線源治療シード点数の増点について	日本放射線腫瘍学会		3961
既	720219	放射線治療用手技の技術区分変更と 気管支内視鏡的放射線治療用マーカー留置術の評価	日本放射線腫瘍学会		3968
既	720220	放射線治療用手技の技術区分変更と経皮的放射線治療用金属マーカー留置術の評価	日本放射線腫瘍学会		3976
既	720221	放射線治療用手技の技術区分変更とスペーサ留置手技の評価	日本放射線腫瘍学会		3982
既	720223	耐用期間を過ぎた放射線治療装置による高精度照射の減点	日本放射線腫瘍学会		3993
未	722101	新設輸血管理料(輸血管理料細分化)	日本輸血・細胞治療学会		3998
未	722102	血液製剤院内分割加算	日本輸血・細胞治療学会		4003
未	722103	同種クリオプレシビート作製術	日本輸血・細胞治療学会		4007
未	722104	CD34陽性細胞測定(末梢血幹細胞採取時)	日本輸血・細胞治療学会		4012
既	722201	輸血時血液型検査	日本輸血・細胞治療学会		4026
既	724201	感染症リスクを有する真菌感染症におけるβDグルカン測定	日本リウマチ学会		4040
既	724202	全身性エリテマトーデスに対するベリムマブの外来化学療法加算B	日本リウマチ学会		4045
既	724203	全身性エリテマトーデス(SLE)疑いの患者での抗核抗体と抗DNA抗体の同時測定	日本リウマチ学会		4051
既	724204	成人still病(AOSD)における血清フェリチン値の測定	日本リウマチ学会		4056
既	724205	治療薬変更時の抗シトルリン化ペプチド抗体 (抗CCP抗体) の複数回測定	日本リウマチ学会		4060
既	724206	リンパ増殖性疾患における可溶性インターロイキン-2レセプター測定	日本リウマチ学会		4065

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
未	725101	運動量増加機器使用リハビリテーション加算	日本リハビリテーション医学会		4075
未	725102	包括リハビリテーション指導料	日本リハビリテーション医学会		4081
既	725202	がん患者リハビリテーション	日本リハビリテーション医学会		4089
既	725203	L100 神経ブロック（ボツリヌス毒素使用）	日本リハビリテーション医学会		4094
既	726201	染色体検査	日本リンパ網内系学会		4105
既	726202	免疫抑制療法およびがん化学療法時のB型肝炎既往感染に関する一括スクリーニング	日本リンパ網内系学会		4110
既	726203	B型肝炎既往感染者における免疫抑制療法、がん化学療法中および治療後のHBV-DNA量の定期的モニタリング	日本リンパ網内系学会		4116
未	727101	外来栄養食事指導料・入院栄養食事指導料	日本臨床栄養学会		4125
既	727201	血清セレン測定（検査D007血液生化学検査）	日本臨床栄養学会		4135
既	728201	抗酸菌核酸同定	日本臨床検査医学会		4140
既	728202	結核菌群核酸検出	日本臨床検査医学会		4145
既	728203	国際標準検査管理加算の外来症例での評価	日本臨床検査医学会		4149
既	728204	抗酸菌分離培養（液体培地法）	日本臨床検査医学会		4153
既	728205	抗酸菌薬剤感受性検査（培地数に関係なく）	日本臨床検査医学会		4157
既	728206	マイコバクテリウム・アビウム及びイントラセルラー（MAC）核酸検出	日本臨床検査医学会		4161
既	728207	クロストリジウム・ディフィシル抗原定性	日本臨床検査医学会		4166
既	728208	アルブミン測定方法による項目分け	日本臨床検査医学会		4170
既	728209	ヘモグロビンA1Cの分類見直し	日本臨床検査医学会		4174
既	728211	肺気量分画測定（安静換気量測定及び最大換気量測定を含む）	日本臨床検査医学会		4184
既	728212	フローボリュームカーブ（強制呼出曲線を含む）	日本臨床検査医学会		4188
既	728213	機能的残気量測定	日本臨床検査医学会		4192
既	728214	肺拡散能力検査	日本臨床検査医学会		4196

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	728215	脳性Na利尿ペプチド (BNP)	日本臨床検査医学会		4200
既	728216	心筋トロポニン I	日本臨床検査医学会		4204
既	728217	血小板凝集能	日本臨床検査医学会		4209
既	728218	クレアチンキナーゼMB分画 (CK-MB)	日本臨床検査医学会		4213
既	728219	動物使用検査	日本臨床検査医学会		4218
既	728220	アレルギー刺激性遊離ヒスタミン (HRT)	日本臨床検査医学会		4222
既	728221	Bence Jones蛋白定性 (尿)	日本臨床検査医学会		4226
既	728222	蛋白分画	日本臨床検査医学会		4230
既	728223	サイトメガロウイルス抗体	日本臨床検査医学会		4234
既	728224	抗酸菌同定	日本臨床検査医学会		4238
既	728225	赤血球表面抗原検査	日本臨床検査医学会		4242
既	729201	血液採取・静脈	日本臨床検査専門医会		4246
既	729203	国際標準検査管理加算の範囲拡大	日本臨床検査専門医会		4257
既	729204	悪性腫瘍組織検査 (標準化および質向上支援技術)	日本臨床検査専門医会		4261
既	729205	超音波エラストグラフィー	日本臨床検査専門医会	359201と重複。	4267
既	729207	皮膚灌流圧測定 (SPP)	日本臨床検査専門医会		4277
既	729208	25-ヒドロキシビタミン D	日本臨床検査専門医会		4283
既	729209	ADAMTS13活性	日本臨床検査専門医会		4288
既	729210	ADAMTS13インヒビター	日本臨床検査専門医会		4293
既	729211	HIV-1,2抗原・抗体同時測定定量	日本臨床検査専門医会		4299
未	730101	細胞診精度管理料	日本臨床細胞学会		4304
未	730102	頸部細胞診陰性標本、判定支援加算 (精度管理加算)	日本臨床細胞学会		4308

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	730201	細胞診断料の見直し（婦人科細胞診への適用拡大）	日本臨床細胞学会		4314
既	730202	病理組織標本作製、セルブロック法によるもの、適応疾患の拡大	日本臨床細胞学会		4320
既	730203	迅速細胞診（検査中の場合）、適応疾患の拡大	日本臨床細胞学会		4326
既	730204	免疫染色、細胞診標本への適用拡大	日本臨床細胞学会		4331
既	730205	液状化検体細胞診加算の見直し	日本臨床細胞学会		4336
未	731101	ミスマッチ陰性電位（MMN）検査	日本臨床神経生理学会		4341
既	731201	誘発筋電図（神経伝導検査を含む）	日本臨床神経生理学会		4345
既	731202	反復睡眠潜時試験	日本臨床神経生理学会		4350
既	732201	関節液検査	日本臨床整形外科学会		4355
既	732202	骨粗鬆症における骨代謝マーカー測定要件の見直し	日本臨床整形外科学会		4359
既	733202	処方箋料	日本臨床内科医会		4380
未	734101	がんゲノム診断・管理料	日本臨床腫瘍学会		4396
未	734102	抗がん剤分割使用加算（仮）	日本臨床腫瘍学会		4401
未	734103	特定薬剤治療管理料対象薬として「フルオロウラシル（5-FU）注射液」を追加	日本臨床腫瘍学会		4406
未	735102	薬剤耐性菌検出検査	日本臨床微生物学会		4422
未	735105	喀痰の品質管理評価法	日本臨床微生物学会		4435
未	735106	Bacterial vaginosis（BV）スコア	日本臨床微生物学会		4440
既	735201	細菌培養同定検査：血液および穿刺液	日本臨床微生物学会		4445
既	735202	大腸菌ペロトキシン定性	日本臨床微生物学会		4449
既	735203	細菌薬剤感受性検査1菌種	日本臨床微生物学会		4453
既	735204	細菌薬剤感受性検査2菌種	日本臨床微生物学会		4457
既	735205	細菌薬剤感受性検査3菌種以上	日本臨床微生物学会		4461

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	735206	排泄物、滲出物又は分泌物の細菌顕微鏡検査 その他のもの	日本臨床微生物学会		4465
既	735207	細菌培養同定検査（消化管からの検体）	日本臨床微生物学会		4469
既	735208	細菌培養同定検査（口腔・気道又は呼吸器からの検体）	日本臨床微生物学会		4473
既	735209	細菌培養同定検査（泌尿器又は生殖器からの検体）	日本臨床微生物学会		4477
既	735210	細菌培養同定検査（その他の部位からの検体）	日本臨床微生物学会		4481
既	735211	大腸菌血清型別	日本臨床微生物学会		4485
未	736101	認知機能・生活機能質問票（DASC-8）を用いた高齢者糖尿病管理目標値の設定と管理	日本老年医学会		4489
未	736102	ABC認知症スケール（ABC-DS）	日本老年医学会		4494

1-①-i 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出があった技術のうち、
先進医療会議において科学的根拠等に基づく評価が行われる予定の技術に係るもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	先進医療としての 現時点での取扱い		提案書の ページ	
				告示番号	先進医療技術名		
既	276203	重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対する LDLアフェレシス(LDL-A)療法	日本腎臓学会	A	21	LDLアフェレシス療法	886
未	307102	眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)	日本角膜学会	A	19, 20	ウイルスに起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診 断(PCR法)、細菌又は真菌に起因する難治性の眼感 染疾患に対する迅速診断(PCR法)	1433
未	327104	腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清	日本産科婦人科学会	A	25	腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術	1817
未	370102	リンパ節群郭清術・後腹膜(腹腔鏡下)	日本泌尿器内視鏡学会	A	9	泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹 腔鏡下リンパ節郭清術	2620
未	371103	多血小板を用いた難治性皮膚潰瘍治療	日本皮膚科学会	B	36	多血小板血漿を用いた難治性皮膚潰瘍の治療	2661
未	372101	スリーブ状胃切除・バイパス術(腹腔鏡下)	日本肥満症治療学会	A	27	腹腔鏡下スリーブ状胃切除術及び十二指腸空腸 バイパス術	2676
既	720207	陽子線治療の適応拡大	日本放射線腫瘍学会	A	2	陽子線治療	3899
既	720208	重粒子線治療の適応拡大	日本放射線腫瘍学会	A	5	重粒子線治療	3905

1-② 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出のあった技術のうち、
医療技術評価分科会における評価の対象にならないもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	201201	抗MDA5抗体陽性皮膚筋炎に伴う急速進行性間質性肺炎に対する血漿交換療法	日本アフェレンス学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	1
未	204101	食物依存性運動誘発アナフィラキシーの診断確定のための食物負荷試験	日本アレルギー学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	25
未	215101	PCR-インベーター法を用いたMycoplasma genitaliumの同定	日本化学療法学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	104
未	215102	ニューモシスチス肺炎の診断のための病原体核酸増幅検査	日本化学療法学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	108
既	216202	微生物核酸同定・定量検査 2. 淋菌核酸検出, クラミジア・トラコマチス核酸検出 4. 淋菌核酸およびクラミジア・トラコマチス同時核酸検出	日本感染症学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	129
既	216203	細菌核酸・薬剤耐性遺伝子同時検出	日本感染症学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	134
既	218206	ポジトロン断層撮影等 (PET検査における術前補助療法の治療効果判定の追加)	日本核医学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	176
既	221201	外来緩和ケア管理料	日本緩和医療学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	194
既	221202	がん患者指導管理料	日本緩和医療学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	199
既	221203	がん性疼痛緩和指導管理料	日本緩和医療学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	204
未	226101	血清IL-6測定	日本血液学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	209
未	226102	トキソプラズマ症遺伝子診断検査	日本血液学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	213
未	226103	JAK2遺伝子変異解析	日本血液学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	218
未	227101	アスペルギルス沈降抗体	日本結核病学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	223
未	231102	呼吸器内科専門医 呼吸不全加算	日本呼吸器学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	267
既	231205	在宅酸素療法指導管理料の算定要件変更	日本呼吸器学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	305
既	231206	特発性肺線維症(特発性間質性肺炎)の急性増悪に対する吸着式血液浄化法	日本呼吸器学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	311
未	234101	外来呼吸ケア管理料	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	323
未	234102	在宅医療機器安全管理指導料	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	329

1-② 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出のあった技術のうち、
医療技術評価分科会における評価の対象にならないもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	234201	呼吸器リハビリテーション料（増点）	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	334
既	234202	呼吸器リハビリテーション料（言語聴覚士による実施）	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	340
未	236102	医療機関からの退院日と入院中外泊日の訪問看護	日本在宅医学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	355
未	236103	在宅移行支援加算の新設	日本在宅医学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	359
未	236104	退院時共同指導料1、2に新たな加算をつける	日本在宅医学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	363
未	236105	栄養サポート専任医師配置加算	日本在宅医学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	368
未	236106	在宅人工呼吸療法導入調整時安全指導加算	日本在宅医学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	372
既	236201	複数の訪問看護ステーションが同一日に訪問した場合の扱い。	日本在宅医学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	376
既	236202	訪問看護と訪問診療・往診の関係	日本在宅医学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	380
既	236203	訪問看護療養費における同一日の訪問看護と訪問リハビリ	日本在宅医学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	384
既	236204	経管栄養・薬剤投与用カテーテル交換法での内視鏡費用について	日本在宅医学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	388
既	236205	往診の点数の評価	日本在宅医学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	392
既	236206	退院時共同指導料1、2の算定対象拡大	日本在宅医学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	396
既	236207	同一日の訪問診療・往診と緊急訪問看護の併算定	日本在宅医学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	400
既	236208	療養情報提供加算要件緩和	日本在宅医学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	404
未	237106	地域医療連携体制加算	日本産婦人科医会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	432
既	237203	免疫染色（免疫抗体法）病理組織標本作成	日本産婦人科医会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	444
未	238102	高年妊婦分娩加算	日本産科婦人科学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	452
未	238103	母体・胎児集中治療加算	日本産科婦人科学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	456

1-② 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出のあった技術のうち、
医療技術評価分科会における評価の対象にならないもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	244201	通院在宅精神療法 児童思春期精神科専門管理加算 施設 基準（５）の緩和	日本児童青年精神医学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	510
既	244202	通院在宅精神療法 児童思春期精神科専門管理加算 施設 基準（２）の緩和	日本児童青年精神医学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	515
既	244203	通院在宅精神療法 算定要件の拡大(算定期間)	日本児童青年精神医学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	520
既	247201	小児かかりつけ診療料	日本小児科医会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	529
既	247202	診療情報提供料（１）	日本小児科医会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	533
未	250101	カプセル内視鏡留置術を併用した小腸カプセル内視鏡	日本小児栄養消化器肝臓学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	559
未	251101	殺菌能検査	日本小児感染症学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	570
未	257107	カテコラミン誘発多形性心室頻拍の遺伝子診断	日本小児循環器学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	651
未	265101	血清コレステロール測定（血液）	日本神経学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	710
未	265102	血清中のP/Q型カルシウムチャネル（VGCC）抗体の測定	日本神経学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	716
未	265103	神経学的検査（遠隔診断）	日本神経学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	722
未	265106	プリオン病診療ケア加算	日本神経学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	739
未	265108	多職種によるてんかん患者在宅療養指導管理料	日本神経学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	749
既	265203	脳血管疾患等リハビリテーション	日本神経学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	768
既	265205	難病患者リハビリテーション	日本神経学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	776
既	265206	認知症療養指導料	日本神経学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	780
未	268101	心療内科外来チーム診察料	日本心身医学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	796
未	268102	通院集団自律訓練法	日本心身医学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	800
既	268205	過敏性腸症候群治療管理料	日本心身医学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	824

1-② 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出のあった技術のうち、
医療技術評価分科会における評価の対象にならないもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
未	269101	プレネイタルカウンセリング加算	日本新生児成育医学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	829
既	272201	心大血管リハビリテーション料に関わる施設基準の拡大：追加専任従事者としての臨床検査技師の活用とチーム医療の強化	日本心臓リハビリテーション学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	849
既	277201	高度腎機能障害患者指導加算	日本腎臓リハビリテーション学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	896
既	278201	遺伝学的検査（遺伝性腫瘍）	日本人類遺伝学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	901
既	278202	遺伝学的検査（難病等）	日本人類遺伝学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	906
未	281102	後頭神経刺激装置植込術	日本頭痛学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	941
未	284102	精神科保護集中精神療法	日本精神科病院協会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	950
未	284103	精神科保護集中治療加算	日本精神科病院協会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	954
未	284104	精神科病棟感染制御管理料	日本精神科病院協会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	958
未	284105	精神科身体機能強化専門療法	日本精神科病院協会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	963
未	284106	重度認知症デイ・ケア料 リハビリテーション加算	日本精神科病院協会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	968
未	284107	重度認知症デイ・ケア料 身体合併症加算	日本精神科病院協会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	972
未	284108	認知症地域連携パス共同指導料	日本精神科病院協会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	977
既	284201	持続性抗精神病注射薬剤治療指導管理料(LAI)	日本精神科病院協会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	981
既	284202	入院精神療法（Ⅱ）イ	日本精神科病院協会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	985
既	284203	精神科デイ・ケア等	日本精神科病院協会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	989
既	284204	精神科デイ・ケア等（プレ・デイ・ケア）	日本精神科病院協会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	994
既	284205	入院精神療法（Ⅰ）	日本精神科病院協会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	998
既	284206	入院精神療法（Ⅱ）ロ	日本精神科病院協会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1002

1-② 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出のあった技術のうち、
医療技術評価分科会における評価の対象にならないもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	284207	入院精神療法（20歳未満）	日本精神科病院協会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1006
既	284208	重度認知症デイ・ケア料 夜間ケア加算	日本精神科病院協会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1010
既	284209	精神科訪問看護・指導料【1-A 算定要件の拡大(適応疾患の拡大)】	日本精神科病院協会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1015
既	284210	医療保護入院等診療料	日本精神科病院協会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1019
既	284211	入院集団精神療法	日本精神科病院協会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1024
既	284212	通院集団精神療法	日本精神科病院協会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1028
既	284214	精神科退院前訪問指導料	日本精神科病院協会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1038
既	284215	通院・在宅精神療法の時間外・休日・深夜加算	日本精神科病院協会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1042
既	284216	特定薬剤副作用評価加算	日本精神科病院協会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1046
既	284217	疾患別リハビリテーション料（加算）	日本精神科病院協会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1050
既	284218	疾患別リハビリテーション料（算定期限超え除外）	日本精神科病院協会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1055
既	284219	精神科訪問看護・指導料【1-B 算定要件の拡大(施設基準)】	日本精神科病院協会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1060
未	285101	精神科包括的支援マネジメント料	日本精神神経学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1064
未	285102	精神科多職種チームによる回復期治療の強化	日本精神神経学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1069
未	285103	精神科作業療法計画策定・管理料	日本精神神経学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1074
未	285104	かかりつけ医との連携加算（うつ病患者等に対するかかりつけ医との連携加算）	日本精神神経学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1079
既	285201	精神科在宅患者支援管理料	日本精神神経学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1084
既	285202	治療抵抗性統合失調症治療指導管理料	日本精神神経学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1089
既	285203	精神科ショート・ケア、デイ・ケア（児童思春期）	日本精神神経学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1095

1-② 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出のあった技術のうち、
医療技術評価分科会における評価の対象にならないもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	285204	精神科デイケアの機能分化を進める～うつ病リハビリテーションデイケア～	日本精神神経学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1101
既	285205	ハイリスク妊産婦連携指導料【2】の増点	日本精神神経学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1107
既	285206	退院後訪問指導料（医学管理料B007-2）	日本精神神経学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1111
既	285207	「通院・在宅精神療法」30分未満の増点	日本精神神経学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1115
既	285208	向精神薬の多剤減算	日本精神神経学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1119
既	285209	通院・在宅精神療法の算定要件変更	日本精神神経学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1124
既	285210	精神科訪問看護・指導料（I012特掲診療料・精神療法）	日本精神神経学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1128
既	285212	救急患者精神科継続支援料1	日本精神神経学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1137
既	285213	救急患者精神科継続支援料2	日本精神神経学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1142
既	285214	診療情報提供料(I)	日本精神神経学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1147
未	288102	栄養・摂食嚥下管理加算	日本摂食嚥下リハビリテーション学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1162
既	288201	摂食機能療法Ⅲ	日本摂食嚥下リハビリテーション学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1167
既	289201	血中ガラクトース検査	日本先天代謝異常学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	1197
未	290101	D P C の医療機能評価係数Ⅱで精神科リエゾンチーム加算の存在を評価する	日本総合病院精神医学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1204
未	290102	DPC適用病院の精神病床へのD P C適用化	日本総合病院精神医学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1208
未	291101	HHV-6 DNA定量検査	日本造血細胞移植学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	1212
未	294101	てんかん専門診断管理料	日本てんかん学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1232
未	294102	てんかん紹介料連携加算	日本てんかん学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1237
未	294103	てんかん心理教育療法	日本てんかん学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1243

1-② 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出のあった技術のうち、
医療技術評価分科会における評価の対象にならないもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	296203	糖負荷試験（静脈）追加法（インスリン感受性評価）	日本糖尿病学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	1302
未	297101	女性更年期症候群に対する漢方医学的診察法	日本東洋医学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1308
未	304101	移植臓器幹旋料	日本移植学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1361
未	306101	緊急入院時の検査（MRI・CT検査等）を包括項目から除外	日本運動器科学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1380
未	306102	有床診療所の地域包括ケア病床の新設	日本運動器科学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1384
未	306103	休日リハビリテーション提供体制加算	日本運動器科学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1388
未	306104	運動器リハビリテーション料 小児加算（15歳以下）	日本運動器科学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1392
既	306201	早期リハビリテーション加算	日本運動器科学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1400
既	306202	運動器リハビリテーション料の再評価	日本運動器科学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1404
既	306203	入院時の運動器リハビリテーション標準算定要件の緩和	日本運動器科学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1408
既	306204	特定疾患療養管理料の適応疾患の拡大	日本運動器学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1412
既	306206	運動器リハビリテーション起算日の変更	日本運動器科学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1420
既	306207	運動器リハビリテーションはロコモ25で5以上の悪化の場合急性増悪とする。	日本運動器科学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1424
既	310204	短期滞在手術等基本料3の改正	日本眼科医会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1508
既	310206	眼底カメラ撮影 デジタルプリントの評価	日本眼科医会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1515
既	315201	緩和ケア病棟入院料	日本緩和医療学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1593
未	316102	脳死判定(診断)料	日本救急医学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1603
未	316103	病院救急自動車搬送料	日本救急医学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1608
未	316104	入院時重症患者対応加算	日本救急医学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1612

1-② 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出のあった技術のうち、
医療技術評価分科会における評価の対象にならないもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	316203	夜間休日救急搬送医学管理料	日本救急医学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1622
未	318103	自家皮膚移植術(細胞) (RECELL)	日本形成外科学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	1645
未	326101	感染性偽関節骨誘導術 #1 大腿骨 #2 下腿骨 #3 上腕骨 #4 前腕骨	日本骨折治療学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	1788
未	334101	院内迅速対応システム (Rapid Response System : RRS) の診療報酬	日本集中治療医学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1959
既	334201	特定集中治療室管理料の要件見直し (バイオクリーンルームの削除)	日本集中治療医学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1964
既	334202	経皮的体温調節療法の要件の見直し	日本集中治療医学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	1967
既	334203	気管支カテーテル気管支肺胞洗浄法検査	日本集中治療医学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	1971
既	334204	特定集中治療室管理料の要件見直しと増点 (臨床工学技士)	日本集中治療医学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1974
既	341201	四肢血管拡張術	日本静脈学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	2111
未	342101	栄養管理連携加算 1	日本静脈経腸栄養学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	2120
未	342102	栄養管理連携加算 2	日本静脈経腸栄養学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	2126
未	343103	重度褥瘡栄養管理加算	日本褥瘡学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	2149
既	344203	ステントグラフト内挿術・胸部大動脈 (食道悪性腫瘍に対して)	日本食道学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	2185
既	346202	人工臓器検査	日本人工臓器学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	2221
既	346203	全身糖代謝PET-CT	日本人工臓器学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	2226
未	347101	機械弁患者における在宅PT-INR自己測定指導管理料の新設	日本心臓血管外科学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	2233
既	349202	在宅患者訪問看護・指導料 3. 悪性腫瘍の患者に対する緩和ケア	日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	2272
未	355102	筋肉量測定 (DXA法)	日本脊椎椎髄病学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	2337
未	357103	大腸移送能試験	日本大腸肛門病学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	2380

1-② 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出のあった技術のうち、
医療技術評価分科会における評価の対象にならないもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
未	357104	便秘や過敏性腸症候群に対する食事指導	日本大腸肛門病学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	2384
既	357205	便秘症に対する管理栄養士による栄養指導	日本大腸肛門病学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	2404
未	361102	ワダテスト（頸動脈薬剤負荷試験）	日本てんかん学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	2460
未	368103	在宅排尿管理指導料	日本排尿機能学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	2581
既	373204	外傷性出血に対するフィブリノーゲン製剤の投与	日本腹部救急医学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	2727
未	374101	センチネルリンパ節生検術（子宮悪性腫瘍手術）	日本婦人科腫瘍学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	2737
既	376201	緩和ケア病棟入院中の患者に対する神経ブロックの包括対象外化	日本ペインクリニック学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	2791
未	382104	移行期支援・自立支援指導料	日本臨床外科学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	2856
既	382205	新生児特定集中治療室管理料 A302	日本臨床外科学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	2875
既	384201	前立腺針生検法の外来日帰り加算	日本臨床泌尿器科医会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	2938
未	431101	ニコチン代謝産物測定による慢性歯周炎患者の禁煙指導	日本歯周病学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	3180
未	601101	ハイリスク高齢がん患者外来指導管理料	日本がん看護学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	3376
既	601202	がん患者指導管理料イ	日本がん看護学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	3386
既	602201	がん患者指導管理料ロ	日本緩和医療学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	3390
既	603202	退院時共同指導料 2	日本循環器看護学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	3417
既	604202	在宅患者訪問看護・指導料 3	日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	3430
未	605101	褥瘡対策地域連携加算	日本創傷・オストミー・失禁管理学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	3434
未	702101	Oncotype DX	日本乳癌学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	3468
未	703102	脳脊髄液中アミロイドβ42アッセイ	日本認知症学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	3492

1-② 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出のあった技術のうち、
医療技術評価分科会における評価の対象にならないもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
未	703104	血中アミロイドβ関連ペプチドアッセイ	日本認知症学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	3503
未	703105	認知症療養専門指導料	日本認知症学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	3510
未	704101	病理組織標本を用いたIDH1/2遺伝子変異の診断法	日本脳神経外科学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	3515
未	705101	脳卒中急性期多職種医療加算	日本脳卒中学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	3519
未	705102	脳卒中ケアユニットにおける休日リハビリテーション加算	日本脳卒中学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	3525
既	705203	救急医療管理加算1（算定要件拡大）	日本脳卒中学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	3541
未	708104	尿中クエン酸濃度	日本泌尿器科学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	3581
未	708105	尿中アデノウイルスDNA PCR 定量	日本泌尿器科学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	3587
未	710102	「肥満症」病名による生活習慣病管理料の算定	日本肥満学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	3611
未	714101	外来認知行動指導料	日本不安症学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	3675
未	714102	オンライン認知行動指導料	日本不安症学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	3680
未	718103	抗内因子抗体検査	日本ヘリコバクター学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	3769
既	718201	H. pyloriの除菌療法において、H. pyloriがクラリスロマイシン耐性と判明している場合に、メトロニダゾールを含む二次除菌レジメンを一次除菌から用いる。	日本ヘリコバクター学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	3785
未	720110	外来放射線治療加算及び特定入院料等の5%控除の対象に密封小線源治療を追加	日本放射線腫瘍学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	3852
既	720209	外来放射線照射診療料における専門認定看護師加算（有資格看護師配置の場合の増点）	日本放射線腫瘍学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	3912
既	720213	放射線治療スタッフの常勤換算	日本放射線腫瘍学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	3935
既	720217	サイバーナイフによる三叉神経痛治療	日本放射線腫瘍学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	3954
既	720222	各種技術に対するスタッフの兼務についての整合性の調整	日本放射線腫瘍学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	3989
未	722105	輸血検査自動機器加算	日本輸血・細胞治療学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	4017

1-② 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出のあった技術のうち、
医療技術評価分科会における評価の対象にならないもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
未	722106	輸血関連情報提供料	日本輸血・細胞治療学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	4022
未	723101	運動器の難治性慢性疼痛における集学的治療に対する慢性疼痛管理加算	日本腰痛学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	4031
未	724101	強直性脊椎炎疑いにおけるHLA-B27検査	日本リウマチ学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	4036
既	724207	パーチェット病におけるHLA型クラスI検査	日本リウマチ学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	4070
既	725201	療養・就労両立支援指導料	日本リハビリテーション医学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	4085
未	726101	In situ hybridization法を用いた病理標本でのEBウイルスの検出検査	日本リンパ網内系学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	4100
既	726204	造血器腫瘍遺伝子検査	日本リンパ網内系学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	4121
未	727102	病院における管理栄養士の病棟配置に対する加算	日本臨床栄養学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	4130
既	728210	検査画像情報提供加算・診療情報提供料（I）	日本臨床検査医学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	4179
既	729202	悪性腫瘍遺伝子検査 ト マイクロサテライト不安定性検査	日本臨床検査専門医会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	4250
既	729206	網膜芽細胞腫及び甲状腺髄様癌の遺伝学的検査の方法の追加（DNAシーケンス法）	日本臨床検査専門医会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	4272
未	733101	アルツハイマー型認知症管理料	日本臨床内科医会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	4364
未	733102	慢性便秘症管理料	日本臨床内科医会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	4368
未	733103	電子カルテ加算	日本臨床内科医会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	4372
既	733201	特定疾患療養管理料	日本臨床内科医会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	4376
既	733203	処方料	日本臨床内科医会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	4384
既	733204	診療情報提供料	日本臨床内科医会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	4388
既	733205	在宅時医学総合管理料（処方箋を交付しない場合の加算）	日本臨床内科医会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	4392
未	734104	点滴抗がん薬の副作用軽減としての冷却療法	日本臨床腫瘍学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	4411

1-② 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出のあった技術のうち、
医療技術評価分科会における評価の対象にならないもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	734201	がん治療連携計画策定料・がん治療連携指導料	日本臨床腫瘍学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	4417
未	735103	薬剤耐性遺伝子検査	日本臨床微生物学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	4426
未	735104	マラリアイムノクロマトキット	日本臨床微生物学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	4431

先進医療会議において科学的根拠等に基づく評価が行われる予定の技術

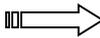
先進医療における現時点の取扱い		
告示番号	先進医療技術名	
A	1	高周波切除器を用いた子宮筋症核出術
A	2	陽子線治療
A	4	神経変性疾患の遺伝子診断
A	5	重粒子線治療
A	6	抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子検査
A	7	家族性アルツハイマー病の遺伝子診断
A	8	腹腔鏡下膀胱尿管逆流防止術
A	9	泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術
A	11	歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法
A	14	多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術
A	15	培養細胞によるライソゾーム病の診断
A	16	培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断
A	17	角膜ジストロフィーの遺伝子解析
A	18	MEN1 遺伝子診断
A	19	ウイルスに起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断（PCR法）
A	20	細菌又は真菌に起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断（PCR法）
A	21	LDLアフェレシス療法
A	22	多項目迅速ウイルスPCR法によるウイルス感染症の早期診断
A	23	CYP2D6遺伝子多型検査
A	24	MRI撮影及び超音波検査融合画像に基づく前立腺針生検法

先進医療会議において科学的根拠等に基づく評価が行われる予定の技術

先進医療における現時点の取扱い		
A	25	腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術
A	26	糖鎖ナノテクノロジーを用いた高感度ウイルス検査
A	27	腹腔鏡下スリーブ状胃切除術及び十二指腸空腸バイパス術
A	28	血中TARC濃度の迅速測定
A	29	Birt-Hogg-Dube(BHD)症候群の遺伝子診断
B	36	多血小板血漿を用いた難治性皮膚潰瘍の治療

保険未収載技術 評価票 (案)

番号：
評価対象技術：
評価者：

I. 評価	
評価項目	評価結果
1. 当該技術の保険収載に係る必要性・妥当性について	1 2 3 4 5 (低  高)
2. 倫理性・社会的妥当性について	問題あり 問題なし
3. 実施施設の限定について	1. 施設基準を設けるべき 2. 必要なし
II. コメント	
(1)既存技術と比較した有効性及び効率性について	
(2)普及性について	
(3)技術的成熟度について	
(4)安全性について	
III. 自由記載欄	

(評価上の留意事項)

I. 評価結果について

- ・「1. 当該技術の保険収載に係る必要性・妥当性について」及び「2. 倫理性・社会的妥当性について」は、提案書①～⑥に記載された内容を、エビデンスレベル等のデータの質・信頼度、臨床的観点からの妥当性などから総合的に評価し、評価結果を○で囲むこと。
- ・「3. 実施施設の限定について」は、提案書①～⑤の記載を総合的に評価し、当該技術を実施する場合には、安全性等の観点から一定の施設に限定する必要がある、と判断した場合は、1を○で囲むこと。

II. コメントについて

- ・評価結果を1又は2とした場合は、提案書の内容が不十分と考えられる点
- ・評価結果を5とした場合は、評価ができると考えられる点を少なくとも1項目について、(1)～(5)の「コメント」欄に記載する。(複数記載可)

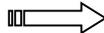
III. 自由記載欄について

その他、当該技術に関して特記すべき事項がある場合は、記載すること。なお、事務局が提案書記載内容の確認を行った際等に気づいた点を記載することもあるので、評価の際に参考として用いること。

保険既収載技術 評価票（案）

番号：
 評価対象技術：
 評価者：

評価結果

I. 評価	
評価項目	評価結果
1. 再評価の必要性・妥当性について	1 2 3 4 5 (低  高)
II. コメント	
(1)有効性等について	
(2)普及性の変化について	
(3)予想される医療費の影響について	
(4)その他（安全性、技術の成熟度、倫理性・社会的妥当性について特記すべき事項があれば）	
III. 自由記載欄	

（評価上の留意事項）

I. 評価結果について

- ・「1. 再評価の必要性・妥当性について」は、提案書①～⑤に記載されている有効性等に関するデータの質・信頼度も含め総合的に評価し、評価結果を○で囲むこと。

II. コメントについて

- ・評価結果を1又は2とした場合は、提案書の内容が不十分と考えられる点
 - ・評価結果を5とした場合は、評価ができると考えられる点
- を少なくとも1項目について、(1)～(4)の「コメント」欄に記載する。（複数記載可）

III. 自由記載欄について

その他、当該技術に関して特記すべき事項がある場合は、記載すること。なお、事務局が提案書記載内容の確認を行った際等に気づいた点を記載することもあるので、評価の際に参考として用いること。

医療技術評価提案書（保険未収載技術用） 表紙

整理番号（6桁） ※事務局使用欄	
---------------------	--

提出年月日 平成31年 月 日

申請技術名	
-------	--

1. 申請団体

主たる申請団体名	
代表者氏名	
申請団体 事務連絡先 ※必ず連絡の取れる 連絡先を記載する こと	郵便番号 住所 電話番号 E-Mail FAX番号 担当者氏名
上記以外の申請団体名	

2. 技術担当者（当該技術の医学的内容について連絡をすることがある。）

担当者氏名	
担当者連絡先	所属施設名・診療科 役職 所属施設住所 所属施設電話番号 E-Mail FAX番号 ※無い場合は自宅等

※ 必ず全ての空欄に記載することとし、該当しない場合も「該当なし」等と記載すること。記載のない欄がある場合は受け付けられない。

※ 1つの申請団体が複数の提案書を提出する場合には、「申請技術名」は同じにならないようにすること。類似の技術がある場合には、「〇〇術（××について）」「〇〇術（△△について）」などとし、区別できるように記載すること。

※ 複数の団体が同一技術の提案をする場合は、可能な限り団体間で調整し、1つの提案書にまとめて提出すること。

医療技術評価提案書（保険未収載技術）

整理番号 ※事務処理用	
申請技術名	
申請団体名	
本技術または本技術に類似した技術の提案実績の有無	有 ・ 無 ※ いずれかを選択してください
「実績あり」の場合 過去に提案した年度及び技術名（直近の技術のみ記載）	提案年度（西暦）： 提案当時の技術名：
追加のエビデンスの有無	有 ・ 無 ※ 有の場合は、以下の記載内容の該当する部分に下線等を付してください。
技術の概要 (200字以内)	
対象疾患名	
保険収載が必要な理由 (300字以内)	

【評価項目】

①申請技術の対象 ・疾患、病態、症状、年齢等	
②申請技術の内容 ・方法、実施頻度、期間等 (具体的に)	
③対象疾患に対して現在行われている技術（当該技術が検査等であって、複数ある場合は全て列挙すること）	区分 番号 技術名 既存の治療法・検査法等の内容
④有効性・効率性 ・新規性、効果等について③との比較	
⑤ ④の根拠となる研究結果	
	エビデンスレベル
⑥普及性	年間対象患者数(人) 国内年間実施回数(回)
※患者数及び実施回数の推定根拠等	

⑦技術の成熟度 ・学会等における位置づけ ・難易度（専門性等）	
・施設基準 （技術の専門性等を踏まえ、必要と考えられる要件を、項目毎に記載すること）	施設の要件 （標榜科、手術件数、検査や手術の体制等） 人的配置の要件 （医師、看護師等の職種や人数、専門性や経験年数等） その他 （遵守すべきガイドライン等その他の要件）
⑧安全性 ・副作用等のリスクの内容と頻度	
⑨倫理性・社会的妥当性 （問題点があれば必ず記載）	
⑩希望する診療報酬上の取扱	妥当と思われる診療報酬の区分 点数（1点10円） その根拠
関連して減点や削除が可能と考えられる医療技術	区分 番号 技術名 具体的な内容
予想影響額	プラスマイナス 予想影響額（円） その根拠
⑪当該技術において使用される医薬品、医療機器又は体外診断薬（主なものを記載）	
⑫当該技術の海外における公的医療保険（医療保障）への収載状況	1) 収載されている 2) 調べたが収載を確認できない 3) 調べていない ※ いずれか一つを選択してください。 ※ 1) を選択した場合、その詳細を記載し、そのことがわかる資料を添付して下さい。
※ 該当する場合、国名、制度名、保険適用上の特徴（例：年齢制限）等	
⑬当該技術の先進医療としての取扱	a. 承認を受けている b. 届出されたが承認されなかった c. 届出中 d. 届出はしていない ※ いずれか一つを選択してください。
⑭その他	
⑮当該申請団体以外の関係学会、代表的研究者等	
⑯参考文献 1	1) 名称 2) 著者 3) 概要（該当ページについても記載）
⑯参考文献 2	1) 名称 2) 著者 3) 概要（該当ページについても記載）
	1) 名称

⑬参考文献 3	2) 著者 3) 概要 (該当ページについても記載)	
⑬参考文献 4	1) 名称 2) 著者 3) 概要 (該当ページについても記載)	
⑬参考文献 5	1) 名称 2) 著者 3) 概要 (該当ページについても記載)	

当該技術に使用する医薬品、医療機器又は体外診断薬について

整理番号

申請技術名	
申請団体名	

※ 薬事承認されていない医薬品、医療機器又は体外診断薬を使用した技術は、原則として医療技術評価分科会での評価の対象外である。承認見込みの場合、2019年8月末日迄に確実に承認取得が可能な場合のみ、評価の対象となることに留意すること。

- ※ 医薬品、医療機器又は体外診断薬については、当該技術の核となるものについて必ず具体的な薬品名、製品名を記載すること。
- ※ 該当する製品の添付文書を添付すること。
- ※ 薬事承認上の内容等が不明な場合は、添付文書を確認するか、製造販売会社等に問い合わせること。
- ※ 記載が不十分であると判断した場合は評価の対象外となるため、必要事項を漏れなく記載すること。

【医薬品について】

名称（販売名、一般名、製造販売企業名）	薬事承認番号	収載年月日	薬事承認上の「効能又は効果」	薬価（円）	備考 ※薬事申請及び公知申請の状況等（薬事承認見込みの場合等はその旨を記載）

【医療機器について】

名称（販売名、一般名、製造販売企業名）	薬事承認番号	収載年月日	薬事承認上の「使用目的、効能又は効果」	特定保険材料	備考 特定保険材料に該当する場合は、番号、名称、価格を記載（※薬事申請及び公知申請の状況等（薬事承認見込みの場合等はその旨を記載）

【体外診断薬（検査用試薬）について】

名称（販売名、一般名、製造販売企業名）	薬事承認番号	収載年月日	薬事承認上の「使用目的」	備考 ※薬事申請及び公知申請の状況等（薬事承認見込みの場合等はその旨を記載）

【その他記載欄（上記の欄に記載しきれない内容がある場合又は再生医療等製品を使用する場合には以下を記入すること）】

医療技術評価提案書（保険既記載技術用） 表紙

整理番号（6桁）
※事務局使用欄

提出年月日 平成31年 月 日

申請技術名	
-------	--

1. 申請団体

主たる申請団体名	
代表者氏名	
申請団体 事務連絡先 ※必ず連絡の取れる 連絡先を記載すること	郵便番号 住所 電話番号 E-Mail FAX番号 担当者氏名
上記以外の申請団体名	

2. 技術担当者（当該技術の医学的内容について連絡をすることがある。）

担当者氏名	
担当者連絡先	所属施設名・診療科
	役職
	所属施設住所
	所属施設電話番号
	E-Mail
	FAX番号 ※無い場合は自宅等

- ※ 必ず全ての空欄に記載すること。記載のない欄がある場合は受け付けられない。
- ※ 1つの申請団体が複数の提案書を提出する場合には、「申請技術名」は同じにならないようにすること。類似の技術がある場合には、「〇〇術（××について）」「〇〇術（△△について）」などとし、区別できるように記載すること。
- ※ 複数団体が同一技術の提案をする場合、可能な限り団体間で調整し、1つの提案書にまとめて提出すること。

医療技術再評価提案書（保険既収載技術）

整理番号 ※事務処理用	
申請技術名	
申請団体名	
本技術または本技術に類似した技術の提案実績の有無	有 ・ 無 ※ いずれかを選択してください
「実績あり」の 場合	過去に提案した年度及び 技術名（直近の技術のみ 記載）
	追加のエビデンスの有無
診療報酬区分	
診療報酬番号	
再評価区分（複数選択可）	<input type="checkbox"/> 1-A 算定要件の拡大(適応疾患等の拡大) <input type="checkbox"/> 2-A 点数の見直し(増点) <input type="checkbox"/> 4 保険収載の廃止 <input type="checkbox"/> 1-B 算定要件の拡大(施設基準) <input type="checkbox"/> 2-B 点数の見直し(減点) <input type="checkbox"/> 5 新規特定保険医療材料等に係る点数 <input type="checkbox"/> 1-C 算定要件の拡大(回数制限) <input type="checkbox"/> 3 項目設定の見直し <input type="checkbox"/> 6 その他(1～5のいずれも該当しない)
	「6 その他」を 選んだ場合に記載
技術の概要 (200字以内)	
再評価が必要な理由	

【評価項目】

①再評価すべき具体的な内容 (根拠や有効性等について記載)	
②現在の診療報酬上の取扱い ・対象とする患者 ・技術内容 ・点数や算定の留意事項	
診療報酬区分（再掲）	
診療報酬番号（再掲）	
技術名	
③再評価の根拠・有効性 ・治癒率、死亡率やQOLの改善等 ・学会のガイドライン上の位置づけ等	
④普及性の変化 ※下記のように推定した根拠	
年間対象者数の 変化	前の症例数（人） ----- 後の症例数（人）
年間実施回数 の変化等	前の回数（回） ----- 後の回数（回）

<p>⑤技術の成熟度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学会等における位置づけ ・難易度（専門性等） 	
<p>・施設基準 （技術の専門性等を踏まえ、必要と考えられる要件を、項目毎に記載すること）</p>	<p>施設の要件 （標榜科、手術件数、検査や手術の体制等）</p> <hr/> <p>人的配置の要件 （医師、看護師等の職種や人数、専門性や経験年数等）</p> <hr/> <p>その他 （遵守すべきガイドライン等その他の要件）</p>
<p>⑥安全性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・副作用等のリスクの内容と頻度 	
<p>⑦倫理性・社会的妥当性 （問題点があれば必ず記載）</p>	
<p>⑧点数等見直しの場合</p>	<p>見直し前 見直し後 その根拠</p>
<p>⑨関連して減点や削除が可能と考えられる医療技術</p>	<p>区分 番号 技術名 具体的な内容</p>
<p>⑩予想影響額</p>	<p>プラスマイナス 予想影響額（円） その根拠</p>
<p>⑪算定要件の見直し等によって、新たに使用される医薬品、医療機器又は体外診断薬</p>	
<p>⑫その他</p>	
<p>⑬当該申請団体以外の関係学会、代表的研究者等</p>	
<p>⑭参考文献 1</p>	<p>1) 名称 2) 著者 3) 概要（該当ページについても記載）</p>
<p>⑭参考文献 2</p>	<p>1) 名称 2) 著者 3) 概要（該当ページについても記載）</p>
<p>⑭参考文献 3</p>	<p>1) 名称 2) 著者 3) 概要（該当ページについても記載）</p>
<p>⑭参考文献 4</p>	<p>1) 名称 2) 著者</p>

⑩参考文献4	3) 概要 (該当ページについても記載)	
⑬参考文献5	1) 名称	
	2) 著者	
	3) 概要 (該当ページについても記載)	

当該技術に使用する医薬品、医療機器又は体外診断薬について

整理番号

申請技術名	
申請団体名	

※ 薬事承認されていない医薬品、医療機器又は体外診断薬を使用した技術は、原則として医療技術評価分科会での評価の対象外である。承認見込みの場合、2019年8月末日迄に確実に承認取得が可能な場合のみ、評価の対象となることに留意すること。

- ※ 医薬品、医療機器又は体外診断薬については、当該技術の核となるものについて必ず具体的な薬品名、製品名を記載すること。
- ※ 該当する製品の添付文書を添付すること。
- ※ 薬事承認上の内容等が不明な場合は、添付文書を確認するか、製造販売会社等に問い合わせること。
- ※ 記載が不十分であると判断した場合は評価の対象外となるため、必要事項をもれなく記載すること。

【医薬品について】

名称（販売名、一般名、製造販売企業名）	薬事承認番号	収載年月日	薬事承認上の「効能又は効果」	薬価（円）	備考 ※薬事申請及び公知申請の状況等（薬事承認見込みの場合等はその旨を記載）

【医療機器について】

名称（販売名、一般名、製造販売企業名）	薬事承認番号	収載年月日	薬事承認上の「使用目的、効能又は効果」	特定保険材料	備考 特定保険材料に該当する場合は、番号、名称、価格を記載（※薬事申請及び公知申請の状況等（薬事承認見込みの場合等はその旨を記載）

【体外診断薬（検査用試薬）について】

名称（販売名、一般名、製造販売企業名）	薬事承認番号	収載年月日	薬事承認上の「使用目的」	備考 ※薬事申請及び公知申請の状況等（薬事承認見込みの場合等はその旨を記載）

【その他記載欄（上記の欄に記載しきれない内容がある場合又は再生医療等製品を使用する場合には以下を記入すること）】

医療技術評価提案書 記載要領 (案)

(通則)

1. 医療技術評価分科会において評価を行う技術は、以下の通りである。

(1) 評価の対象となる技術の範囲

評価の対象となる技術は、原則として以下に含まれる技術である。

- ① 医科診療報酬点数表 第2章特掲診療料第1部医学管理等から第13部病理診断
- ② 歯科診療報酬点数表 第2章特掲診療料第1部医学管理等から第14部病理診断

(2) 提案技術に係る医薬品等について

提案技術で用いる医薬品、医療機器及び体外診断薬等は、全て薬事承認を得たものとする。薬事承認を得ていない医薬品等を用いる技術は、原則として医療技術評価分科会の評価の対象外とする。

2. 記載する様式は、下記に従い選択すること。

(1) 評価を提案する技術が現在診療報酬点数表に記載されていない場合で、かつ、以下の(2)に該当しない場合は、「保険未収載技術用」を用いること。

(2) 評価を提案する技術が以下のいずれかに該当する場合は「保険既収載技術用」を用いること。

- ・ 現在診療報酬点数表に記載されている技術について、新たな適応疾患等に保険適用を拡大することを提案する場合
- ・ 現在診療報酬点数表に記載されている技術について、施設基準、回数制限等の算定要件の見直し又は点数の見直しを提案する場合
- ・ 既に診療報酬上評価されている技術であるが、別の技術料として別途新設することが妥当と考えられる場合
- ・ 保険収載の廃止、又はその他の理由により再評価を提案する場合
- ・ 新規特定保険医療材料等により新設される項目の点数について提案する場合

3. 「医療技術評価提案書(保険未収載技術用)」及び「医療技術再評価提案書(保険既収載技術用)」については公表することを前提に記載すること。なお、機密事項としての取扱いを希望する項目がある場合には、その旨を明記すること。

4. 平易な用語や図表を用いて、A4用紙1枚でまとめた「技術の概要をまとめた資料（以下、概要図という。）」を添付すること。概要図には、「技術名」、「技術の概要」、「対象疾患名」、「現在当該疾患に対して行われている治療との比較」、「有効性」及び「診療報酬上の取扱い」を必ず記載すること。概要図は、先進医療会議の資料を参考として記載すること。

(参考) 先進医療会議

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/other-hoken.html?tid=129195>

5. 当該技術を評価する上で有用と考えられる文献等について、5つを上限として提案書に添付できる。ただし、「当該技術において使用される医薬品、医療機器又は体外診断薬」に関する添付文書等は、この限りではない。
6. 本提案書に既に記載されている内容を変更することなく、空欄を埋める形で記載すること。欄外には記載しないこと。使用文字の大きさは10ポイント以上とすること。なお、必要であれば、海外のデータを用いることも可能である。
7. 記載する事項がない項目については、当該項目欄に「特になし」と必ず記入すること。

(保険未収載技術用提案書の記載方法)

1. 「申請団体名」について

本提案書の記載内容について確認が可能な申請団体名を記載すること。

2. 「本技術または本技術に類似した技術の提案実績の有無」について

過去の診療報酬改定に向けた医療技術の評価の際に提案されたが、新規保険収載等の対応がなされなかった医療技術について、再度提案する場合には、「提案実績あり」を選択する。そうでない場合には「提案実績なし」を選択する。

「提案実績あり」を選択した場合には、前回の提案との違いについて、追加のエビデンスの有無を示した上で、「有」の場合はそれが分かるように提案書に印を付す等、わかりやすく示すこと。

3. 「保険収載が必要な理由」について

当該技術の対象となる疾病等に関する現状及び当該技術が保険収載された際に期待される効果について、評価項目（有効性、安全性等）に記載したデータ等を用いて、簡潔に記載すること。

4. ①「申請技術の対象」について

疾患、病態、症状及び年齢等、提案している技術の対象となる患者群を具体的に記載する。

5. ②「申請技術の内容」について

申請技術について、具体的な手技・手法、実施に要する時間（例：手術時間、検査時間等）及び個々の患者における実施頻度や期間等を記載すること。

6. ③「対象疾患に対して現在行われている技術」について

現在、①で記載した患者群に対して、診断・治療等の目的で行われている保険既収載技術について、区分番号と共に記載すること。なお、当該技術が検査等であって、現在複数の検査等において診断・治療を行っている場合には、実施している保険既収載技術を全て記載すること。

7. ④「有効性・効率性」及び⑤「④の根拠となる研究結果」について

治癒率・死亡率・QOLの改善、診断の正確性の向上等について、③で記載した既存技術の有効性と可能な範囲で比較した上で、両者の相違点ができるように記載すること。データや学会のガイドライン等に基づき記載すること。また、その概要について記載した上で、エビデンスの質を明記し、当該有効性に関する資料（ガイドラインや論文の写し等）を必ず添付すること。

なお、提案した技術に係るガイドライン等が「診療ガイドライン」の場合については、「Minds 診療ガイドライン作成マニュアル 2017」（https://minds.jcqh.or.jp/s/guidance_2017）等に準じて質を確保しているかどうかについて、評価ツール等（https://minds.jcqh.or.jp/s/evaluation_tool）を用いた自己点検の状況や、Mindsに掲載された診療ガイドラインであるかどうかについて明確になるよう記載すること。

8. ⑥「普及性」について

①及び②の記載内容を踏まえ、患者数の現状及び将来予測推計を、学会のデータ、患者調査結果等を活用し記載すること。また、当該技術の（年間）施行回数の現状及び将来予測推計（技術を実施できる医療機関の数及び回数の推計）を、学会等が保有するデータや社会医療診療行為別調査結果等を活用

し記載すること。

(参考)

患者調査

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00450022&tstat=000001031167&second=1>

社会医療診療行為別調査（平成 29 年）

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=datalist&toukei=00450048&tstat=000001029602&cycle=7&tclass1=000001116156&tclass2=000001116159&tclass3=000001116257&second2=1>

《社会医療診療行為別調査を用いた年間実施回数の調べ方》

(i) 上記 URL のうち、調べたい統計表の「CSV」マークをクリックすると、該当する統計表が閲覧できる。

※ 個別の処置や手術等の算定回数については、表番号 1～3 を参照すると便利である。

(ii) 調べたい診療行為の、「総数」の中の「実施件数、回数」を見る。

例：下記の「〇〇術」であれば「200 回」となる。

		実施件数	回数	点数
〇〇術	12345	150	200	246900

この調査は、1 ヶ月の算定回数の調査であるため、年間実施回数を推計する際には 12 倍する。

例：「200 回×12=2400 回」となる。

9. ⑦「技術の成熟度」について

当該技術の学会等における位置づけ、指針やガイドライン等の有無や難易度（例えば、必要と考えられる医師の専門性、経験年数及び施設基準等）について記載すること。

施設基準については、当該技術の専門性等を踏まえ、施設、人的配置の要件等について、根拠となるデータも含め記載を行うこと。

10. ⑧「安全性」について

当該技術を実施した際に発生した又は発生が予想される副作用・合併症・事故などのリスクについて、その内容と頻度を記載すること。また、③に記

載した既存技術の安全性と可能な範囲で比較すること。

1 1. ⑨「倫理性・社会的妥当性」について

当該技術に関し、倫理性、社会的妥当性の視点から考慮すべき点があれば具体的に記載すること。

例) 脳死移植における臓器移植法との関係 (法的問題点)

移植医療における倫理的問題 (倫理的問題点) 等

※ 考慮すべき点がないと判断した場合は、「問題なし」と記載すること。

1 2. ⑩「希望する診療報酬上の取扱い」について

当該技術が保険収載となった場合、診療報酬点数表上妥当と思われる区分(「D検査」、「K手術」等)を1つ選択し、点数(〇〇点)及びその根拠(類似技術の点数との対比、実勢コストとの対比等)を記載すること。

また、既に保険収載されている技術のうち、当該技術を保険収載することによって、代替される既存技術の対象者数が減少するなどして、保険収載の必要がなくなる又は点数を減点することが可能な技術があれば記載し、どの程度減点が可能か具体的な点数を記載すること。なお、記載した技術が必ず削除又は減点されるわけではない。

さらに、当該技術の新規性や一症例あたりの効果(治癒率、入院・通院期間、合併症等の比較、費用の比較)等を踏まえ、当該提案を導入した場合の医療費への影響を試算すること。また、費用の比較は、算出の根拠も記載すること。なお、費用の比較にあたっては、当該技術に直接係る医療費だけでなく、当該技術が用いられることにより減少が期待される医療費が想定できる場合は、併せて記載すること。

ただし、増加と記載されたことにより技術への評価が変わるものではない。

予想影響額の算出方法は以下の通りとする。

$$\boxed{\text{予想影響額} = \text{下記 (x)} - \text{(y)} \text{ 円 増・減}}$$

(x) : 予想される当該技術に係る年間医療費 (= (a) × (b) × (c))

(a) 妥当と思われる診療報酬点数 (⑩の数値)

(b) 予想される年間対象患者数 (⑥の数値)

(c) 予想される一人当たりの年間実施回数

※社会医療診療行為別調査の年間実施回数を使用する場合は、予想される当該技術に係る年間医療費 = (a) × 予想される年間実施回数 (⑥の数値) となる。

(y) : 当該技術の保険収載に伴い減少すると予想される医療費

例) ・代替される既存技術の対象者減少に伴う医療費減少

・入院期間の短縮、重症化抑制、合併症抑制に伴う医療費減少等
なお、当該技術について費用－効果分析、費用－便益分析などの
経済評価が実施されていれば（海外での研究も含む。）、その結果を
記載すること。

1 3. ⑪「当該技術において使用される医薬品、医療機器又は体外診断薬」について

当該技術に医薬品、医療機器又は体外診断薬を用いる場合、当該医薬品等
について医薬品医療機器等法上の承認状況を確認する観点から、主なもの
について、その名称（販売名及び一般名）、薬事承認又は認証の有無（承認又
は認証番号）、医薬品医療機器等法の「使用目的、効能又は効果」、薬価又は
材料価格等の内容を記載し、併せて添付文書を添付すること。但し、一般的
に普及し、かつ、明らかに医薬品医療機器等法上の承認内容に適して使用さ
れているもの（例：心電図等監視装置、手術に用いる鉗子等基本的器械類、
消炎鎮痛剤等基本的医薬品）は除く。

医薬品、医療機器及び体外診断薬について、未承認のもの又は適応外使用
による技術に関しては、原則として評価の対象とならないので注意すること。
承認見込みの場合、2019年8月末日迄に承認取得が可能な場合のみ、評価の
対象となる。

なお、前回診療報酬改定時においては、当該項目の記載が不十分な提案書
や、添付文書の添付されていない例が多く、適切な評価が非常に困難であっ
た。当該項目の記載や添付資料が不十分な場合には評価の対象とならないた
め、十分注意すること。また、当該提案に当たって企業と情報共有等を行っ
た場合には、その旨を「その他記載欄」に記入すること。

1 4. ⑫「当該技術の海外における公的医療保険（医療保障）への収載状況」について

当該技術の海外における公的医療保険（医療保障）（例：米国 Medicare、
英国 NHS 等）への収載状況について、以下のいずれかを選択すること。

- 1) 収載されている
- 2) 調べたが収載を確認できない
- 3) 調べていない

また、1) を選択した場合は、国名、制度名、保険適用上の特徴（例：年
齢制限）を記載の上、それを示す資料を添付すること。

1 5. ⑬「当該技術の先進医療としての取扱い」について

当該技術の先進医療としての取扱い状況について以下のいずれかを選択すること。また、b 又は c を選択した場合は、現状について簡単に記載すること。

- a. 承認を受けている
- b. 届出されたが承認されなかった
- c. 届出中
- d. 届出はしていない

16. ⑭「その他」について

その他、QOL の改善等について、上記までの記載で網羅されておらず特記すべき事項があれば記載すること。

17. ⑮「当該申請団体以外の関係学会、代表的研究者等」について

当該技術に関する研究、会合、論文発表等を実施している主たる学会、研究者等の名称を記載すること。また、本提案について連携している団体等がある場合はその旨明記すること。

18. ⑯「参考文献」について

当該技術を評価する上で有用と考えられる文献等について、主たるもので最新のもの5つを上限として、その概要等を記載すること。

(保険既収載技術用提案書の記載方法)

1. 「申請団体名」について

本提案書の記載内容について確認が可能な申請団体名を記載すること。

2. 「本技術または本技術に類似した技術の提案実績の有無」について

過去の診療報酬改定に向けた医療技術の評価の際に提案されたが、新規保険収載等の対応がなされなかった医療技術について、再度提案する場合には、「提案実績あり」を選択する。そうでない場合には「提案実績なし」を選択する。

「提案実績あり」を選択した場合には、前回の提案との違いについて、追加のエビデンスの有無を示した上で、「有」の場合はそれが分かるように提案書に印を付す等、わかりやすく示すこと。

3. 「診療報酬区分」について

当該技術が該当する診療報酬区分について、いずれか一つの区分を選択する。なお、通則の「1」の通り、Aに該当する場合は医療技術評価分科会の評価の対象とならないことに留意すること。

4. 「再評価区分」及び「提案の概要」について

当該技術の保険収載の取扱いについて再評価を希望する場合は、再評価区分を選択（複数選択可）し、その概要を該当欄に記載すること。

	概要	例
(1-A) 算定要件の見直し (適応疾患等の拡大)	適応疾患の拡大	・他の疾患の診断についても有効性が明らかとなった検査 ・他の疾患についても長期成績等の有効性が明らかとなった手術
(1-B) 算定要件の見直し (施設基準)	当該技術に係る現行の施設基準の見直し	・質の担保の観点から施設基準を設けるべき手術 ・現行の基準が厳しすぎるため保険診療に支障が生じている手術
(1-C) 算定要件の見直し (回数制限)	回数制限の見直し	・回数制限が現在のエビデンスと合致していない検査 ・回数制限がないため不必要に

		実施されている検査・処置 ※これらについて、患者の生活上の有用性（QOL の改善への寄与等）も含め、その理由を記載すること。
(2-A) 点数の見直し（増点） (2-B) 点数の見直し（減点）	当該技術に係る保険点数の再評価（増点・減点）	・新たなエビデンスにより、臨床上の有用性が高いことが示された技術 ※これらについて、類似技術の点数との対比、原価との対比等を記載すること。
(3) 項目設定の見直し	保険既収載の技術で算定できているものの、新たなガイドラインや文献等により、別の技術料又は加算としての評価等を希望	
(4) 保険収載の廃止	・当該技術が、既に実施されていない ・当該技術は実施されているが、有効性・安全性等に疑義が生じている	
(5) 新規特定保険医療材料等に係る点数	・新規特定保険医療材料又は新規体外診断用医薬品により、平成 28 年度改定まで既存の項目の点数を準用して算定している	
(6) その他(1～4のいずれも該当しない)	・上記に該当する区分がない場合にのみ、本区分を選択	(例) ガイドラインの変更等により、呼称の変更が必要である(但し、変更により算定範囲が拡大する場合を除く。)

5. ①「再評価すべき具体的な内容」について

当該技術の保険収載の取扱いについて再評価の提案内容を記載する。また、点数の見直しの場合は、現行の点数から何点に見直すのか具体的に記載する。

6. ②「現在の診療報酬上の取扱い」について

当該技術の現在の取扱いについて、対象としている患者、技術の内容及び現在の診療報酬上の評価等について具体的に記載すること。

7. ③「再評価の根拠・有効性」について

再評価の根拠や再評価による有効性を可能な限りデータや学会のガイドラ

イン等に基づき記載すること。また、当該再評価の理由に関する資料（論文の写し等）を必ず添付すること。

8. ④「普及性の変化」について

（保険未収載技術用提案書の記載方法）8. を参照すること。

9. ⑤「技術の成熟度」について

当該技術の学会等における位置づけ、指針の存在、難易度について記載すること。施設基準については、当該技術の施設基準を見直す必要がある場合に、当該技術の専門性等を踏まえ、施設、人的配置の要件等について、根拠となるデータも含め記載すること。

10. ⑥「安全性」について

当該技術を見直すことによって安全性に影響が及ぶと予想される場合（安全性が向上する場合も含む）は、副作用・合併症・事故などのリスクについて、その内容と頻度を記載すること。

11. ⑦「倫理性・社会的妥当性」について

（保険未収載技術用提案書の記載方法）10. を参照すること。

12. ⑧「点数等の見直しの場合」について

見直し前後の点数及び見直し後の点数の根拠について記載すること

13. ⑨「関連して減点や削除が可能と考えられる医療技術」について

当該技術を見直すことによって、他の既存技術の対象者数が減少するなどして、保険収載の必要がなくなる又は点数を減点することが可能な技術があれば記載し、どの程度減点が可能か具体的な点数を記載すること。なお、記載した技術が必ず削除又は減点されるわけではない。

14. ⑩「予想される医療費への影響（年間）」について

（保険未収載技術用提案書の記載方法）12. の費用の比較を参照すること。

15. ⑪「算定要件の見直し等によって、新たに使用される医薬品、医療機器又は体外診断薬」について

算定要件の見直し等によって、新たに使用される医薬品、医療機器又は体

外診断薬がある場合には、(保険未収載技術用提案書の記載方法) 13. を参照の上、別紙に記載すること。

当該医薬品等について、未承認のもの又は適応外使用による技術に関しては、原則として評価の対象とならないので注意すること。なお承認見込みの場合、2019年8月末日迄に承認取得が可能な場合のみ、評価の対象となる。また、当該項目の記載や添付資料が不十分な場合には評価の対象とならないため、十分注意すること。

16. ⑫「その他」について

(保険未収載技術用提案書の記載方法) 16. を参照すること。

17. ⑬「当該申請団体以外の関係学会、代表的研究者等」について

(保険未収載技術用提案書の記載方法) 17. を参照すること。

18. ⑭「参考文献」について

(保険未収載技術用提案書の記載方法) 18. を参照すること。

日本肝胆膵外科学会 提出資料

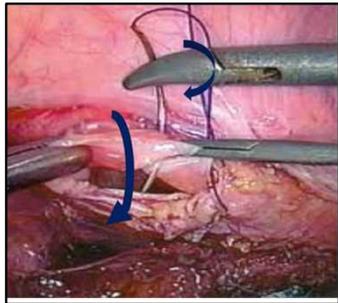
「ロボット支援下膵頭十二指腸切除術」について

【技術の概要】

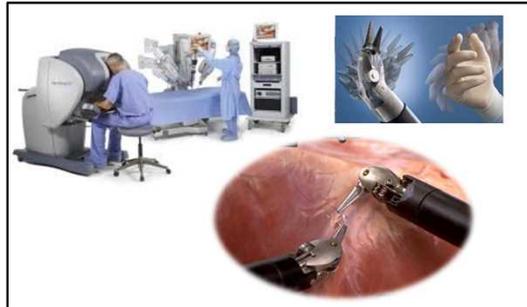
膵頭部領域の悪性腫瘍に対して、
内視鏡手術支援ロボットを用いて、
膵頭十二指腸切除術および再建
(膵空腸、胆管空腸、胃空腸吻合) を行う。

【対象疾患】

膵頭部領域の良悪性腫瘍患者
年間対象者は100名程度と考えられる。



腹腔鏡下手術
一定の向きにしか
運針できない
再建が困難



ロボット支援下手術
多関節機能を持ち様々な向きで
安定した縫合が可能
再建が容易

【既存の治療法との比較】

- ・ 開腹術と比し創が小さく明らかに整容性に優れている
- ・ 効果 (R0切除率) と安全性の両面から
ロボット支援下膵頭十二指腸切除術が
開腹、腹腔鏡下手術に比べて最も評価が高い
- ・ ロボットPDは腹腔鏡下PDに比べ、
手術時間が短く、出血量が少なく、術後在院日
数が短い、予定外の開腹移行が少ない

(Lui et al. Surg Endosc 2017; 31: 2380-2386)

(Ricci et al. World J Surg 2018; 788-805)

(Zureikat et al. HPB 2017; 19: 595-602)

情報の収集方法、期間

対象技術； ロボット支援下膵頭十二指腸切除術；RPD)

(比較対象； 腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術；LPD)

対象期間； -2019年

情報収集；

RPD； 5施設からのアンケート調査 (51症例)

(藤田医科大学、上尾中央総合病院、佐賀大学、東京医科大学、九州大学)

LPD； 膵臓内視鏡外科研究会前向き登録調査データ (216例)

(膵臓内視鏡外科手術前向き登録 参加施設)

除外症例； なし

統計解析； student T 検定 もしくは カイ二乗検定

周術期成績

	ロボットPD (51)	腹腔鏡下PD (216)	P 値
手術時間 (分：中央値, p25-p75)	827 (648-964)	517 (403-633)	< 0.01
出血量 (ml：中央値, p25-p75)	200 (70-639)	181 (70-400)	0.25
開腹移行	0 (0%)	14 (6.5%)	0.01
完全鏡視下	51 (100%)	53 (24.5%)	< 0.01
合併症(≧C-DⅢa)	15 (29.4%)	63 (29.2%)	0.97
膵液瘻(≧Grade B)	8 (15.7%)	43 (19.9%)	0.48
術後30日死亡	0 (0%)	1 (0.5%)	0.51
術後90日死亡	0 (0%)	1 (0.5%)	0.51

ロボット手術は現在のところ開腹移行はなし、腹腔鏡は殆どが小開腹併用

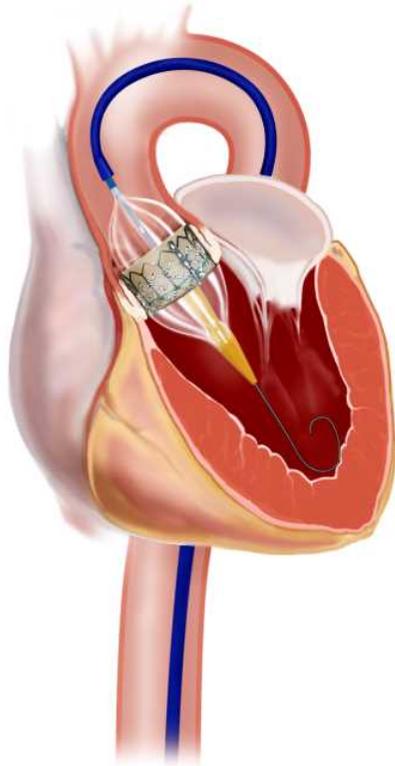
結果の解釈

- RPDはLPDに比べて完全鏡視下率が高い
- RPDは開腹移行症例を認めない
- 膵液瘻、合併症発生率に有意差はない
- 両群間の背景因子の調整が今後必要。また、限られた施設での検討；施設基準が必要
- 本邦においてはRPDの手術時間が有意に長いが、RPDの経験数が未だ少ないこと、約70%のLPDは開腹下に再建が行われていることが理由であると考えられる。

現在臨床試験で行われているRPDは安全に行われている

日本胸部外科学会 提出資料

経カテーテル的大動脈弁置換術 (TAVR)



- 大動脈弁狭窄症に対する低侵襲治療
- 2013年に国内保険償還
- 現在、関連学会よりなる協議会 (TAVR関連学会協議会)を中心に施設基準を設けるなど、TAVRの安全な国内導入、普及を行なっている

TAVR関連学会協議会

- 日本循環器学会
- 日本心血管インターベンション治療学会
- 日本胸部外科学会
- 日本心臓血管外科学会
- 日本経カテーテル心臓弁治療学会

厚生労働省



TAVR関連学会協議会



国内への“安全”なTAVI導入を目標に運営

- **施設認定**
- **指導医・実施医認定**
- **症例登録(registry)**
→2013年の保険収載後NCDに全例登録

経カテーテル的大動脈弁置換術実施施設基準

経カテーテル的大動脈弁置換術関連学会協議会 経カテーテル的大動脈弁置換術 実施施設基準

(2013年7月18日施行・2018年2月1日改定)

手術実績

- 緊急開心・胸部大動脈手術の経験があること。
- 大動脈弁置換術(大動脈基部置換術を含む)が年間20例以上あること。
- 冠動脈に関する血管内治療(PCI)が年間100例以上あること。
- 大動脈に対するステントグラフト治療(TEVARまたはEVAR)が年間10例以上あること。
- 経食道心エコー検査が年間200例以上行われていること。

設備機器

- 開心術が可能な手術室で設置型透視装置を備えていること(ハイブリッド手術室)。また必要な設備及び装置を清潔下で使用できる十分なスペースがあること。ハイブリッド手術室として以下の基準が必要である。
 - ・ 空気清浄度 class II 以上。
 - ・ 設置型透視装置を備える。
 - ・ 速やかに開胸手術に移行可能である。
- 術中経食道心エコー検査が実施可能であること。
- 経皮的な心肺補助装置、緊急開心・胸部大動脈手術が実施可能であること。
- 施設として、麻酔科医/体外循環技術認定士の緊急動員に配慮すること。
- 各施設においてTAVR開始に当たっては、現地調査(インスペクション)による施設認定を必須とする。

経カテーテル的大動脈弁置換術実施施設基準

人員

- 心臓血管外科専門医(常勤)が3名以上在籍すること。
- 循環器専門医(常勤)が3名以上在籍すること。
- 日本心血管インターベンション治療学会専門医(常勤)が1名以上在籍すること。
- 麻酔科医(常勤)が1名以上在籍すること。
- 実際の手技に当たっては、循環器専門医と心臓血管外科専門医がそれぞれ1名以上参加すること。
- 上記基準のメンバーを含めたハートチームが、手術適応から手技および術前術中術後管理にわたりバランスよく機能していること。

施設

- 心臓血管外科専門医基幹施設であること。
- 日本心血管インターベンション治療学会研修施設または研修関連施設であること。
- 日本循環器学会認定専門医研修施設であること。

レジストリ

- JACVSDにデータを全例登録し、国の指導のもと、TAVR関連学会協議会が中心となり、データベースを作成すること。

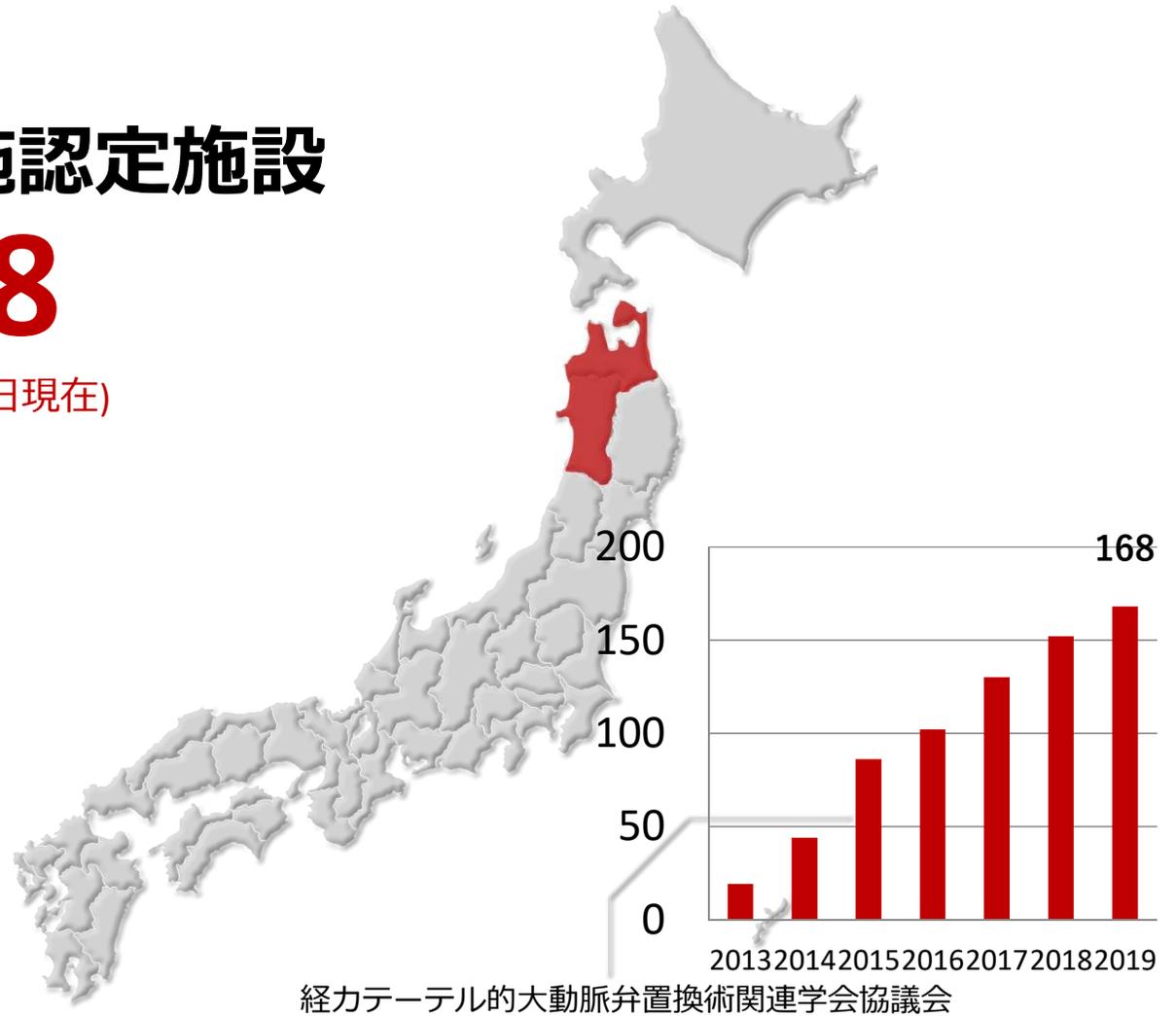
継続条件および見直し

- この基準はTAVRの安全性を鑑みて3年後に見直し。

TAVR 実施認定施設

168

(2019年7月5日現在)



経カテーテルの大動脈弁置換術関連学会協議会

専門施設・指導施設

	認定施設	専門施設	指導施設
必要症例数 (3年平均)	(20)	50	100
必要な常勤指導医数	-	1名以上	2名以上
更新	3年毎	3年毎	3年毎
利点	TAVR実施	<ul style="list-style-type: none"> 新規deviceや特別な手技の実施* 学会主導研究参加施設* 	<ul style="list-style-type: none"> ライブ実施条件 新規deviceや特別手技の実施* 学会主導研究参加施設*

経カテーテル的大動脈弁植込み術実施医・指導医

- JTVT会員
- 卒後5年以上
- 該当するデバイスの製品トレーニング
- 企業及び関連協議会認定係で認定

*指導医認定より3年間の実績
*任期満了となる年の12月末までに更新申請

	実施医	指導医	指導医更新* (3年毎)
必要条件	<p>8例術者 (指導医もしくはプロクターのもと)</p>	<p>30例術者</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 30例術者もしくは(指導的)助手/3年 • JTVT医療安全講習会受講1回/3年
審査料+認定料	<p>10000円 + 10000円 =20000円</p>	<p>20000円 + 10000円 =30000円</p>	<p>10000円 + 10000円 =20000円</p>
利点	<ul style="list-style-type: none"> • TAVR実施 	<ul style="list-style-type: none"> • 実施医指導 • 専門施設、指導施設の条件 • 企業プロクターの必要条件 	<ul style="list-style-type: none"> • 同左

2019年8月より実施

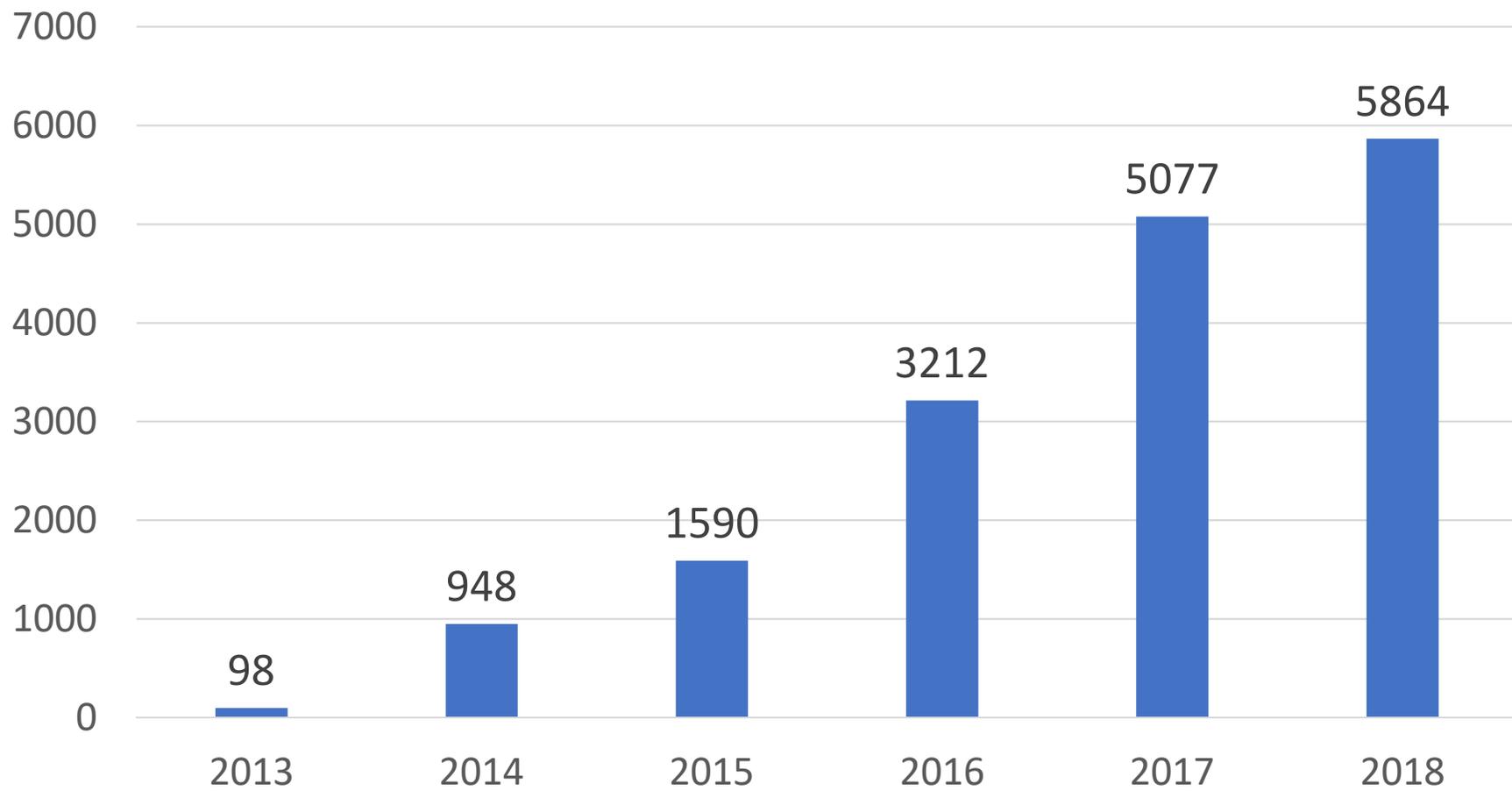
JTVT registry (Japan Transcatheter Valve Therapy registry)

- 全例NCDへ登録が義務づけられている（施設基準、施設更新基準に明記）
- 年1回データマネージャー会議を開催
- その他5-6回/年、NCD、関連学会事務局、JTVT*学術委員会によるデータ運営幹部会を開催

TAVR治療成績 (2013/10-2019/3)

- JTVT registry: 2019 JTVT会長講演にて発表
- 解析は全てNCDにて施行

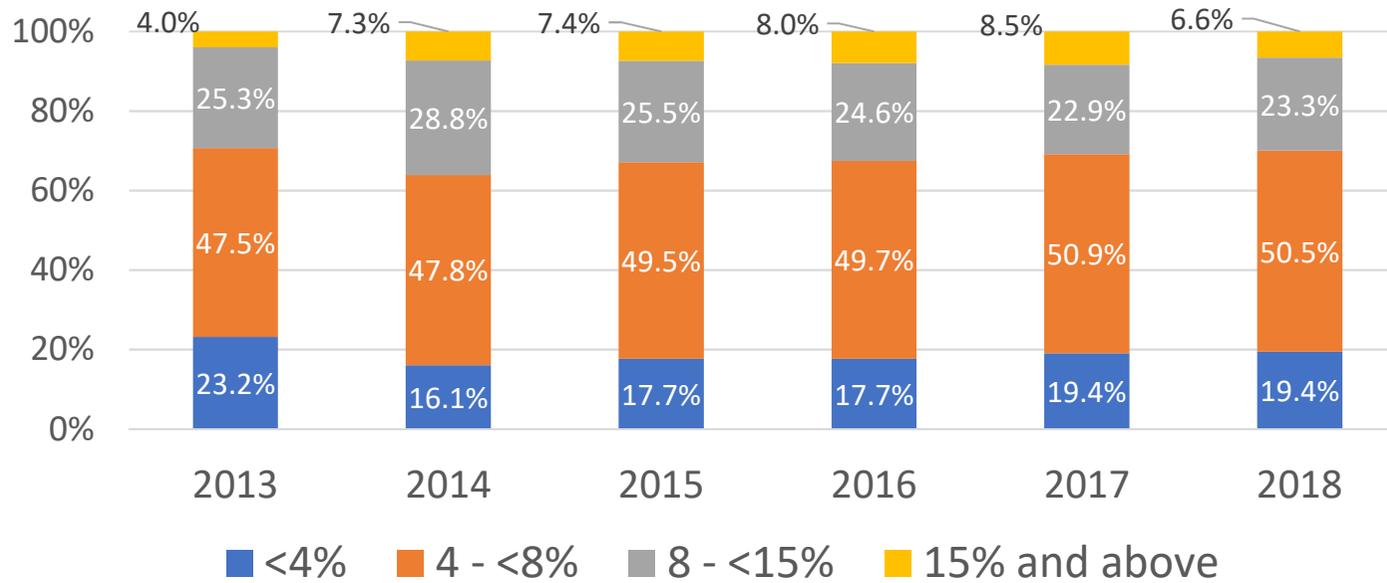
年間登録数



Patients characteristics in Japan TVT registry (Aug. 2013-Mar. 2019)

	(N=17,360)
Age – yr, mean (std) / median (IQR)	84.4 (5.2) / 85 (81-88)
Male sex – no. (%)	5491 (31.6%)
NYHA III or IV – no. (%)	4575 (26.4%)
Clinical History – no. (%)	
Coronary artery disease – no. (%)	5518 (31.8%)
Cerebrovascular disease – no. (%)	1561 (9.0%)
Previous cardiac surgery – no. (%)	1566 (9.0%)
Peripheral vascular disease – no. (%)	2044 (11.8%)
Chronic respiratory disease (moderate/ severe) – no. (%)	1429 (8.2%)
Renal dialysis – no. (%)	87 (0.5%)
Atrial fibrillation / flutter – no. (%)	2906 (16.7%)
Permanent Pacemaker / ICD – no. (%)	995 (5.7%)
Porcelain Aorta – no. (%)	1683 (9.7%)

Distribution of STS scores by time period



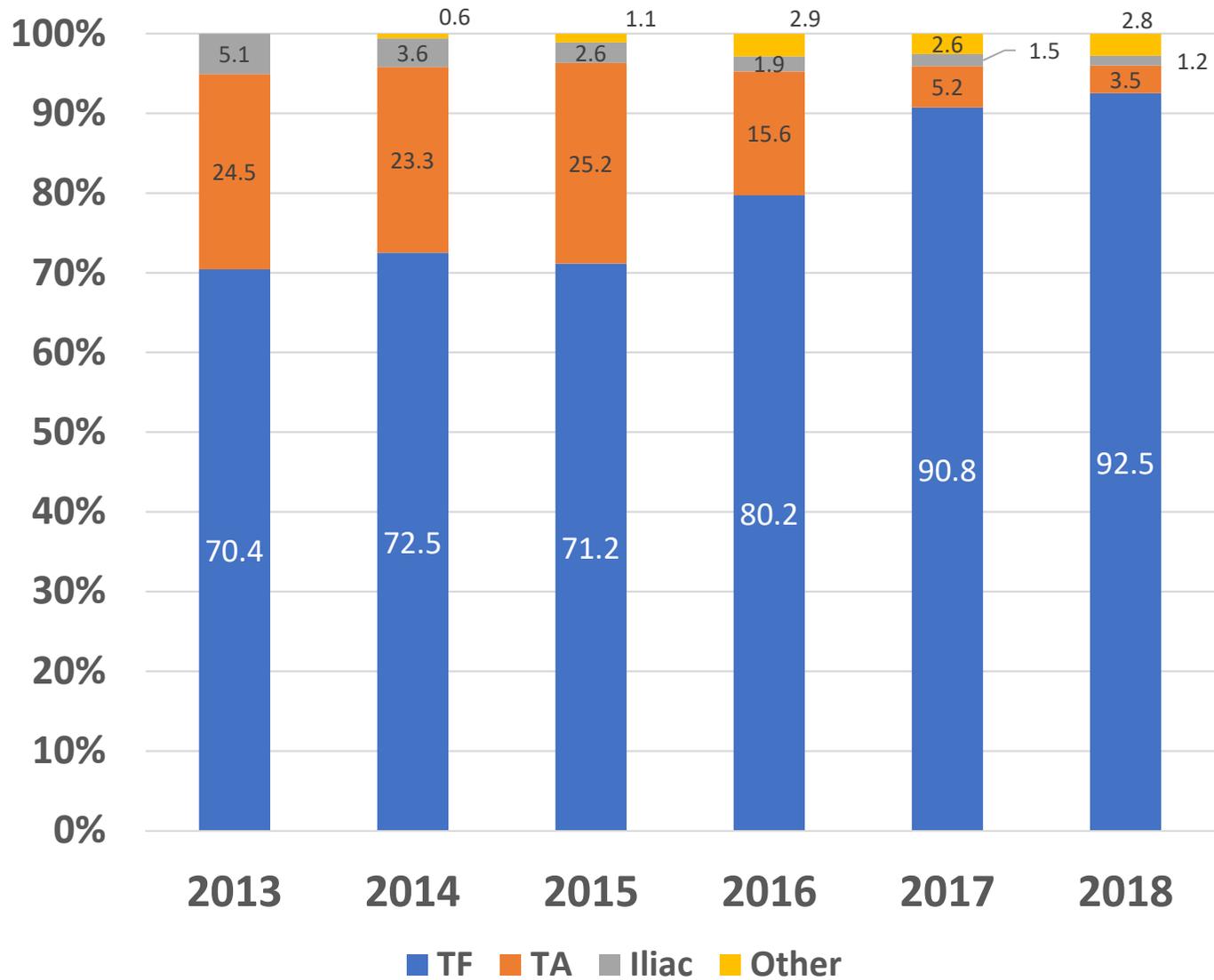
	2013	2014	2015	2016	2017	2018
N	98	939	1497	3090	4975	5679
STS category						
<4%	22 (22.5%)	150 (16.0%)	275 (18.4%)	558 (18.1%)	947 (19.0%)	1107 (19.5%)
4 - <8%	47 (48.0%)	447 (47.6%)	738 (49.3%)	1557 (50.4%)	2495 (50.2%)	2870 (50.5%)
8 - <15%	25 (25.5%)	272 (29.0%)	378 (25.3%)	757 (24.5%)	1200 (24.1%)	1325 (23.3%)
15% and above	4 (4.1%)	70 (7.5%)	106 (7.1%)	218 (7.1%)	333 (6.7%)	377 (6.6%)

Postoperative outcomes

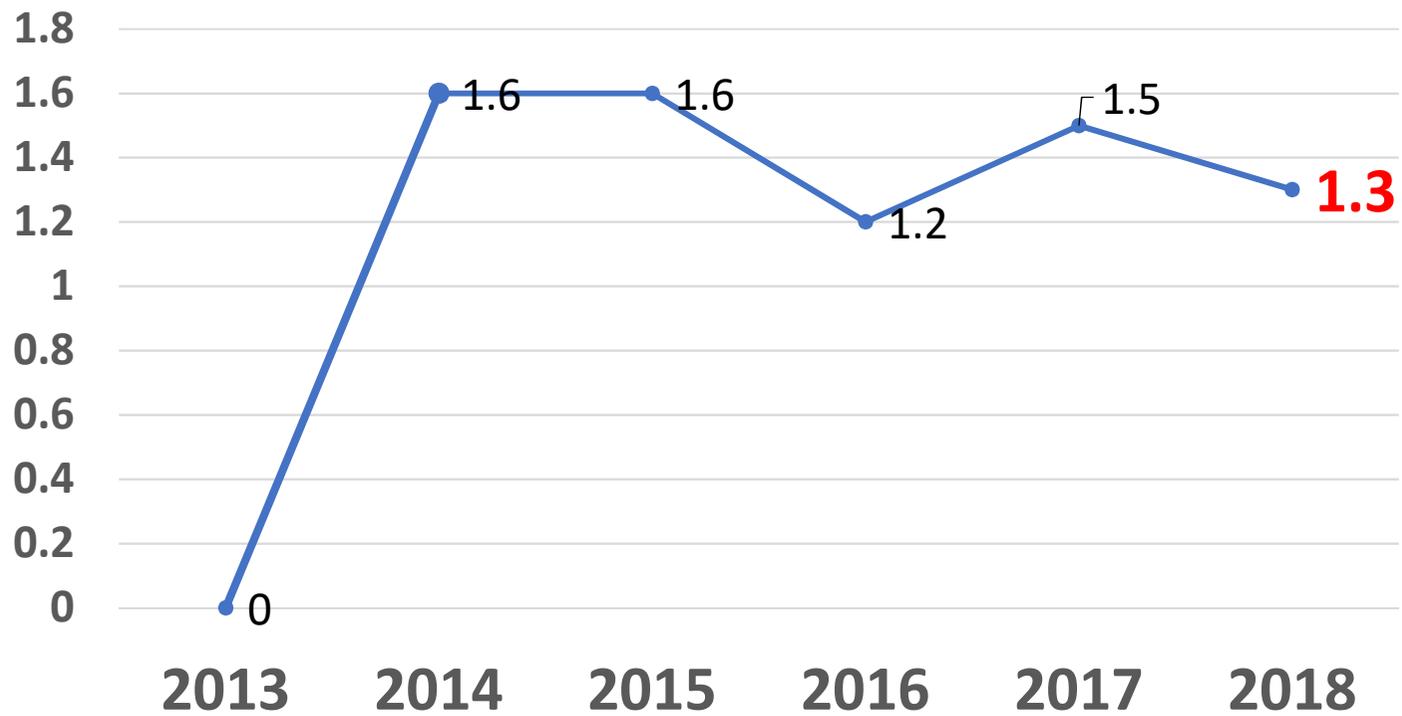
Post procedural Events within 30 days
(Among 15,085 with at least 30-day follow-up registration) N=17,360

All Cause Death - no. (%)	212 (1.4%)
All Cause Death or Any severe adverse events - no. (%)	1365 (9.0%)
Adverse events	
Conduction disturbance, pacemaker installment - no. (%)	752 (5.0%)
Ischemic stroke - no. (%)	200 (1.3%)
Congestive heart failure leading to hospitalization - no. (%)	93 (0.6%)
access-related complication - no. (%)	160 (1.1%)
annulus/root rupture - no. (%)	73 (0.5%)
Major bleeding, other bleeding - no. (%)	152 (1.0%)

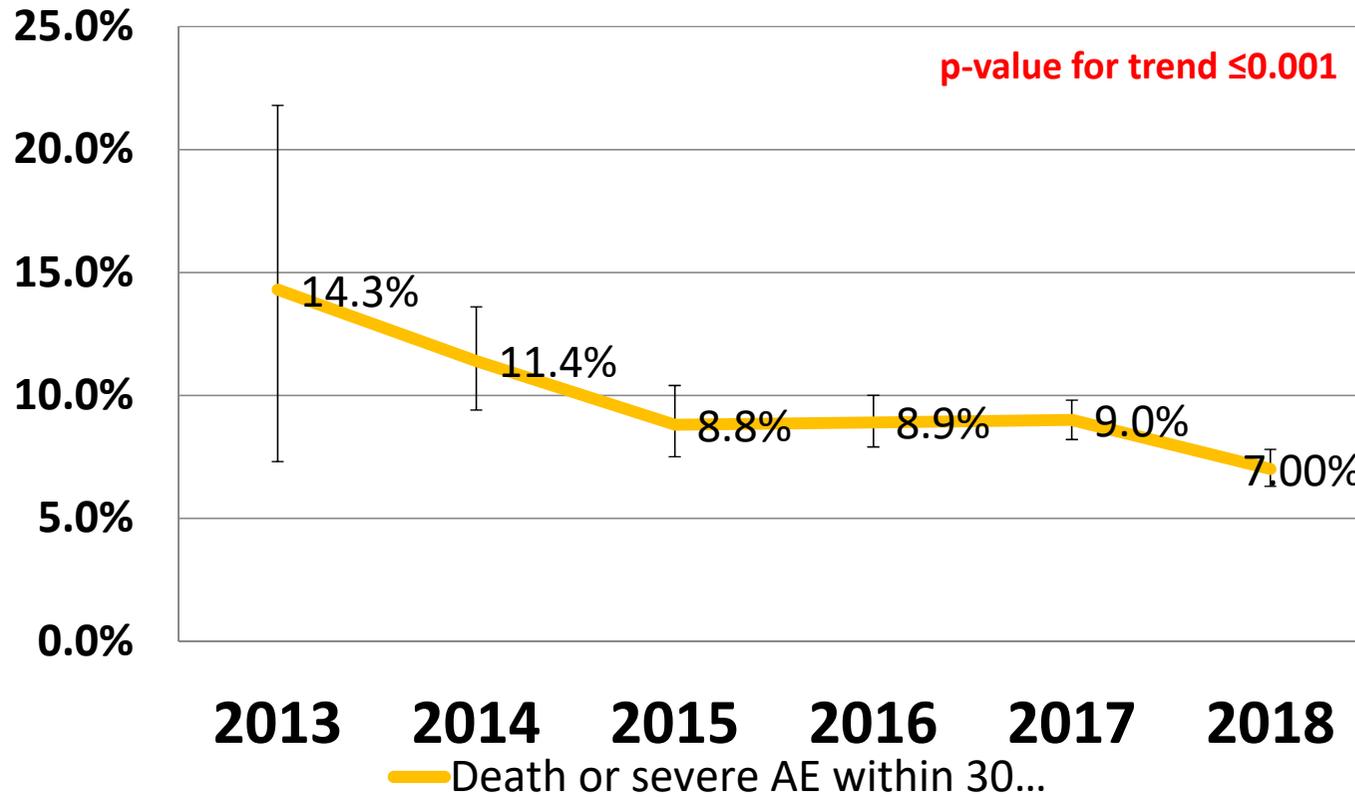
アプローチ年次推移



Time trend analysis of all-cause mortality



Time trend of post-procedural events

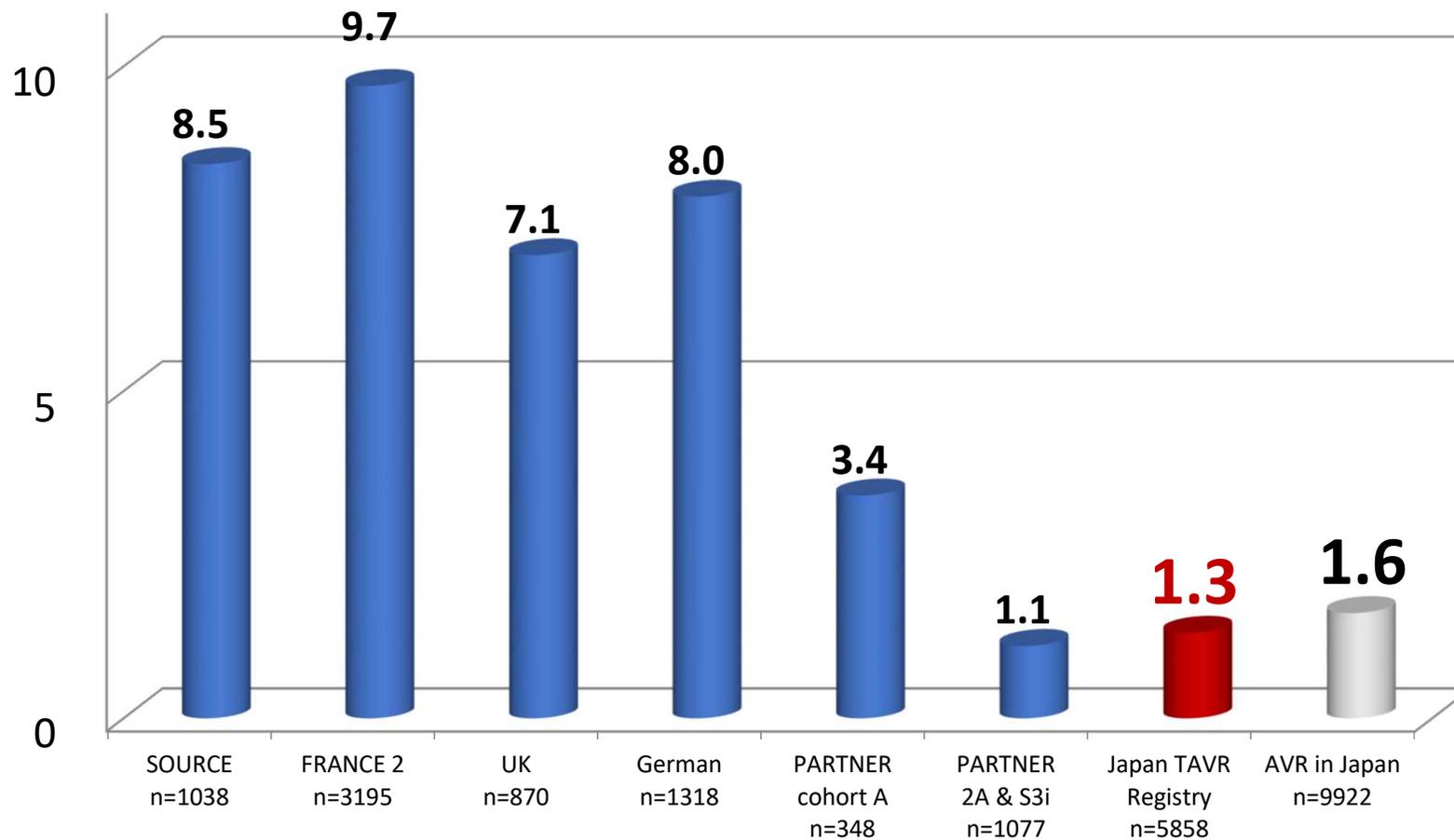


まとめ

- 全症例の約半数は100例以下の施設で行われている
- 平均年齢が84歳と超高齢であった
- STS trendは変化なかった
- TFの割合は著明に増加
- 手技時間は年々短縮している
- 手術死亡率は1.3%と低値をキープしている
- 合併症発生率は10%以下
- ペースメーカー植込み率は5%前後を推移

參考資料

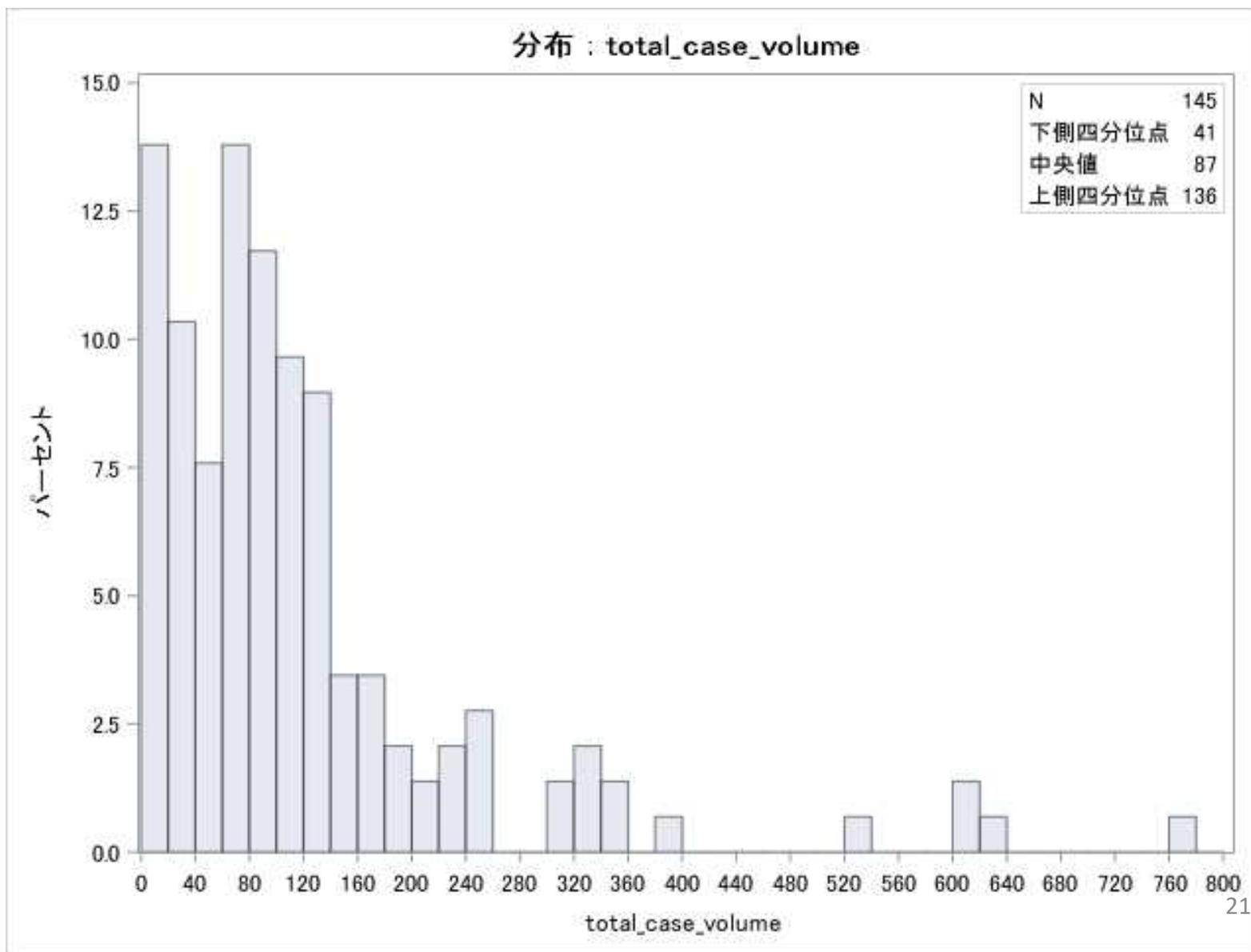
世界のregistry/randomized trialと本邦のTAVRの初期治療成績



TAVRの安全な国内導入に成功

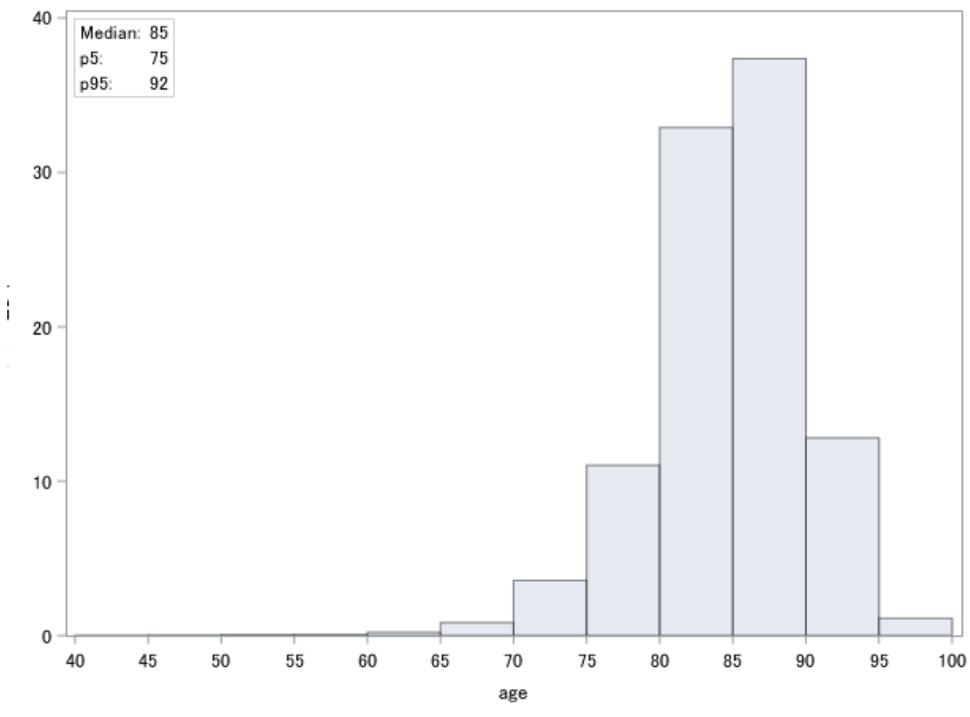
経カテーテル的大動脈弁置換術関連学会協議会

Total procedure count by facility (N=145 facilities)

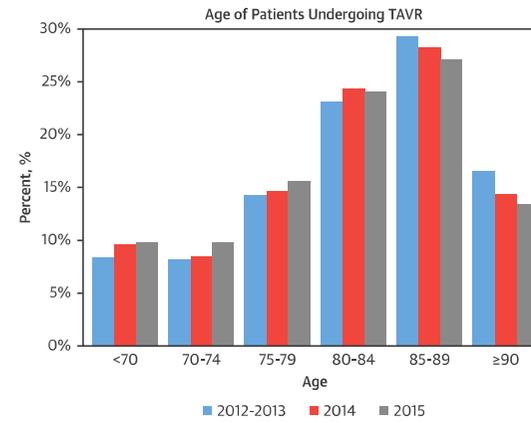


The age of TAVR patients

J-TVT

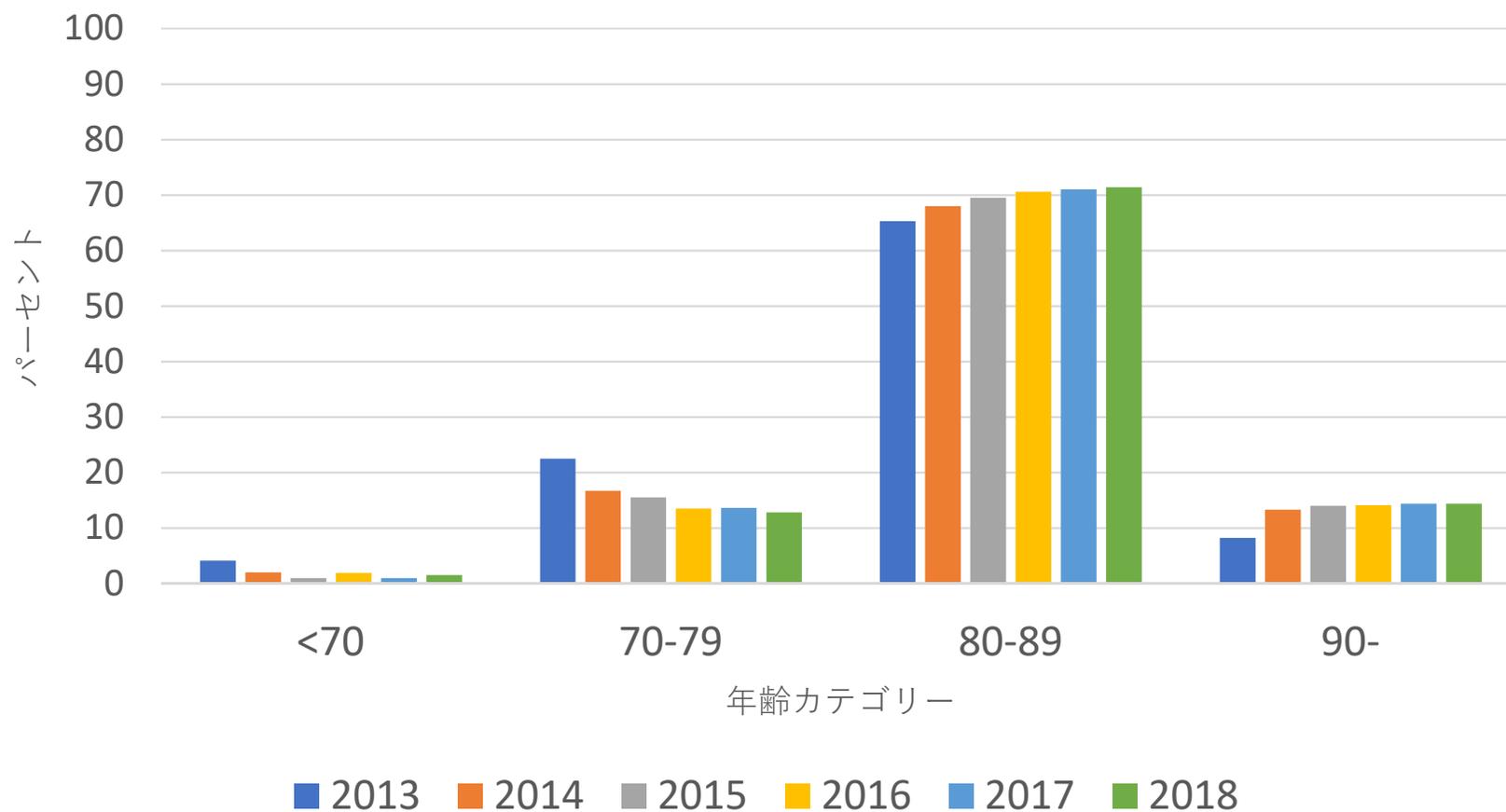


TVT*



*2016 annual report of STS/ACC TVT registry. JACC 2017

Age category time trend



Procedural outcomes 1

N=17,360	
Urgency	
Elective	16945 (97.6%)
Urgent	267 (1.5%)
Emergency	132 (0.8%)
Salvage	16 (0.1%)
Approach	
Femoral	15029 (86.6%)
Iliac	290 (1.7%)
Aorta	148 (0.9%)
Apex	1632 (9.4%)
Subclavian	227 (1.3%)
other	34 (0.2%)

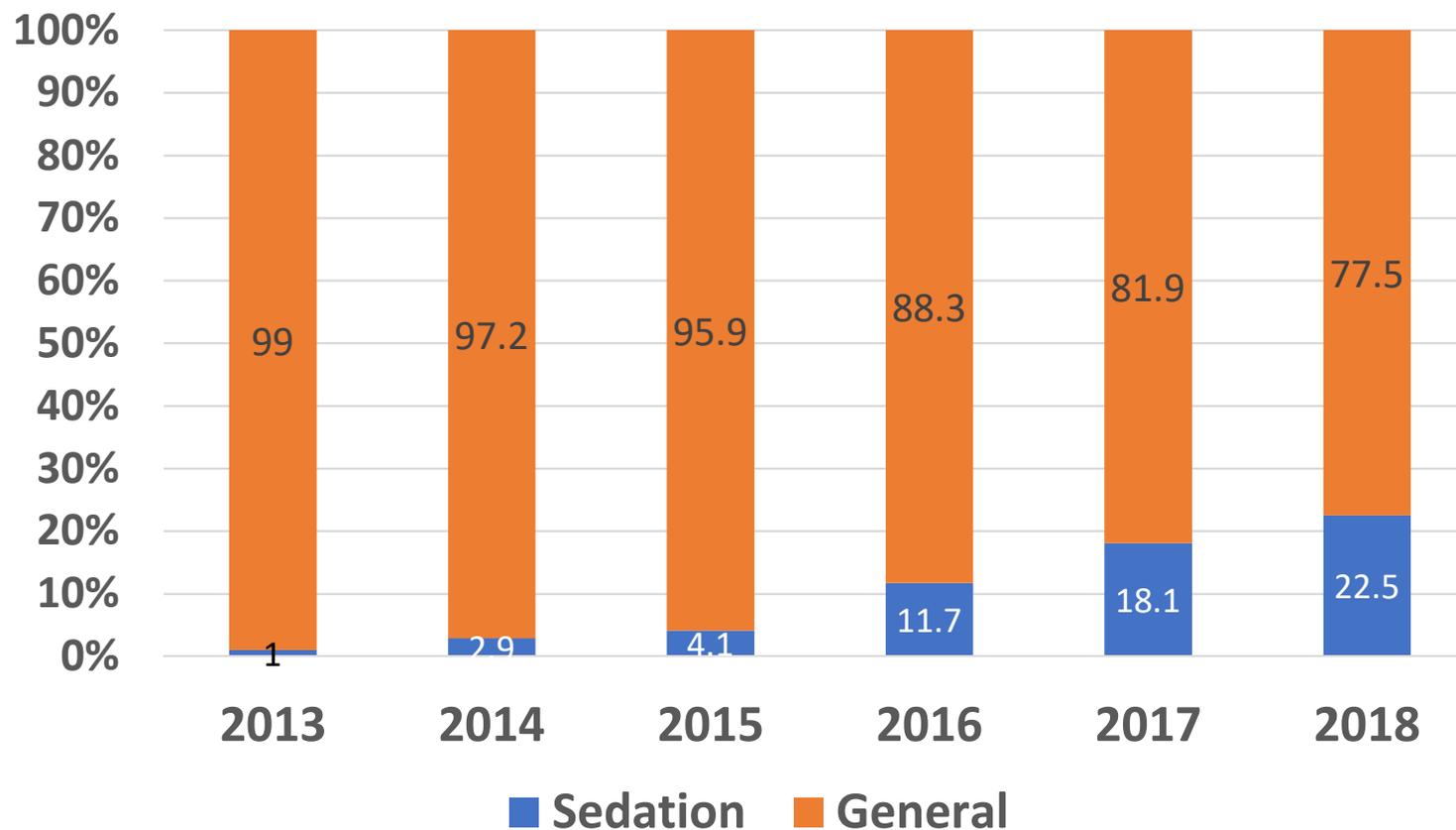
Procedural outcomes 2

	N=17,360
Deployment Success – no. (%)	16,648 (95.9%)
General anesthesia – no. (%)	14544 (83.8%)
Operating time	
Median, p5-p95 (min.)	87 (64-117)
<60 min.	3511 (20.2%)
60-119 min.	9683 (55.8%)
120-239 min.	3771 (21.7%)
240 min. and longer	395 (2.3%)
Adverse events	
access-related complication	160 (1.1%)
annulus/root rupture	73 (0.5%)
Major bleeding, other bleeding	152 (1.0%)

Post-procedural events trend overtime (within 30 days)

	2013	2014	2015	2016	2017	2018
N (with 30-day follow-up)	97	922	1528	2974	4570	4657
All Cause Mortality	0	15 (1.6%)	24 (1.6%)	37 (1.2%)	69 (1.5%)	62 (1.3%)
Death or Severe AE	13 (14.3%)	105 (11.4%)	135 (8.8%)	264 (8.9%)	416 (9.0%)	332 (7.0%)
Severe AE	13 (13.4%)	101 (11.0%)	130 (8.5%)	255 (8.6%)	397 (8.6%)	310 (6.6%)
Pacemaker installation	5 (5.2%)	46 (5.0%)	56 (3.7%)	175 (5.9%)	243 (5.2%)	205 (4.3%)

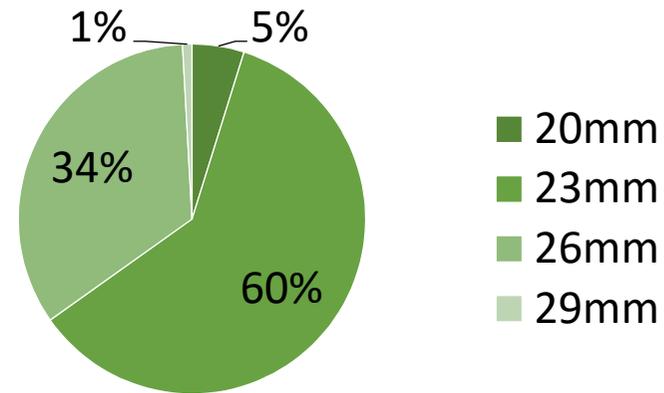
Anesthesia: Time trend



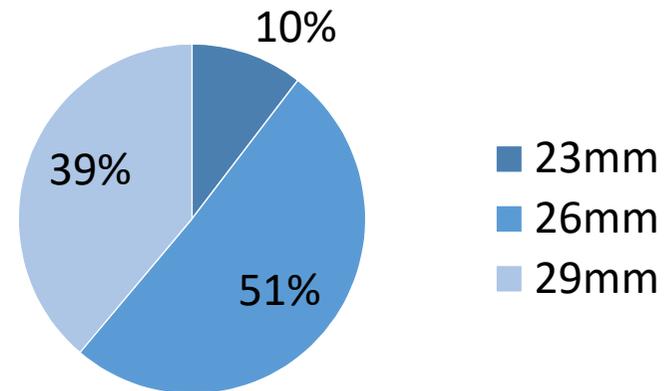
2018年は22.5%がmild sedation

Valve Size

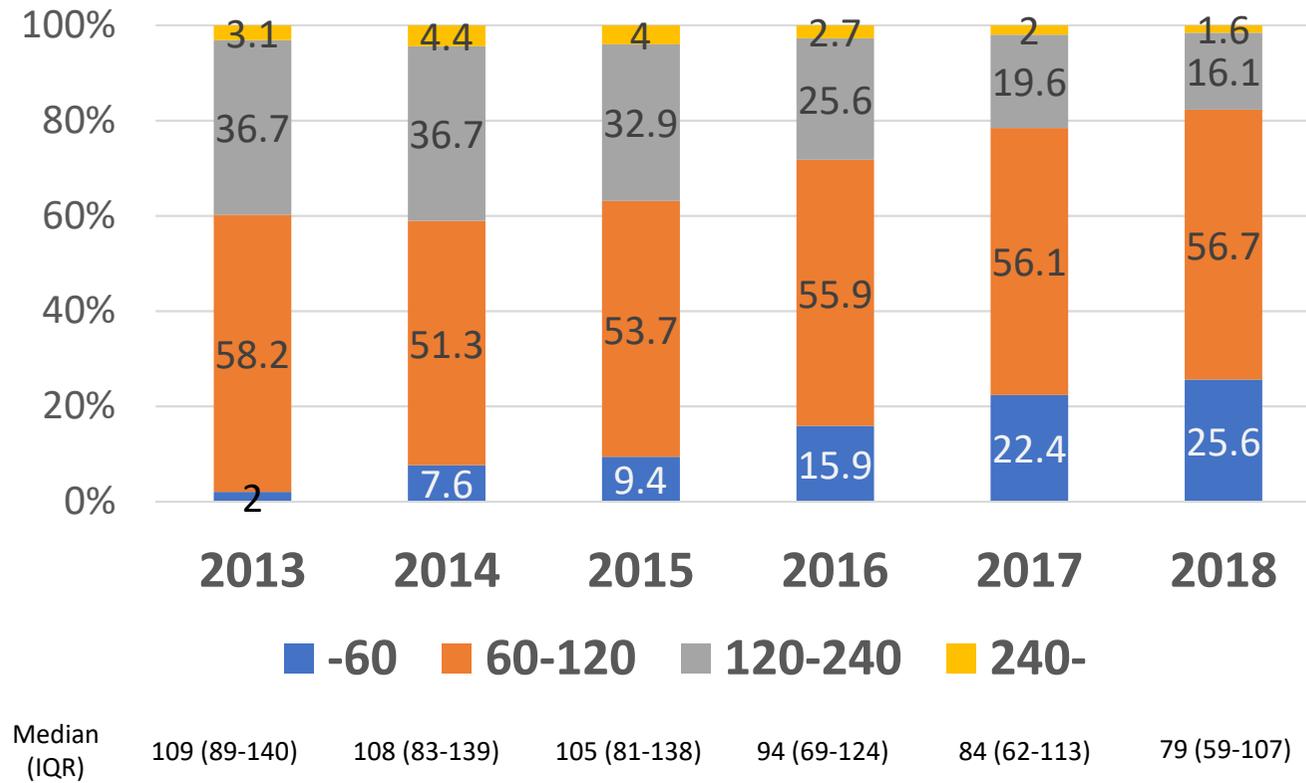
SAPIEN XT/ SAPIEN 3



CoreValve/Evolut R



Procedure time: Time trend



Time trend of pacemaker implantation

